

令和2年度  
牧之原市 市民意識調査

～ 報告書 ～

令和2年10月  
牧之原市



1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 調査結果の要約	2
①牧之原市での暮らしについて	2
②原子力発電について	3
③子育て環境について	3
④“公共施設の更新問題”について	3
⑤産業・雇用について	4
⑥地域活動について	5
⑦市からの情報発信について	6
⑧牧之原市の行政サービスについて	7
⑨全ての取組の満足度・重要度の評価点順位	8
(2) 調査結果の詳細	9
①牧之原市での暮らしについて	9
(1) 今後の居住継続意向	9
(2) 他の場所へ移りたい理由	11
(3) 牧之原市のことを友人・知人にお勧めする気持ちがあるかどうか	14
(4) 牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由	17
(5) 今現在、幸せだと思うか	20
(6) 幸せだと思う理由	22
②原子力発電について	25
(7) 浜岡原子力発電所の今後について	25
③子育て環境について	27
(8) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か	27
(9) 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきこと	29
④“公共施設の更新問題”について	32
(10) “公共施設の更新問題”の把握状況	32
(11) “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組の把握状況	34
(12) “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組で知っているもの	36
(13) “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組の情報源	38
(14) 施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか	41
⑤産業・雇用について	43
(15) 市の産業に活力があると思うか	43
(16) 活力があると思う産業	45
(17) 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組	51
⑥地域活動について	54
(18) 週に何日くらい外出しているか	54
(19) 外出の目的	56
(20) 30分以上の運動を週に何日しているか	59
(21) 現在参加している地域活動	61
(22) 地域活動の活発・活性化に必要なこと	64

⑦市からの情報発信について . . . . .	67
(23) 市から得たい情報 . . . . .	67
(24) 市からの情報の情報源 . . . . .	70
(25) 広報まきのはらで読んでいるページ . . . . .	73
⑧牧之原市の行政サービスについて . . . . .	76
(26) 満足度・重要度について . . . . .	76
(27) 満足度・重要度【健康福祉】 . . . . .	77
(28) 満足度・重要度【教育文化】 . . . . .	80
(29) 満足度・重要度【産業経済】 . . . . .	83
(30) 満足度・重要度【生活基盤】 . . . . .	86
(31) 満足度・重要度【防災】 . . . . .	89
(32) 満足度・重要度【市政経営】 . . . . .	92
⑨回答者自身のことについて . . . . .	95
(33) 回答者の属性 ①性別 . . . . .	95
(34) 回答者の属性 ②年齢 . . . . .	95
(35) 回答者の属性 ③同居世帯の構成 . . . . .	96
(36) 回答者の属性 ④子どもの有無・一番上の子どもの年ごろ . . . . .	96
(37) 回答者の属性 ⑤職業 . . . . .	97
(38) 回答者の属性 ⑥居住地域 . . . . .	97

3. 調査票 . . . . .	98
------------------	----

## 1. 調査概要

### (1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取組に対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成27年度からスタートした第2次総合計画推進のための資料とすることを目的としています。

### (2) 調査項目

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| ①牧之原市での暮らしについて | ②原子力発電について         |
| ③子育て環境について     | ④“公共施設の更新問題”について   |
| ⑤産業・雇用について     | ⑥地域活動について          |
| ⑦市からの情報発信について  | ⑧牧之原市の行政サービスについて   |
| ⑨回答者自身のことについて  | ⑩日ごろ思うこと（自由意見）【別冊】 |

### (3) 調査の設計

- ・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の男女
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和2年8月7日（金）～令和2年8月21日（金）
- ・発送数：1,400人

### (4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,397人	832票	59.5%

※抽出数は1,400人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない3人については対象外とした。

### ◎報告書を見る際の注意事項

- ・回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがあります。

## 2. 調査結果

### (1) 調査結果の要約

#### ①牧之原市での暮らしについて

##### 約6割が今の居住場所に「住み続けたい」

###### 問1 今後の居住継続意向

今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が62.3%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が17.8%、「わからない」が13.2%などとなっています。

##### 「被災のおそれがある」が半数以上

###### 問2 他の場所へ移りたい理由

他の場所へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が53.2%と最も多く、次いで「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が45.8%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が34.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」(昨年度47.8%)が5.4ポイント増加し、「道路などの生活基盤が整備されていないから」(昨年度10.7%)が5.2ポイント減少しています。

##### おすすめしたい気持ちは「5」が3割以上

###### 問3 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「5」が30.4%と最も多く、次いで「7」が11.5%、「6」が9.9%などとなっています。

##### おすすめしたい理由は「海岸線や里山などの景観」が7割以上

###### 問4 牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由

牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が75.0%と最も多く、次いで「豊かな食」が37.1%、「牧之原らしい暮らし」が30.2%などとなっています。

##### 6割以上が幸せだと『思う』

###### 問5 今現在、幸せだと思うか

今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が53.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が21.9%、「大いに思う」が12.9%などとなっています。また、『思う』(「大いに思う」+「ある程度思う」)は66.2%、『思わない』(「あまり思わない」+「まったく思わない」)は9.6%となっています。

昨年度と比較すると、「大いに思う」(昨年度18.4%)が5.5ポイント減少しています。

##### 「健康であるから」が約6割

###### 問6 幸せだと思う理由

幸せだと思う理由は、「健康であるから」が60.1%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が48.8%、「住まいがあるから」が41.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「災害がないから」(昨年度11.3%)が8.1ポイント増加しています。

## ②原子力発電について

### 浜岡原子力発電所を「停止しておいたほうがよい」が4割以上

#### 問7 浜岡原子力発電所の今後について

浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が44.5%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.1%、「どちらともいえない」が21.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「どちらともいえない」(昨年度 15.9%)が5.3ポイント増加しています。

## ③子育て環境について

### 子どもを産み育てやすい環境だと『思う』は約4割

#### 問8 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かについては、「ある程度思う」が40.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.5%、「わからない」が14.8%などとなっています。また、『思う』(「大いに思う」+「ある程度思う」)は42.8%、『思わない』(「あまり思わない」+「まったく思わない」)は14.9%となっています。

### 「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が約7割

#### 問9 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきこと

子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきことは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が69.2%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が40.3%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が35.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「教育・文化水準の向上」(昨年度 17.1%)が6.0ポイント増加しています。

## ④“公共施設の更新問題”について

### 「聞いたことがある」が約4割

#### 問10 “公共施設の更新問題”の把握状況

“公共施設の更新問題”の把握状況は、「聞いたことがある」が39.7%と最も多く、次いで「知らない」が32.5%、「知っている」が24.5%となっています。

### “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組は「知らない」が6割以上

#### 問11 “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組の把握状況

“公共施設の更新問題”への牧之原市の取組の把握状況は、「知らない」が61.9%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が26.4%、「知っている」が7.2%となっています。

昨年度と比較すると、「聞いたことがある」(昨年度 21.4%)が5.0ポイント増加しています。

### 知っている取組は「片浜小学校の利活用」が7割以上

#### 問 12 “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組で知っているもの

“公共施設の更新問題”への牧之原市の取組で知っているものについては、「片浜小学校の利活用」が70.7%と最も多く、次いで「学校再編計画」が46.8%、「老朽化施設の取り壊し」が46.1%などとなっています。

### 約6割が「広報まきのほら」で牧之原市の取組に関する情報を入手

#### 問 13 “公共施設の更新問題”への牧之原市の取組の情報源

“公共施設の更新問題”への牧之原市の取組の情報源は、「広報まきのほら」が65.4%と最も多く、次いで「自治会（区・町内会）」が33.5%、「各種団体の活動や会合」が28.7%などとなっています。

### 施設の廃止や使用料の値上がりを「ある程度容認できる」が約7割

#### 問 14 施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が73.6%と最も多く、次いで「容認できる」が11.4%、「容認できない」が10.7%となっています。

## ⑤産業・雇用について

### 市の産業に活力があると『思う』が約2割、

### 『思わない』が約4割、「どちらともいえない」が約3割

#### 問 15 市の産業に活力があると思うか

市の産業に活力があると思うかについては、「あまり思わない」が30.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が30.3%、「ある程度思う」が18.8%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は19.7%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は38.2%となっています。

昨年度と比較すると、「ある程度思う」『思う』が増加しています。

### 最も活力が『あると思う』産業は「茶業」が3割以上

#### 問 16 牧之原市のどの産業に活力があると思うか

活力があると思う産業は、《①茶業》において「大いにある」が10.5%と最も多くなっています。《⑤観光業》においては「まったくない」が17.5%と最も多くなっています。

### 「企業誘致」「後継者の育成」「特産品・製品の市外へのPR」が上位

#### 問 17 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組

産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組は、「企業誘致の促進」が44.0%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が38.8%、「特産品・製品の市外へのPR」が32.5%などとなっています。



## ⑥地域活動について

### 「毎日」外出しているという人が4割以上

#### 問 18 週に何日くらい外出しているか

週に何日くらい外出しているかについては、「毎日（週に6～7日）」が44.6%と最も多く、次いで「週に2～3日」が20.8%、「週に4～5日」が19.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「毎日（週に6～7日）」（昨年度50.5%）が5.9ポイント減少しています。

### 外出の目的は「買い物」が8割以上、「仕事」が約6割

#### 問 19 外出の目的

外出の目的は、「買い物」が84.3%と最も多く、次いで「仕事（農作業含む）」が59.1%、「医療機関への通院」が37.1%などとなっています。

昨年度と比較すると、「趣味や娯楽」「旅行」が減少しています。

### 30分以上の運動習慣は「ほとんどしない」が約半数

#### 問 20 30分以上の運動を週に何日しているか

30分以上の運動を週に何日しているかについては、「ほとんどしない」が47.1%と最も多く、次いで「週に2～3日」が17.1%、「週に1日」が14.7%などとなっています。

### 地域活動に「参加していない」が3割以上、

### 参加している地域活動では「自治会の行事」が3割以上

#### 問 21 現在参加している地域活動

現在参加している地域活動は、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が35.5%と最も多く、次いで「参加していない」が32.6%、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が26.0%などとなっています。

昨年度と比較すると、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」（昨年度19.2%）が6.8ポイント増加しています。

### 「住民の自治意識の向上」が4割以上

#### 問 22 地域活動の活発・活性化に必要なこと

地域活動の活発・活性化に必要なことは、「住民の自治意識の向上」が42.2%と最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が38.5%、「人材育成」が28.0%などとなっています。

## ⑦市からの情報発信について

### 「健康・医療・福祉」が約6割、「防災・防犯」が半数以上

#### 問 23 市から得たい情報

市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が62.5%と最も多く、次いで「防災・防犯」が53.1%、「観光・イベント」が24.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、「防災・防犯」（昨年度47.3%）が5.8ポイント増加し、「スポーツ・文化・歴史」（昨年度12.5%）が5.4ポイント減少しています。

### 「広報まきのはら」を情報源としている人が7割以上

#### 問 24 市からの情報の情報源

市からの情報の情報源は、「広報まきのはら」が70.9%と最も多く、次いで「区、町内会の会合」が29.3%、「新聞、テレビ、ラジオ」が26.1%などとなっています。

### 「特集・お知らせ」が約7割

#### 問 25 読んでいる広報まきのはらのページ

広報まきのはらで読んでいるページは、「特集・お知らせ」が71.9%と最も多く、次いで「市政情報」が56.1%、「まちのわだい」が55.4%などとなっています。

## ⑧牧之原市の行政サービスについて

### 《こども医療費制度》が満足度・重要度ともに最も高い

#### 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり

満足度・重要度ともに、《3 こども医療費制度》が最も高く、『満足』は75.5%（評価点1.10点）、『高い』は77.5%（評価点1.27点）となっています。

### 《子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》の重要度が最も高い

#### 【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり

満足度は、《15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》で、『満足』が55.8%、評価点が0.34点と、最も高くなっています。

重要度は、《13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》で、『高い』が71.3%、評価点が1.06点と、最も高くなっています。

### すべての項目が、満足度が低く、重要度が高い結果に

#### 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

満足度は、《21 特産品の消費推進の取組》で、『満足』が28.6%、評価点が-0.41点と、最も低くなっています。

重要度は、《25 企業誘致の取組》で、『高い』が61.3%、評価点が0.71点と、最も高くなっています。

### 《道路や河川の補修・整備》の重要度が最も高い

#### 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

満足度は、《35 生活環境対策などへの取組》が最も高く、『満足』は54.6%、評価点が0.20点と最も高くなっています。

重要度は、《31 道路や河川の補修・整備》で、『高い』が75.0%、評価点が1.04点と、最も高くなっています。

### 《震災・火災・水害・浸水対策への取組》の重要度が最も高い

#### 【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

満足度は、《48 学校や地域で子どもを守る取組》で、『満足』が59.1%、評価点が0.40点と、最も高くなっています。

重要度は、《43 震災・火災・水害・浸水対策への取組》で、『高い』が77.0%、評価点が1.27点と、最も高くなっています。

### 《情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組》の重要度が最も高い

#### 【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

満足度は、《56 市の情報や取組など、広報紙などによる十分な情報発信》で、『満足』が51.2%、評価点が0.18点と、最も高くなっています。

重要度は、《57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組》で、『高い』が59.4%、評価点が0.55点と、最も高くなっています。

※『満足』は満足度「満足」+「やや満足」、『高い』は重要度「高い」+「やや高い」を指します。

⑨全ての取組の満足度・重要度の評価点順位

	満足度					重要度						
	順位	R2年度(A)	R元年度(B)	差(A)-(B)		順位	R2年度(A)	R元年度(B)	差(A)-(B)			
健康福祉	1 子育て支援の取組	6	0.25	0.33	-0.08	↓	6	1.06	1.16	-0.10	↓	
	2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	2	0.51	0.61	-0.10	↓	5	1.07	1.21	-0.14	↓	
	3 こども医療費制度	1	1.10	1.19	-0.09	↓	1	1.27	1.34	-0.07	↓	
	4 こども医療費以外の経済的支援制度について	19	0.03	0.03	0.00	⇒	19	0.79	0.83	-0.04	↓	
	5 高齢者への福祉サービスの取組	17	0.05	0.14	-0.09	↓	15	0.89	0.93	-0.04	↓	
	6 障がい者への福祉サービスの取組	18	0.04	0.19	-0.15	↓	16	0.86	0.82	0.04	↑	
	7 福祉施設などの整備	25	-0.09	-0.03	-0.06	↓	16	0.86	0.86	0.00	⇒	
	8 健康づくりサービスの推進	8	0.20	0.27	-0.07	↓	28	0.62	0.73	-0.11	↓	
	9 健康相談などの日常的な保健活動	8	0.20	0.31	-0.11	↓	46	0.42	0.50	-0.08	↓	
	10 公共スポーツ施設の整備	38	-0.30	-0.18	-0.12	↓	55	0.24	0.44	-0.20	↓	
	11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	47	-0.53	-0.64	0.11	↑	4	1.09	1.23	-0.14	↓	
	12 地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	23	-0.01	0.10	-0.11	↓	49	0.35	0.42	-0.07	↓	
教育文化	13 子どもを任せたいと思える学校づくりへの取組	13	0.13	0.21	-0.08	↓	6	1.06	1.08	-0.02	↓	
	14 小・中学校施設の整備	7	0.23	0.17	0.06	↑	10	1.02	0.97	0.05	↑	
	15 生涯学習など教養を高める機会の提供・サークル活動への参加機会の提供	4	0.34	0.44	-0.10	↓	47	0.41	0.55	-0.14	↓	
	16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	21	0.02	0.11	-0.09	↓	21	0.77	0.90	-0.13	↓	
	17 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取組	32	-0.19	-0.09	-0.10	↓	52	0.27	0.30	-0.03	↓	
	18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組	14	0.09	0.09	0.00	⇒	50	0.30	0.32	-0.02	↓	
	19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組	43	-0.42	-0.47	0.05	↑	30	0.61	0.60	0.01	↑	
	産業経済	20 農林漁業の担い手への支援の取組	51	-0.57	-0.48	-0.09	↓	28	0.62	0.66	-0.04	↓
		21 特産品の消費推進の取組	42	-0.41	-0.27	-0.14	↓	33	0.59	0.71	-0.12	↓
22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組		58	-0.99	-0.97	-0.02	↓	30	0.61	0.69	-0.08	↓	
23 茶業安定のための取組		53	-0.62	-0.51	-0.11	↓	38	0.53	0.64	-0.11	↓	
24 サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場の復元への取組		48	-0.53	-0.47	-0.06	↓	58	0.12	0.25	-0.13	↓	
25 企業誘致の取組		54	-0.64	-0.61	-0.03	↓	24	0.71	0.75	-0.04	↓	
26 起業支援、産業雇用支援の取組		50	-0.55	-0.46	-0.09	↓	27	0.63	0.65	-0.02	↓	
27 商工業の振興の取組		46	-0.52	-0.38	-0.14	↓	32	0.60	0.57	0.03	↑	
28 商店街の魅力向上の取組		56	-0.81	-0.66	-0.15	↓	40	0.50	0.57	-0.07	↓	
29 観光誘客促進のための取組		55	-0.67	-0.60	-0.07	↓	42	0.47	0.66	-0.19	↓	
30 各種イベントの開催		43	-0.42	-0.23	-0.19	↓	52	0.27	0.52	-0.25	↓	
生活基盤	31 道路や河川の補修・整備	40	-0.38	-0.36	-0.02	↓	9	1.04	1.05	-0.01	↓	
	32 上水道施設整備の取組	24	-0.02	0.01	-0.03	↓	12	0.96	0.98	-0.02	↓	
	33 計画的な土地利用の推進	51	-0.57	-0.51	-0.06	↓	24	0.71	0.72	-0.01	↓	
	34 公園・緑地の管理や整備の取組	49	-0.54	-0.48	-0.06	↓	34	0.58	0.68	-0.10	↓	
	35 生活環境対策などへの取組	10	0.20	0.33	-0.13	↓	10	1.02	1.07	-0.05	↓	
	36 公害防止対策への取組	15	0.07	0.12	-0.05	↓	23	0.74	0.78	-0.04	↓	
	37 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	29	-0.17	-0.04	-0.13	↓	26	0.64	0.66	-0.02	↓	
	38 街並みや周辺の景観・美観への取組	41	-0.38	-0.34	-0.04	↓	45	0.43	0.54	-0.11	↓	
	39 自然環境の保全への取組	34	-0.24	-0.17	-0.07	↓	48	0.38	0.54	-0.16	↓	
	40 富士山静岡空港を活用するための取組	38	-0.30	0.01	-0.31	↓	35	0.56	0.79	-0.23	↓	
	41 公共交通の充実(バス交通など)	57	-0.82	-0.81	-0.01	↓	22	0.75	0.92	-0.17	↓	
	42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	45	-0.46	-0.46	0.00	⇒	55	0.24	0.37	-0.13	↓	
防災	43 震災・火災・水害・浸水対策への取組	35	-0.27	-0.26	-0.01	↓	1	1.27	1.36	-0.09	↓	
	44 自主防災組織の強化のための取組	22	0.00	0.02	-0.02	↓	3	1.11	1.21	-0.10	↓	
	45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組	29	-0.17	-0.25	0.08	↑	18	0.80	0.96	-0.16	↓	
	46 消防体制の整備(消防の広域化)への取組	5	0.26	0.18	0.08	↑	14	0.93	1.07	-0.14	↓	
	47 盗難などの犯罪防止に対する取組	27	-0.14	-0.15	0.01	↑	19	0.79	0.86	-0.07	↓	
	48 学校や地域で子どもを守る取組	3	0.40	0.40	0.00	⇒	8	1.05	1.17	-0.12	↓	
	49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	15	0.07	0.11	-0.04	↓	37	0.54	0.65	-0.11	↓	
	50 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	36	-0.28	-0.37	0.09	↑	13	0.94	1.06	-0.12	↓	
市政経営	51 自治会の住民自治活動への支援	28	-0.16	-0.17	0.01	↑	42	0.47	0.56	-0.09	↓	
	52 地区公民館などの活動拠点の施設整備	19	0.03	-0.01	0.04	↑	44	0.44	0.50	-0.06	↓	
	53 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	33	-0.20	-0.07	-0.13	↓	54	0.25	0.22	0.03	↑	
	54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	31	-0.17	0.00	-0.17	↓	51	0.28	0.36	-0.08	↓	
	55 行政改革の取組	36	-0.28	-0.23	-0.05	↓	40	0.50	0.58	-0.08	↓	
	56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる充分な情報発信	11	0.18	0.17	0.01	↑	39	0.53	0.63	-0.10	↓	
	57 情報通信(光ファイバーなど)の環境整備の取組	26	-0.13	0.00	-0.13	↓	36	0.55	0.56	-0.01	↓	
	58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	12	0.17	0.18	-0.01	↓	57	0.13	0.09	0.04	↑	

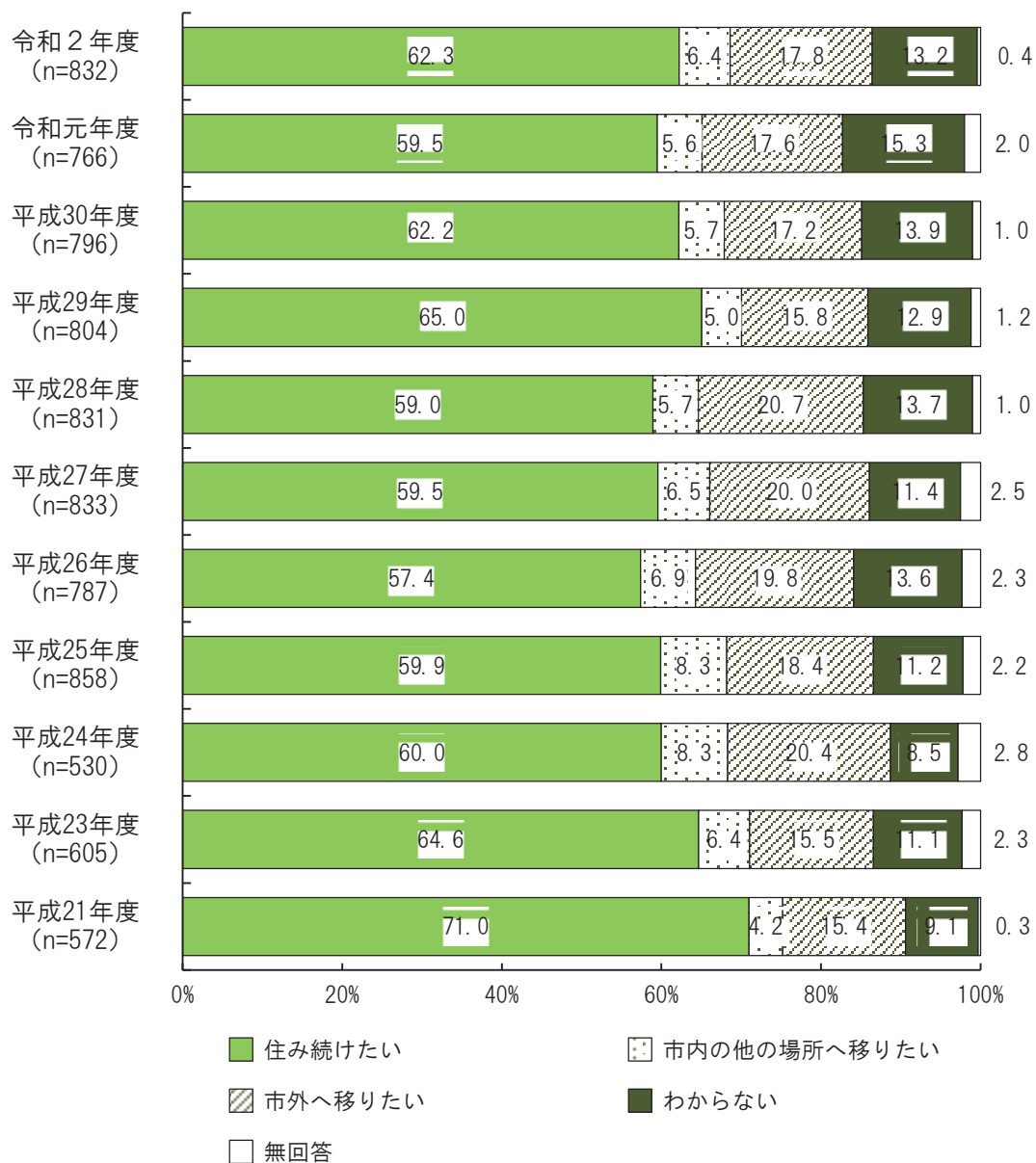
※全ての取組の満足度・重要度の評価点順位は、上表の通りです。  
 ※上位項目(第5位まで)と、昨年度調査よりも評価が高い項目は、網掛けが付いています。

## (2) 調査結果の詳細

## ①牧之原市での暮らしについて

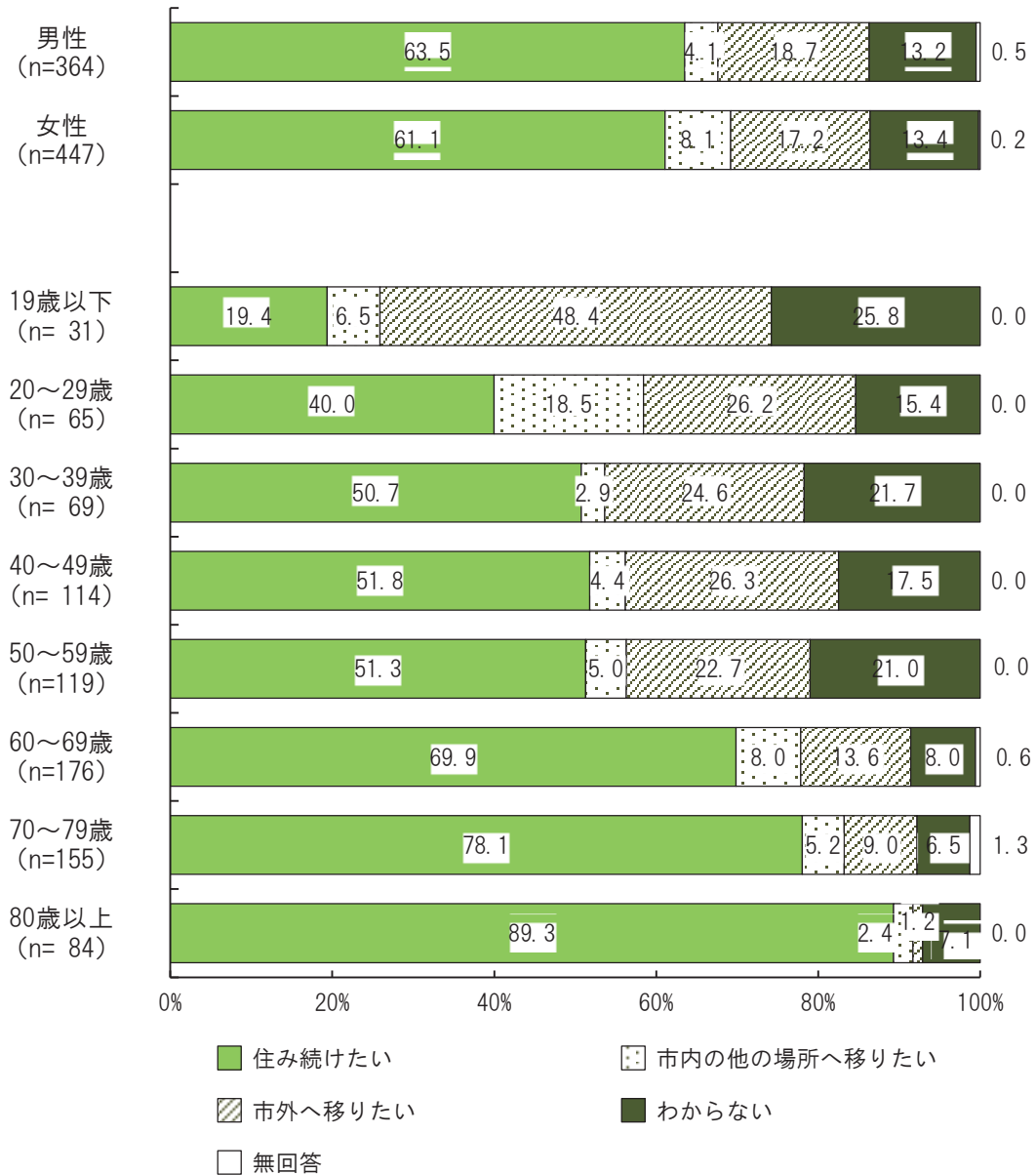
## (1) 今後の居住継続意向

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が62.3%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が17.8%、「わからない」が13.2%などとなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



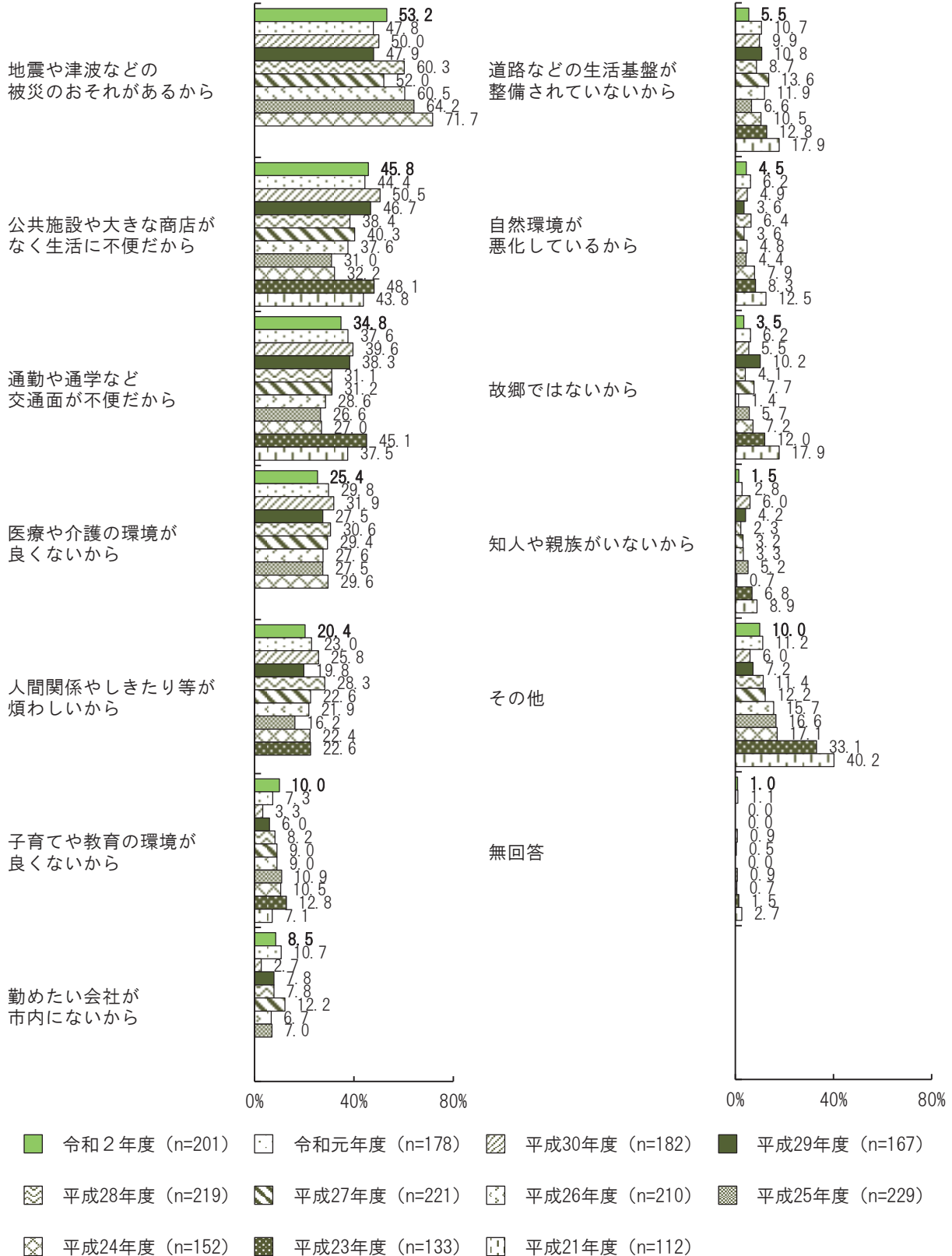
【性別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：19歳以下は「市外へ移りたい」が48.4%と多く、「住み続けたい」が19.4%と少なくなっています。20～29歳は「市内の他の場所へ移りたい」が18.5%と多くなっています。80歳以上は「住み続けたい」が89.3%と多く、「市外へ移りたい」が1.2%と少なくなっています。

(2) 他の場所へ移りたい理由

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた方のみ

問2 他の場所へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



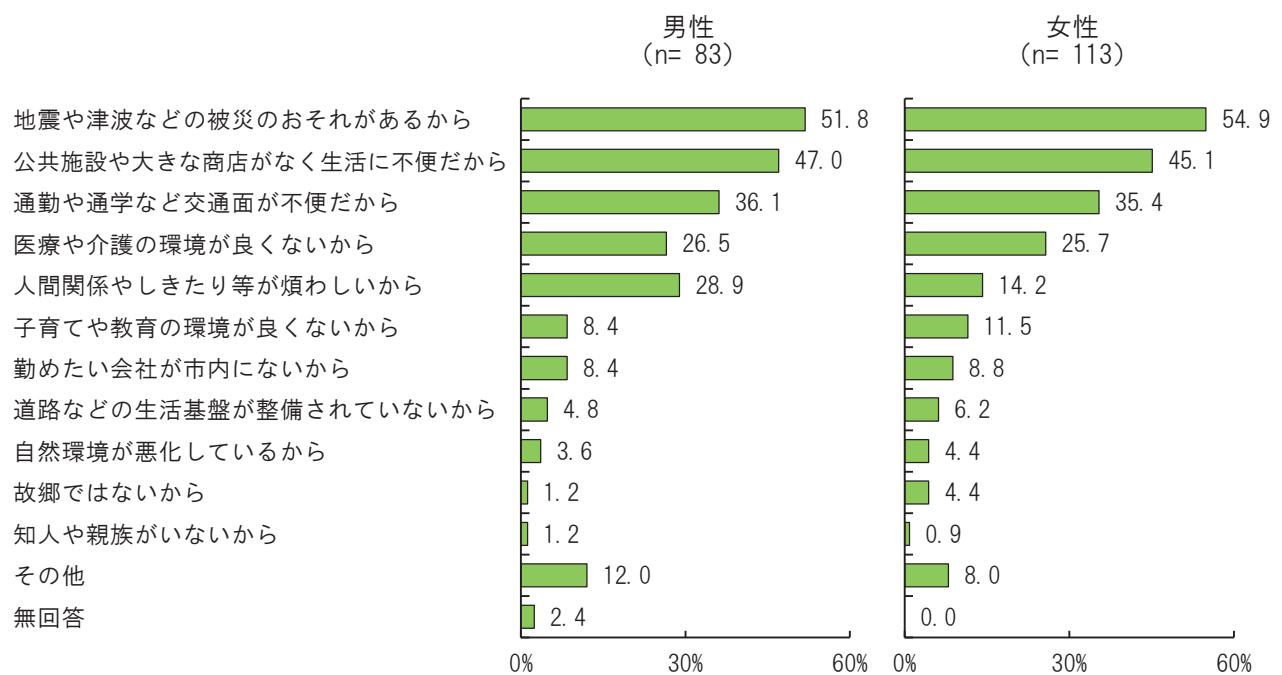


※「人間関係やしきたり等が煩わしいから」は平成23年度に追加された選択肢、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「医療や介護の環境が良くないから」は平成24年度に追加された選択肢、「勤めたい会社が市内にないから」は平成25年度に追加された選択肢です。

他の場所へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が53.2%と最も多く、次いで「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が45.8%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が34.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が5.4ポイント増加し、「道路などの生活基盤が整備されていないから」が5.2ポイント減少しています。

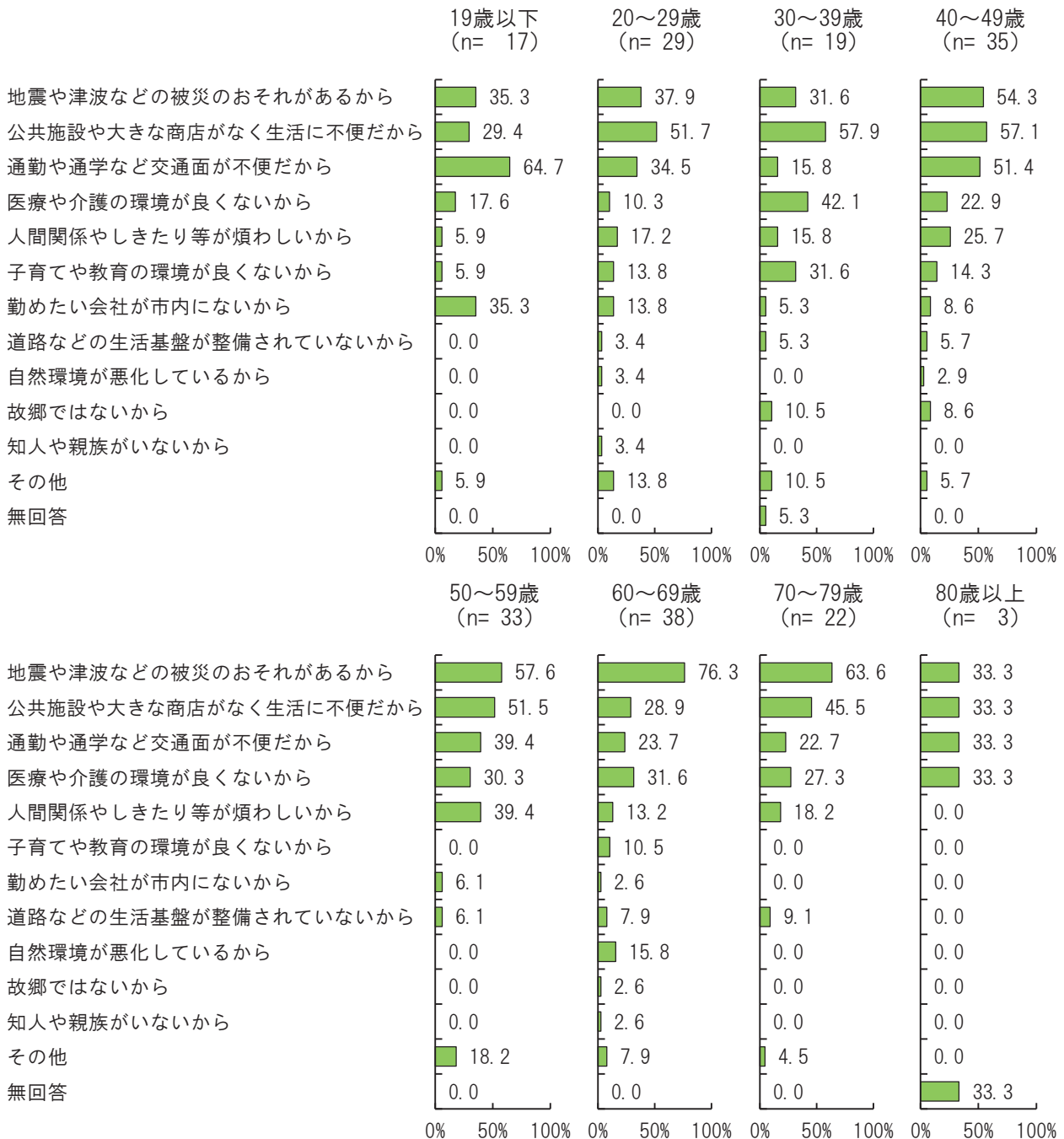
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が28.9%と多くなっています。



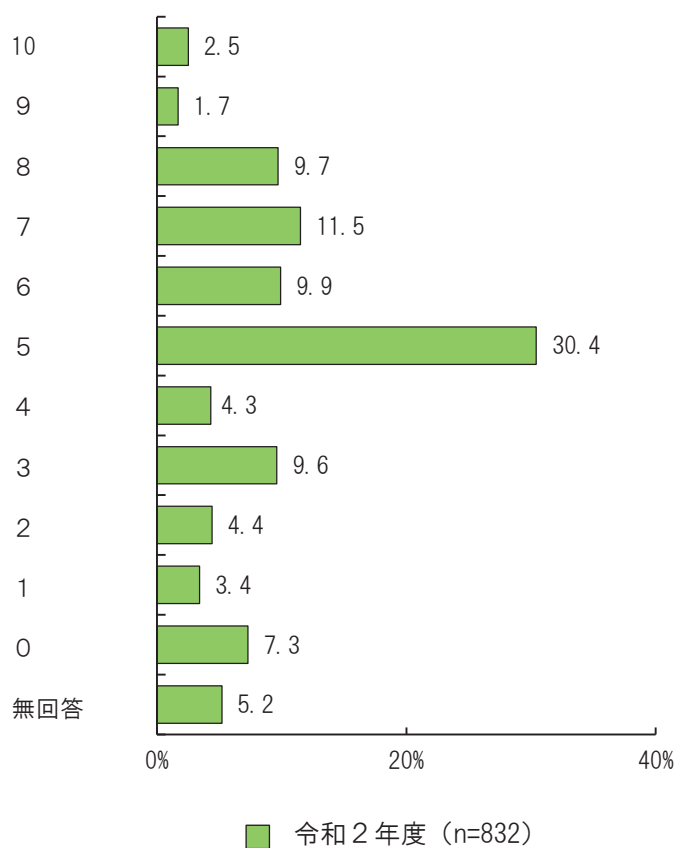
## クロス集計（年齢別）



【年齢別】：20~29歳は「勤めたい会社が市内にないから」が13.8%と多く、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「医療や介護の環境が良くないから」が少なくなっています。40~49歳は「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「通勤や通学など交通面が不便だから」「故郷ではないから」が多くなっています。50~59歳は「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が39.4%と多くなっています。60~69歳は「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「自然環境が悪化しているから」が多く、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が28.9%と少なくなっています。

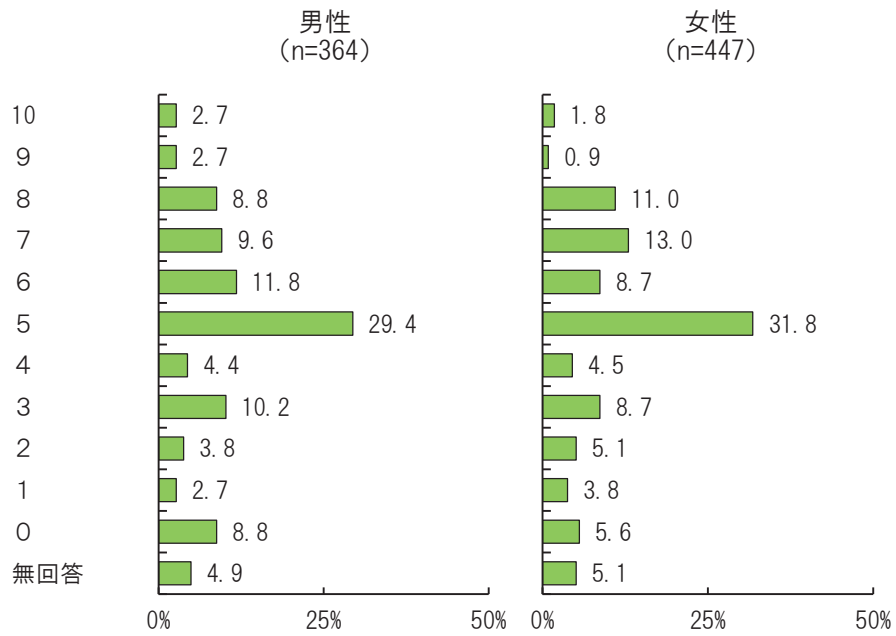
(3) 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

問3 あなたは、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？最も強く思う場合を10、全く思わない場合を0として、あてはまるものに1つ○印をつけてください。



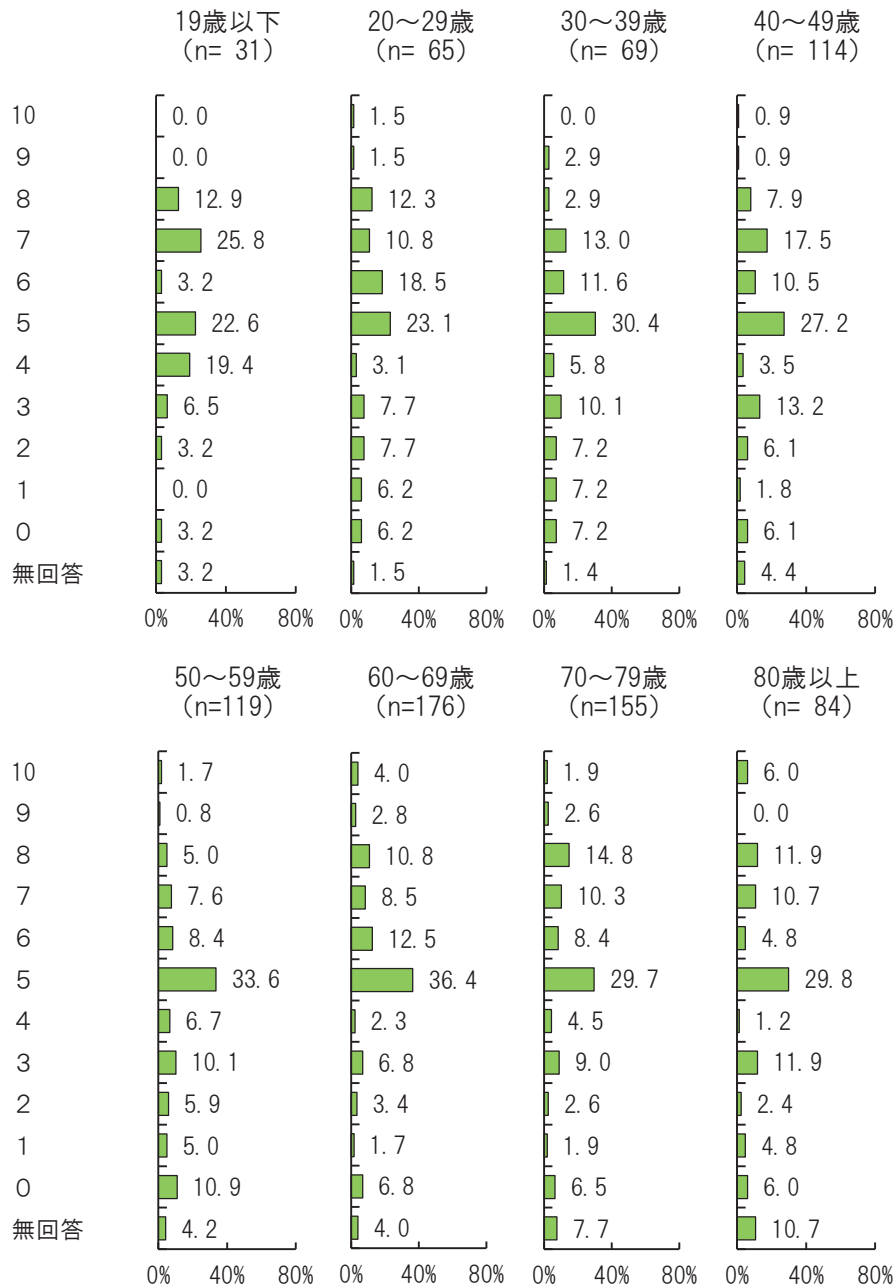
牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「5」が30.4%と最も多く、次いで「7」が11.5%、「6」が9.9%などとなっています。

## クロス集計（性別）



【性別】：大きな差異はみられません。

クロス集計（年齢別）

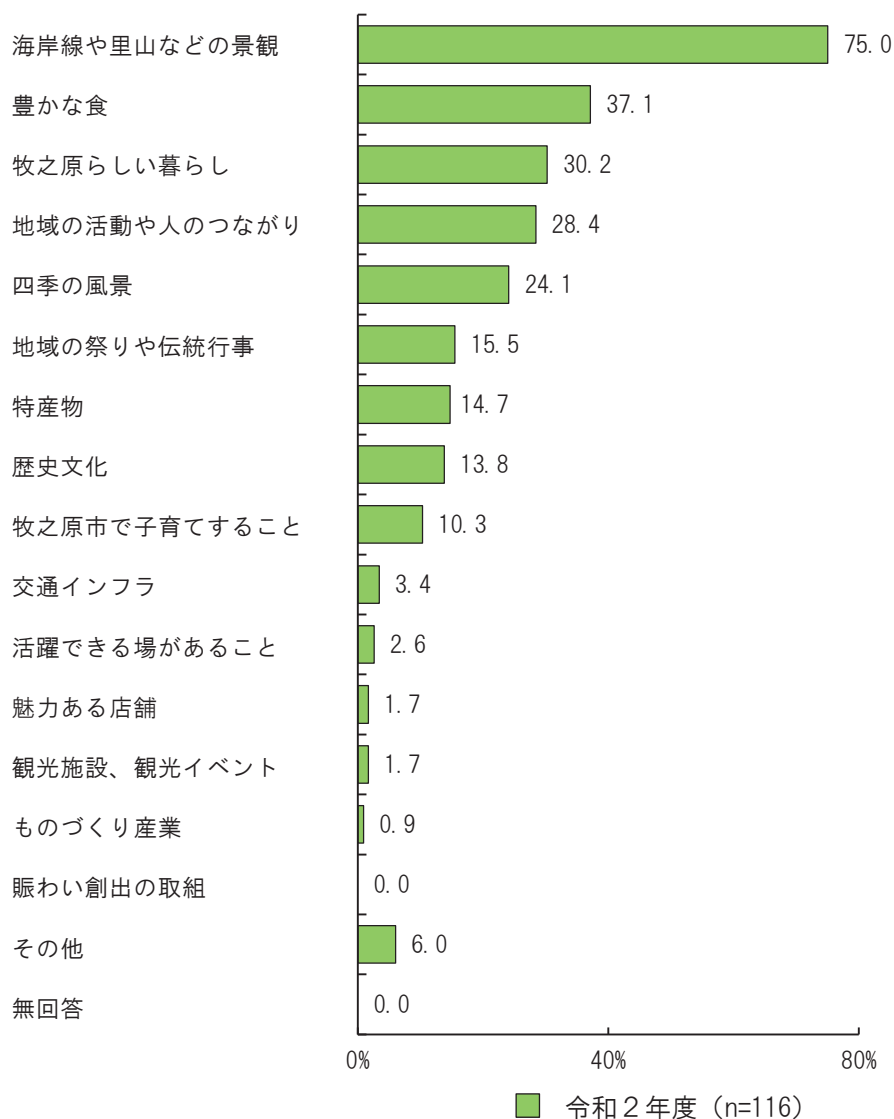


【年齢別】：19歳以下は「7」「4」が多くなっています。20~29歳は「6」が18.5%と多くなっています。

## (4) 牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由

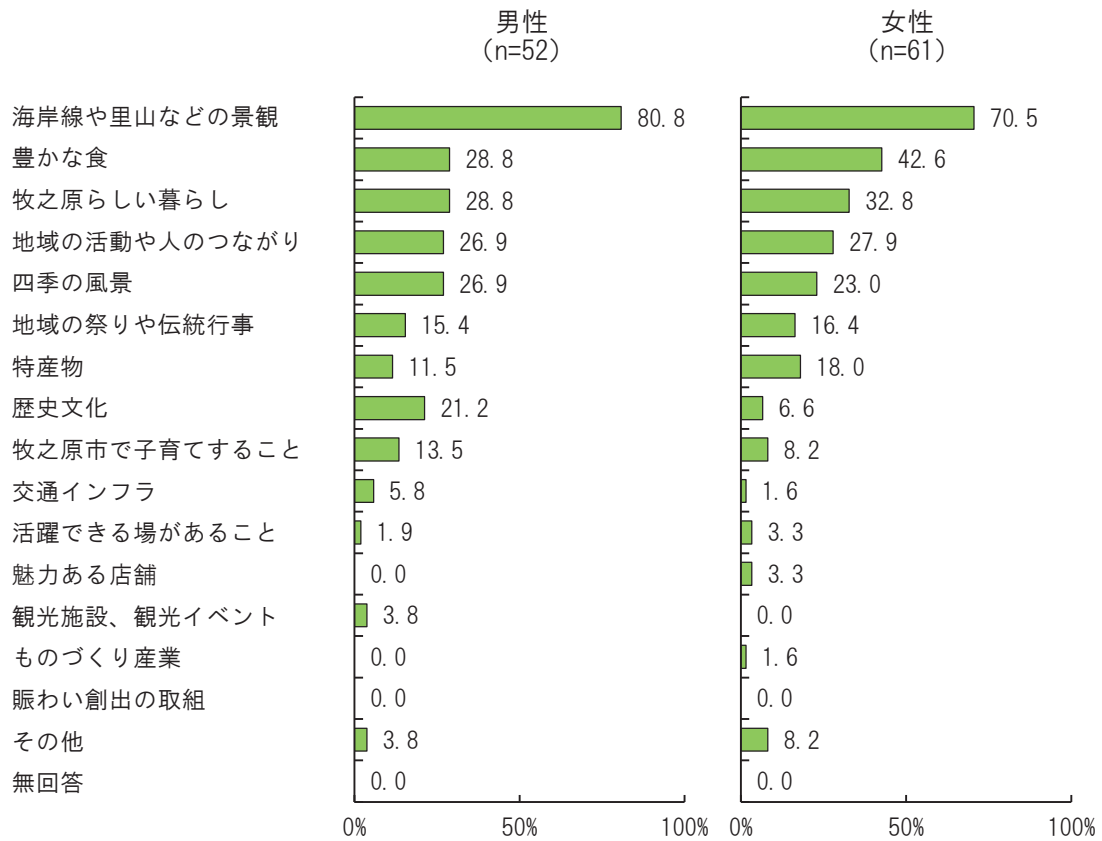
## 問3で「10」「9」「8」と答えた方のみ

問4 牧之原市をおすすめしたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



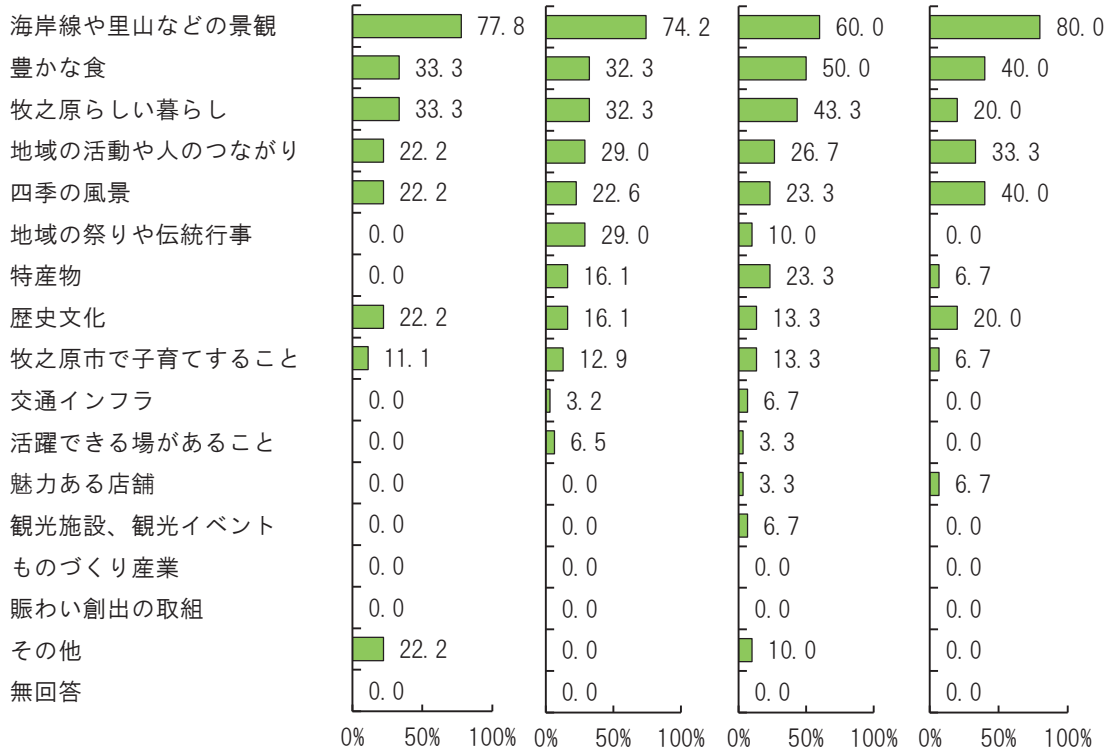
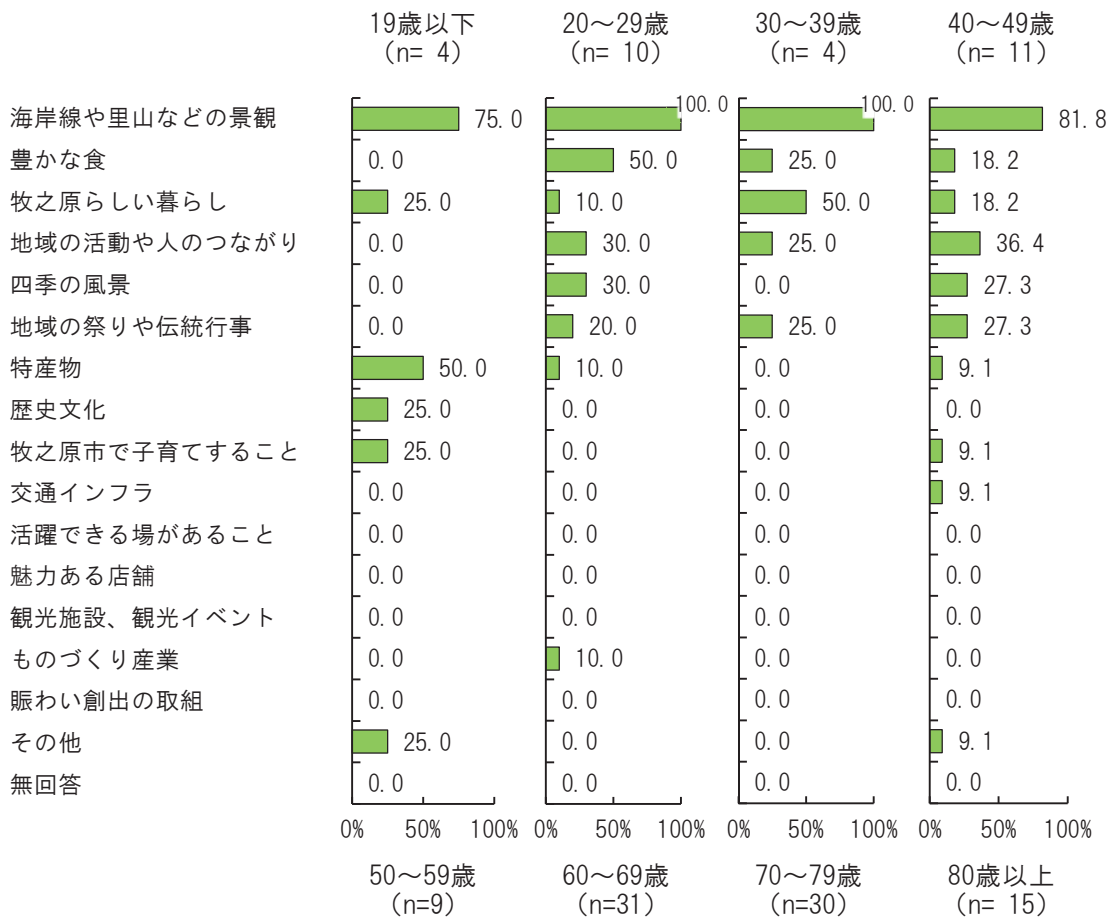
牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が75.0%と最も多く、次いで「豊かな食」が37.1%、「牧之原らしい暮らし」が30.2%などとなっています。

クロス集計（性別）



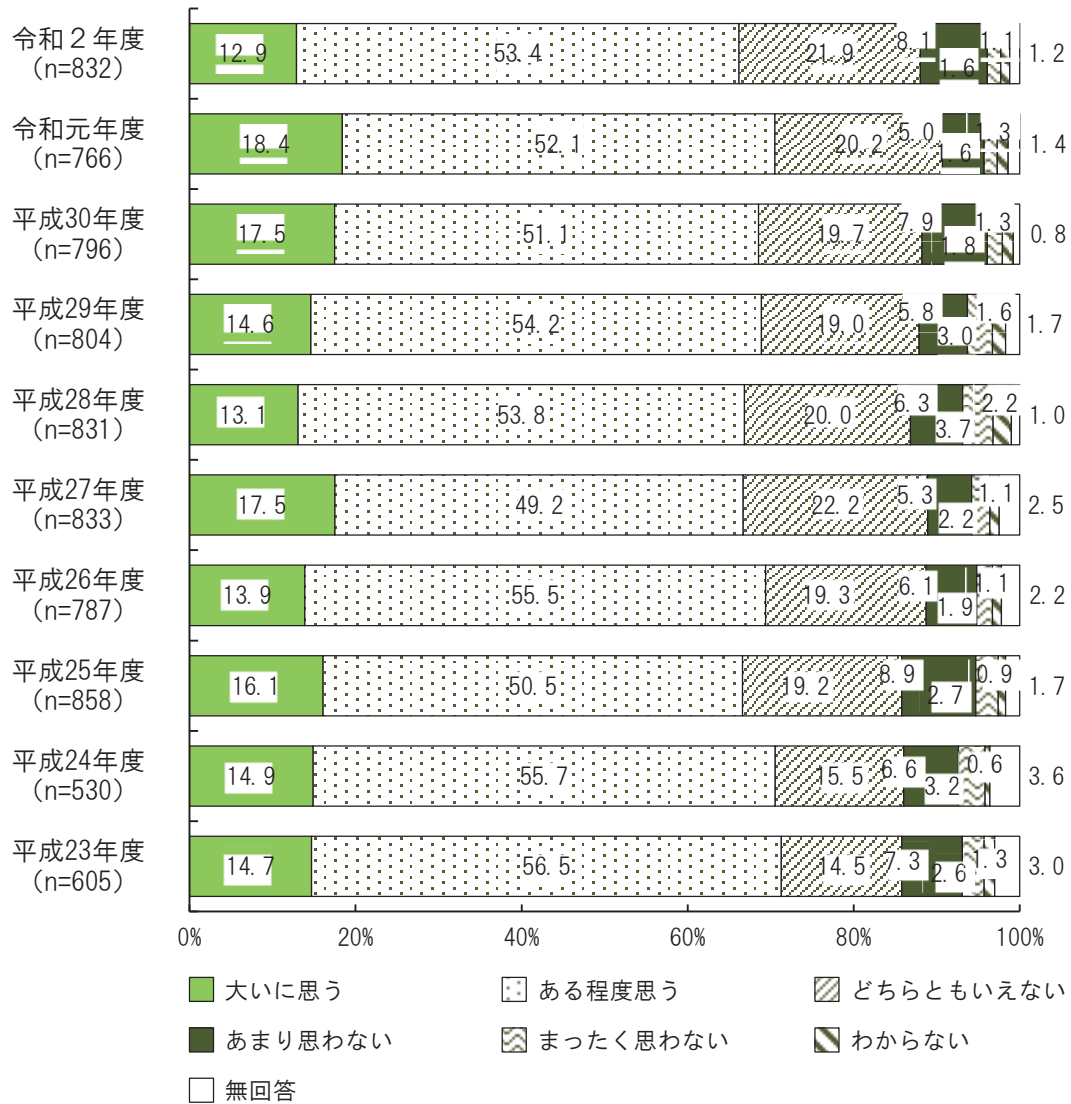
【性別】：男性は、「海岸線や里山などの景観」「歴史文化」「牧之原市で子育てすること」が多くなっています。女性は「豊かな食」「特産物」が多くなっています。  
 【年齢別】：件数が少ないため、割愛します。

クロス集計（年齢別）



(5) 今現在、幸せだと思うか

問5 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

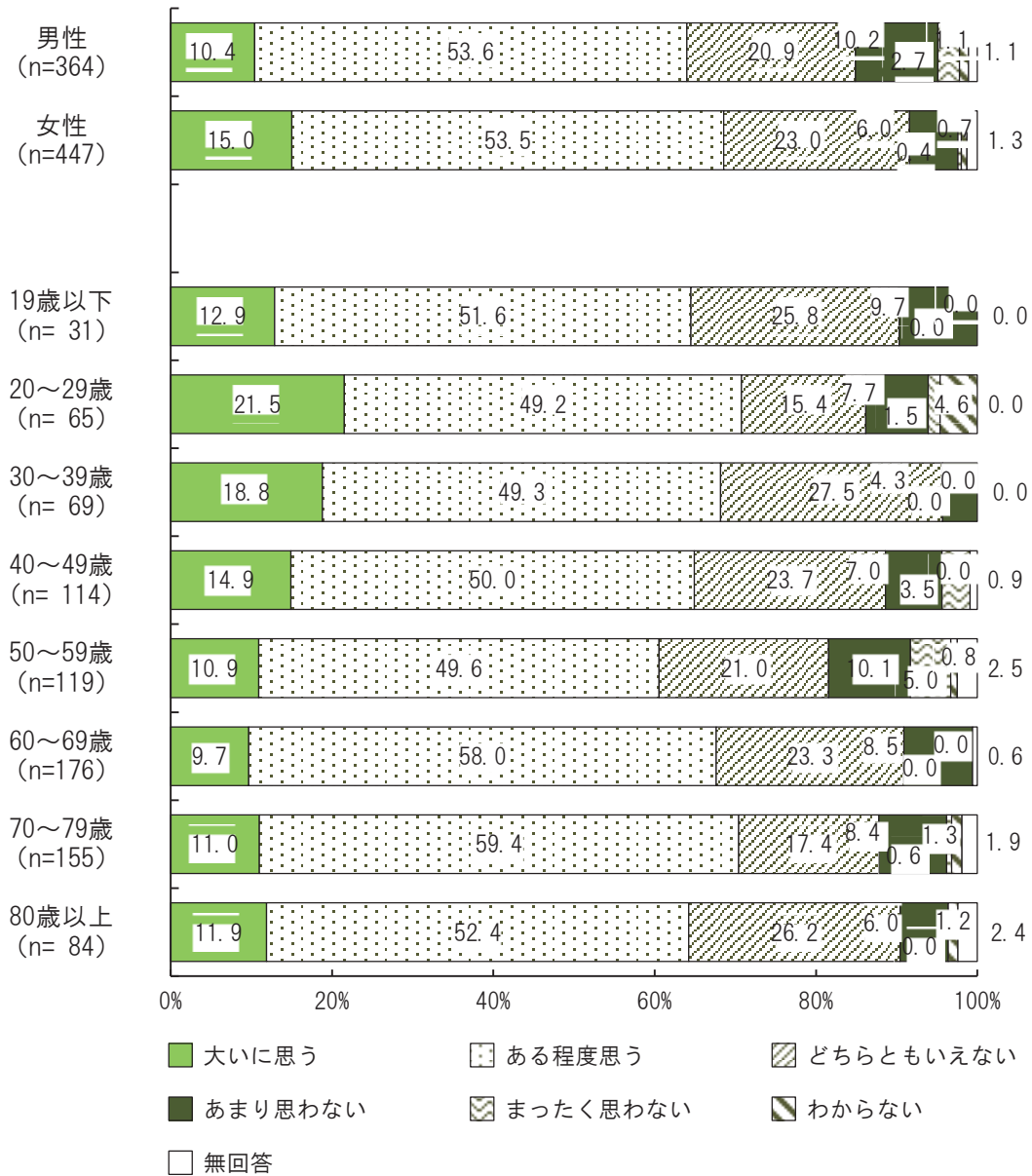


今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が53.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が21.9%、「大いに思う」が12.9%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は66.2%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は9.6%となっています。

昨年度と比較すると、「大いに思う」が5.5ポイント減少しています。



クロス集計（性別・年齢別）



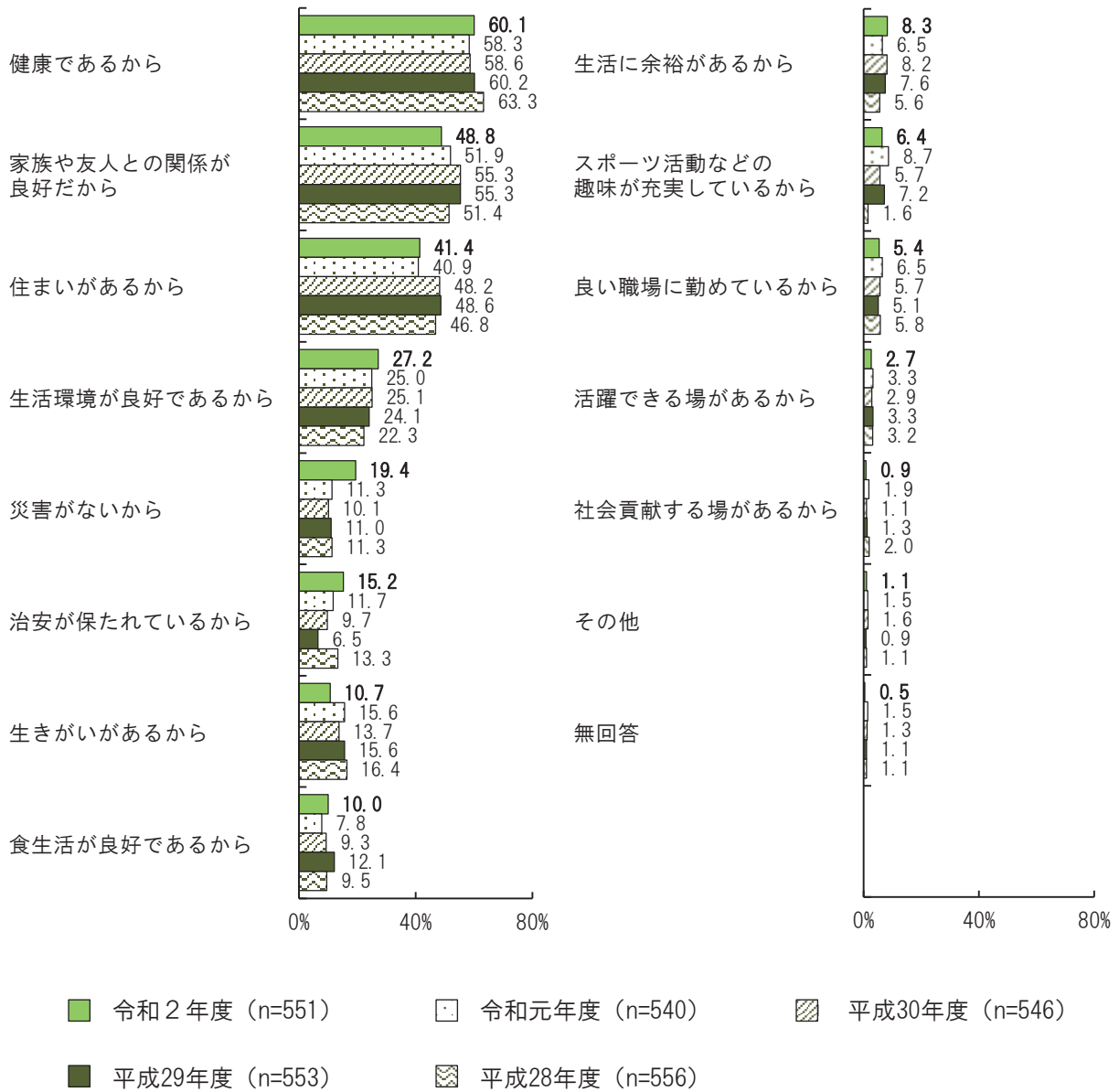
【性別】：男性は『思わない』が12.9%と多くなっています。

【年齢別】：大きな差異はありません。

(6) 幸せだと思う理由

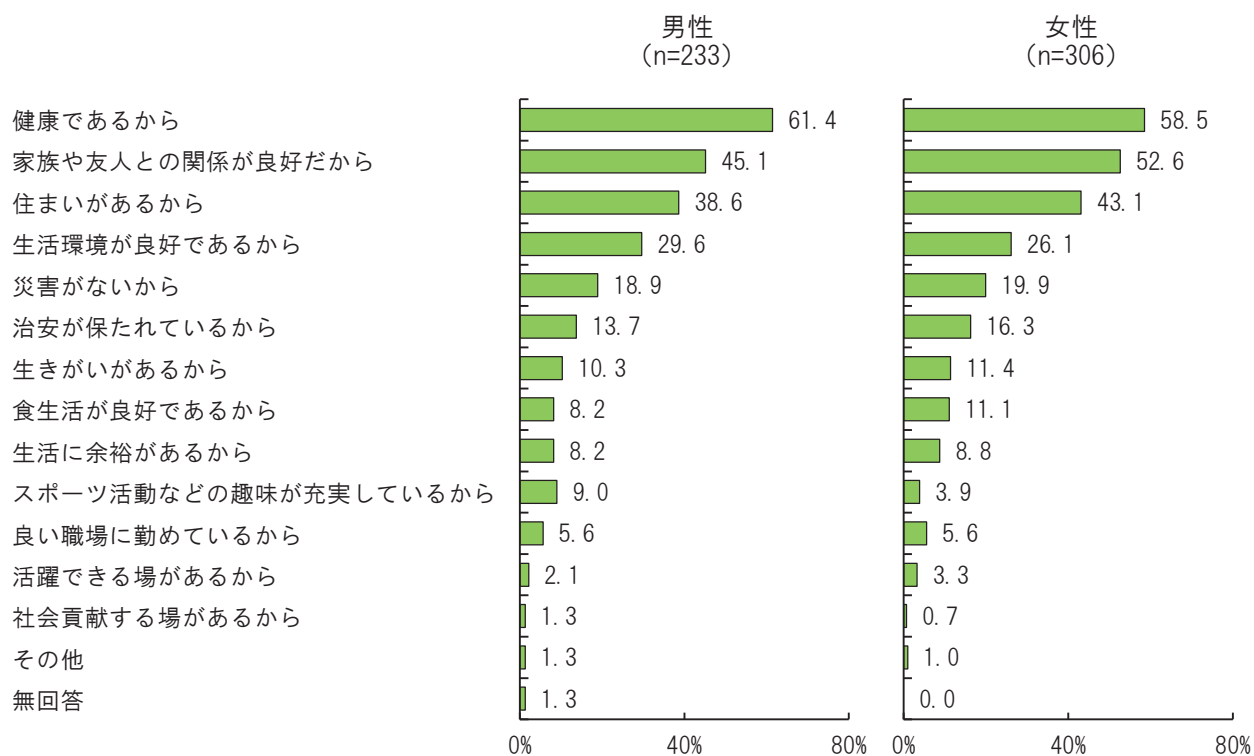
問5で「大いに思う」または「ある程度思う」と答えた方のみ

問6 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



幸せだと思う理由は、「健康であるから」が60.1%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が48.8%、「住まいがあるから」が41.4%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、「災害がないから」が8.1ポイント増加しています。

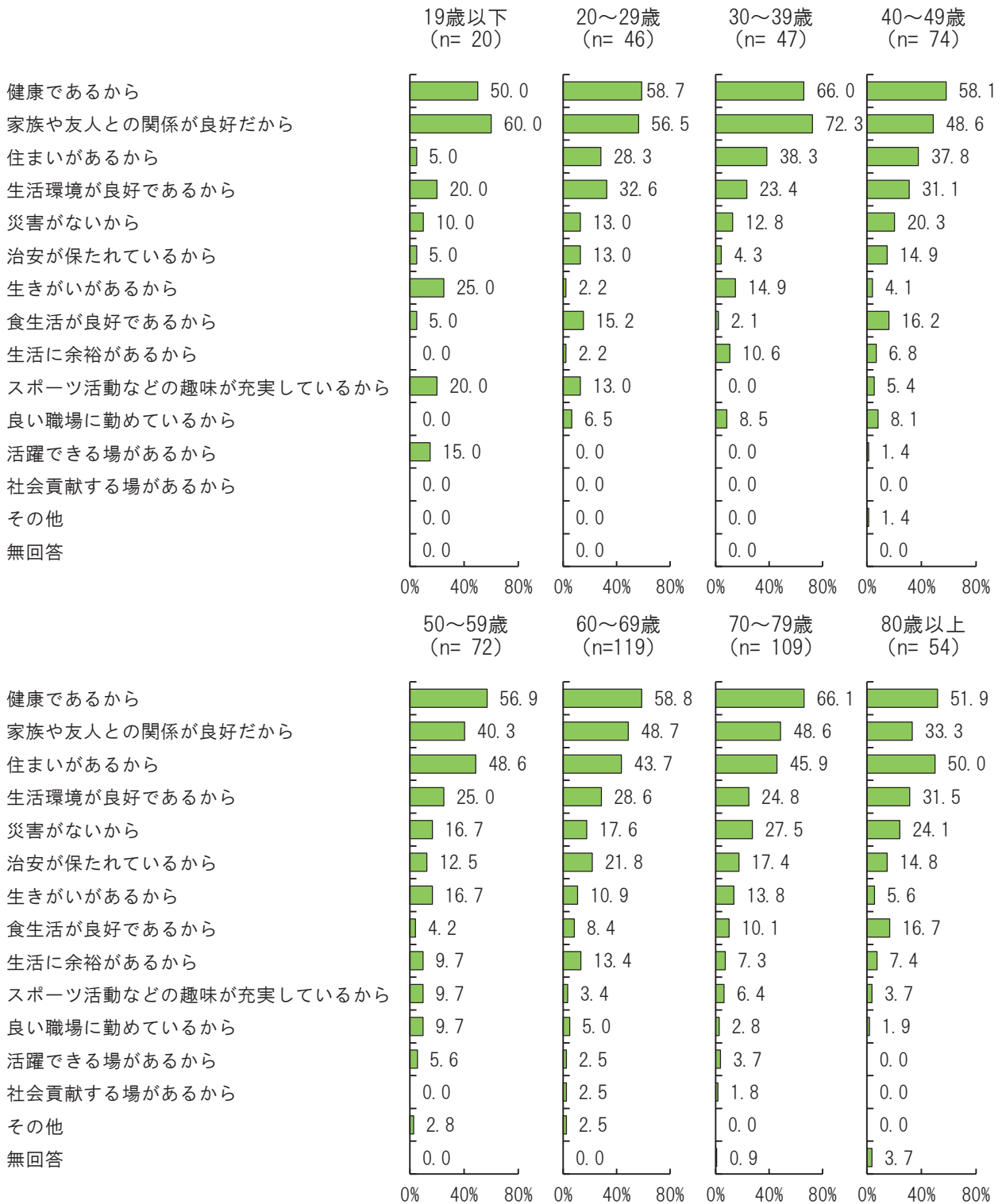
## クロス集計（性別）



【性別】：男性は「スポーツ活動などの趣味が充実しているから」が9.0%と多く、女性は「家族や友人との関係が良好だから」が52.6%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「生きがいがあるから」「スポーツ活動などの趣味が充実しているから」「活躍できる場があるから」が多く、「住まいがあるから」が5.0%と少なくなっています。30～39歳は「家族や友人との関係が良好だから」が72.3%と多くなっています。80歳以上は「家族や友人との関係が良好だから」が33.3%と少なくなっています。

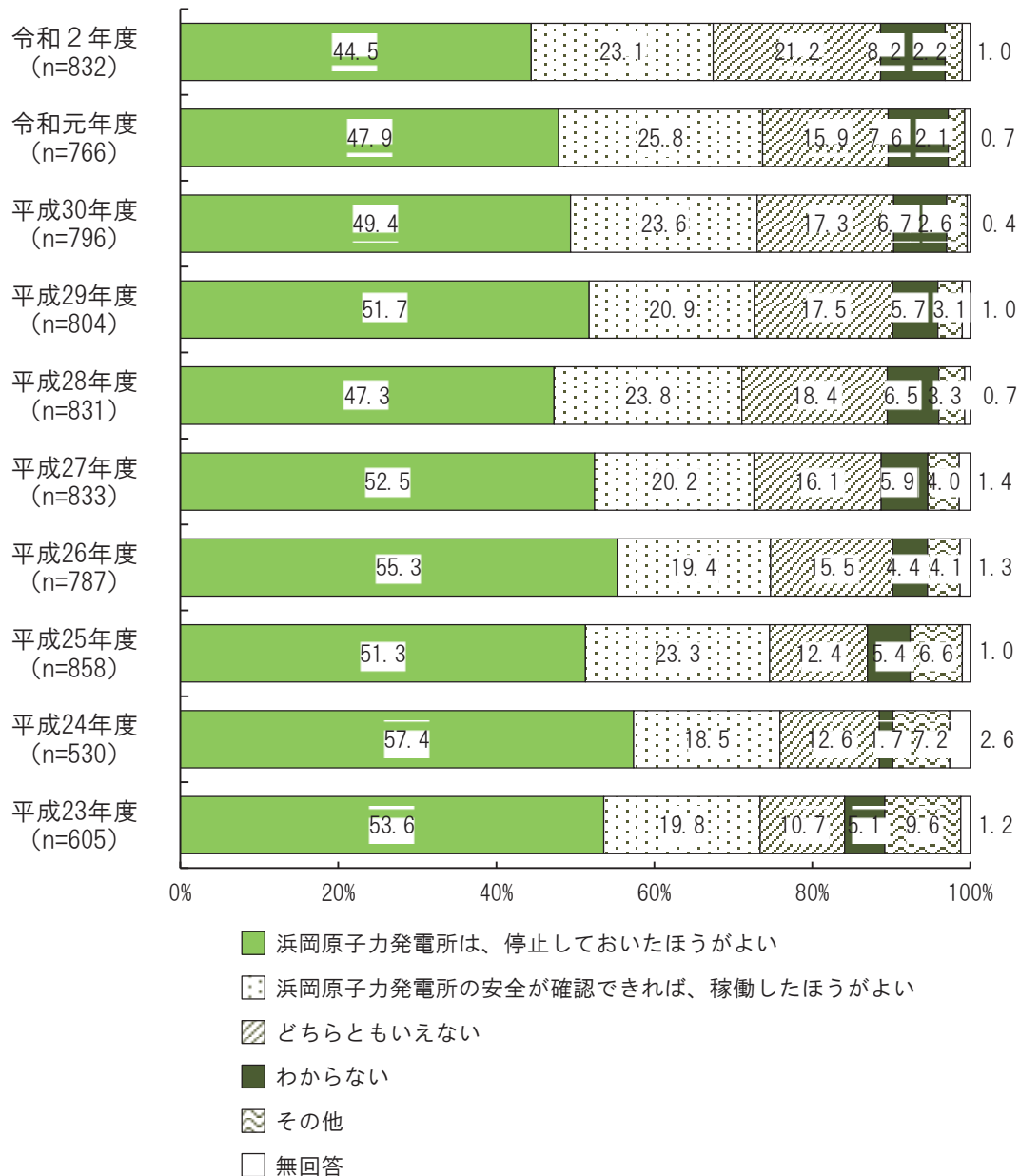
クロス集計（年齢別）



## ②原子力発電について

## (7) 浜岡原子力発電所の今後について

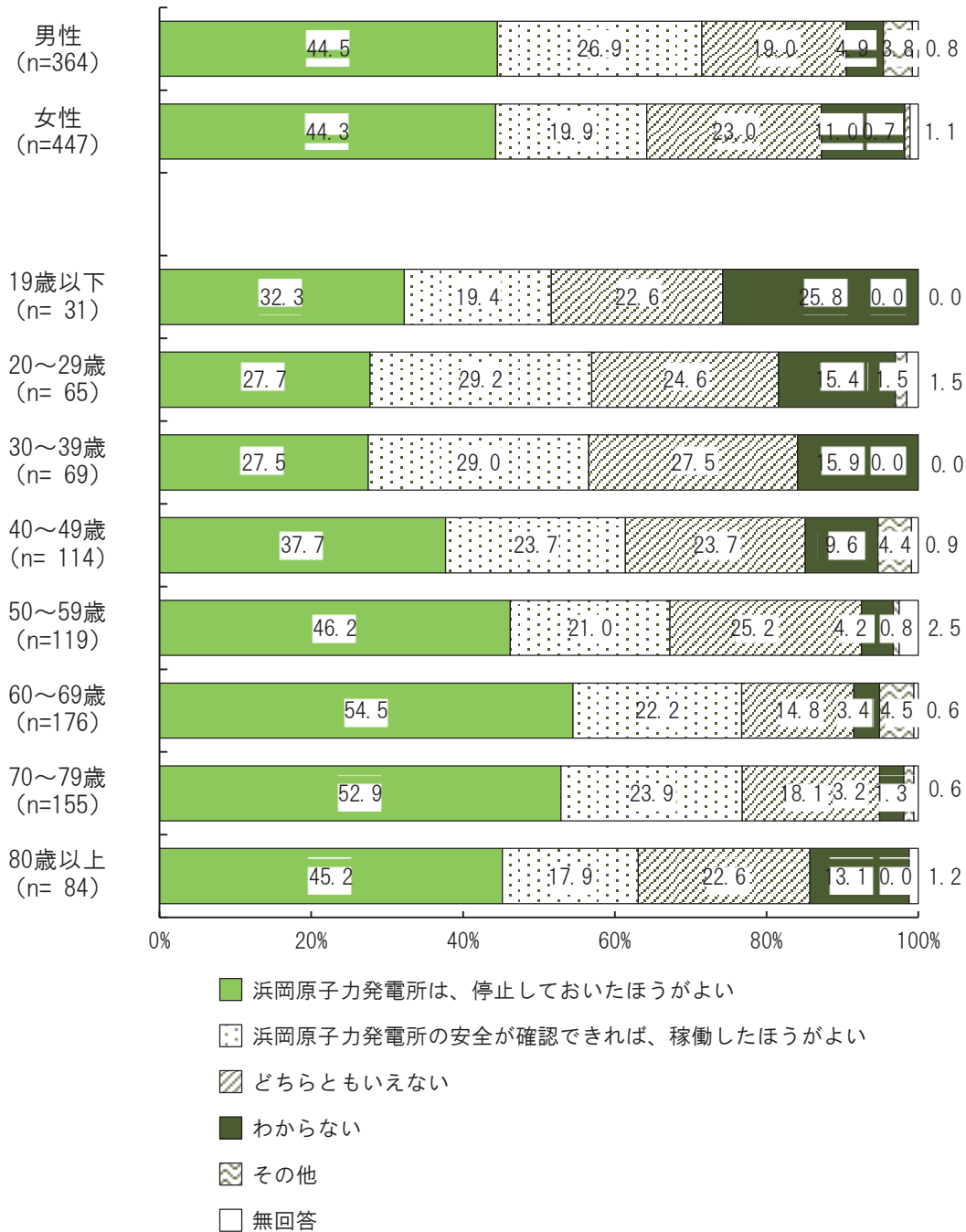
問7 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が44.5%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.1%、「どちらともいえない」が21.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「どちらともいえない」が5.3ポイント増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）



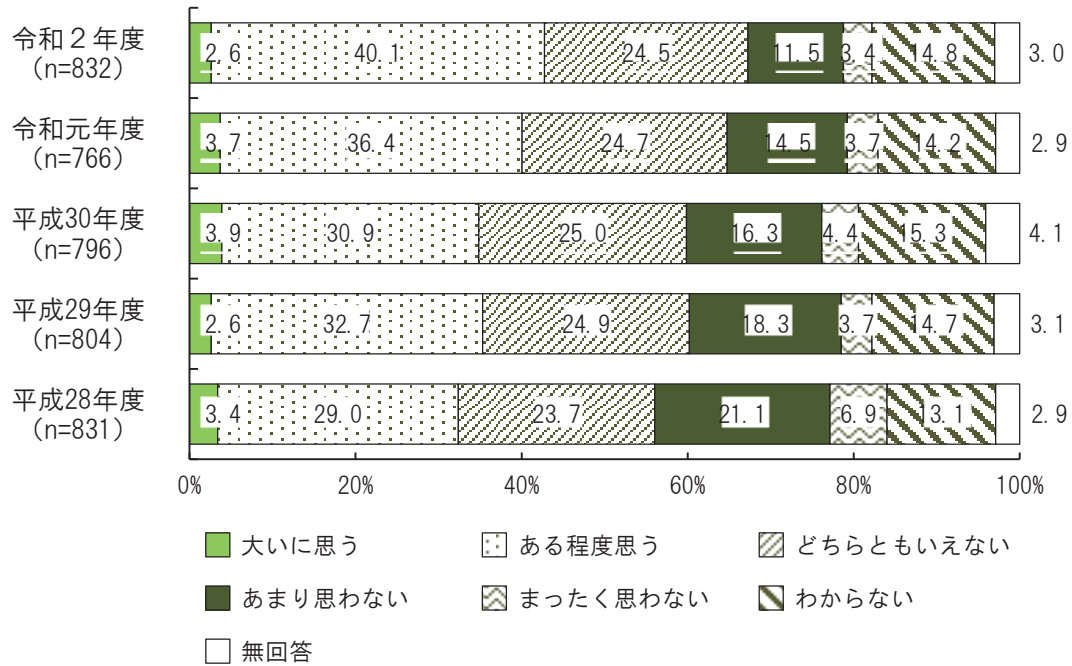
【性別】：男性は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が26.9%と多くなっています。

【年齢別】：20～29歳・30～39歳は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が約3割となっています。60～69歳・70～79歳は「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が半数を超えています。

## ③子育て環境について

## (8) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

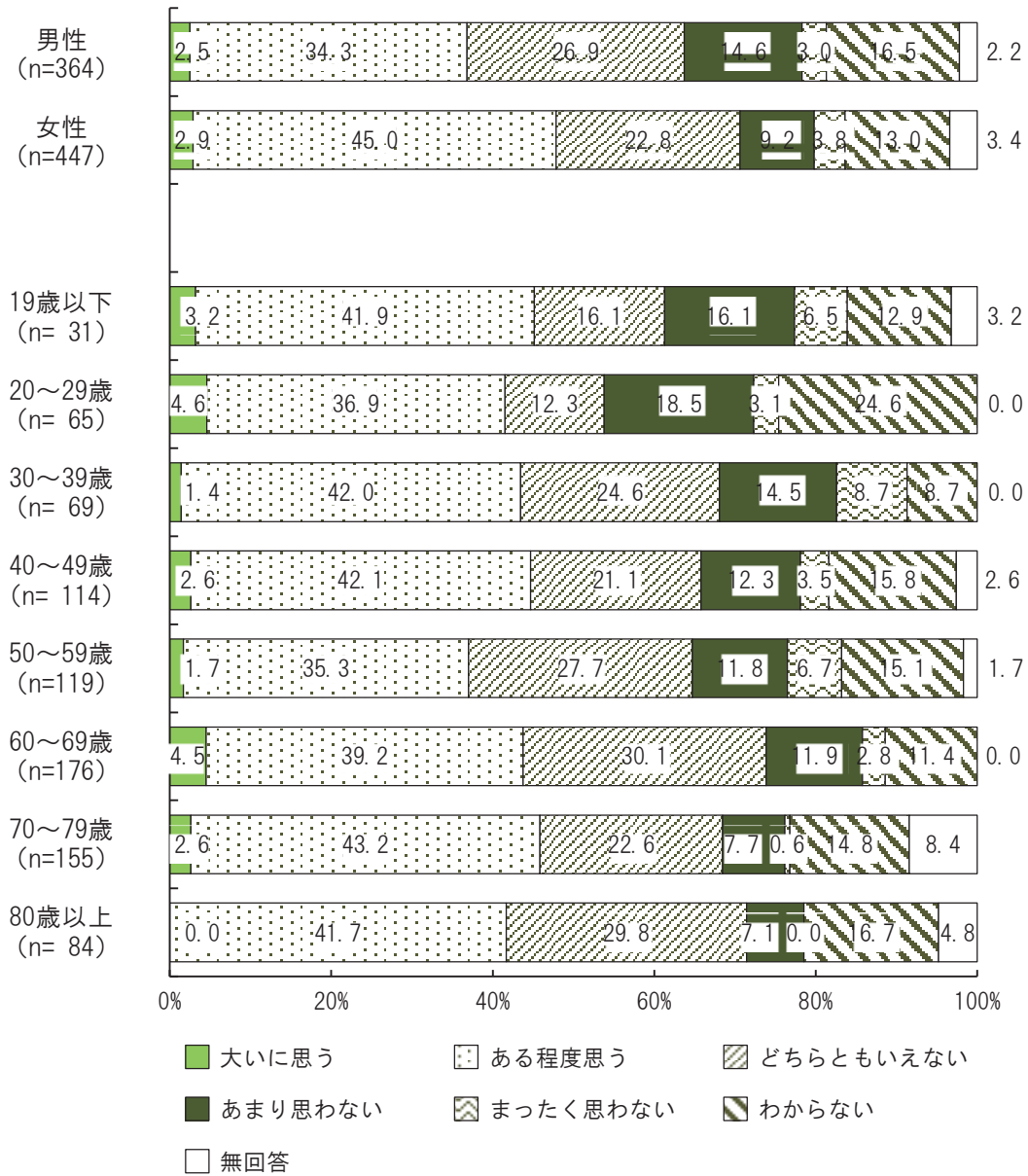
問8 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かについては、「ある程度思う」が40.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.5%、「わからない」が14.8%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は42.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は14.9%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

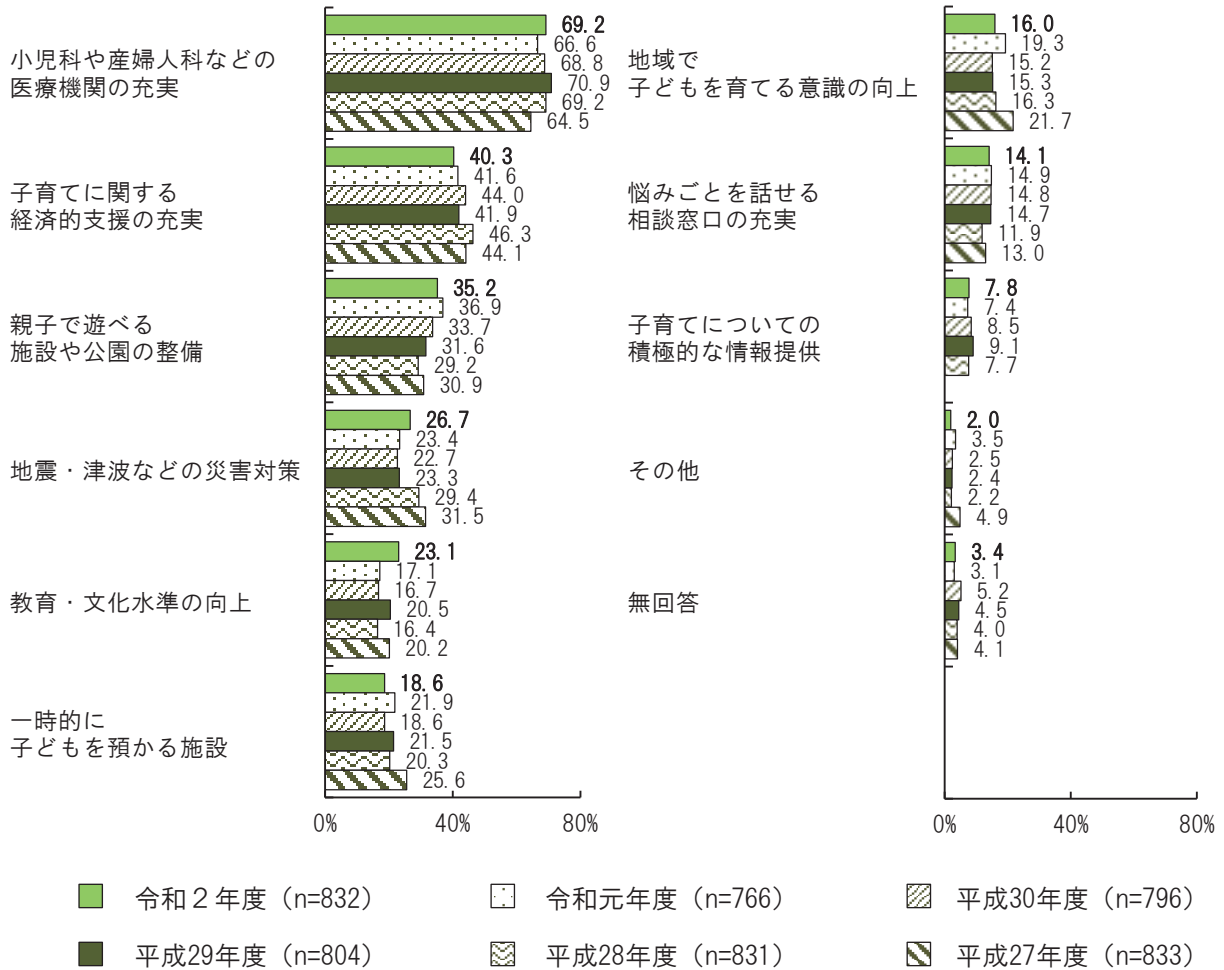


【性別】：男性は「あまり思わない」が14.6%と多く、女性は「ある程度思う」が45.0%と多くなっています。また、『思う』は女性が47.9%と多くなっています。  
 【年齢別】：大きな差異はみられません。



(9) 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきこと

問9 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことは何だと思えますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

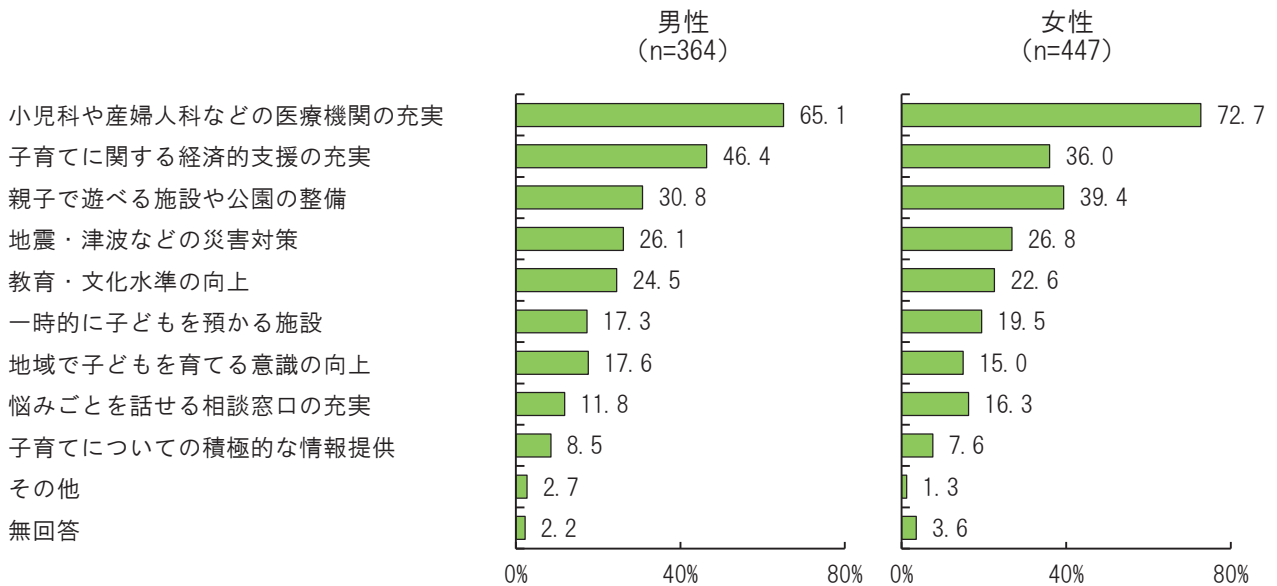


※「子育てについての積極的な情報提供」は平成28年度に追加された選択肢です。また、「子育てに関する経済的支援の充実」は、平成27年度以前は「医療費の無料化」と掲載していました。

子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきことは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が69.2%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が40.3%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が35.2%などとなっています。

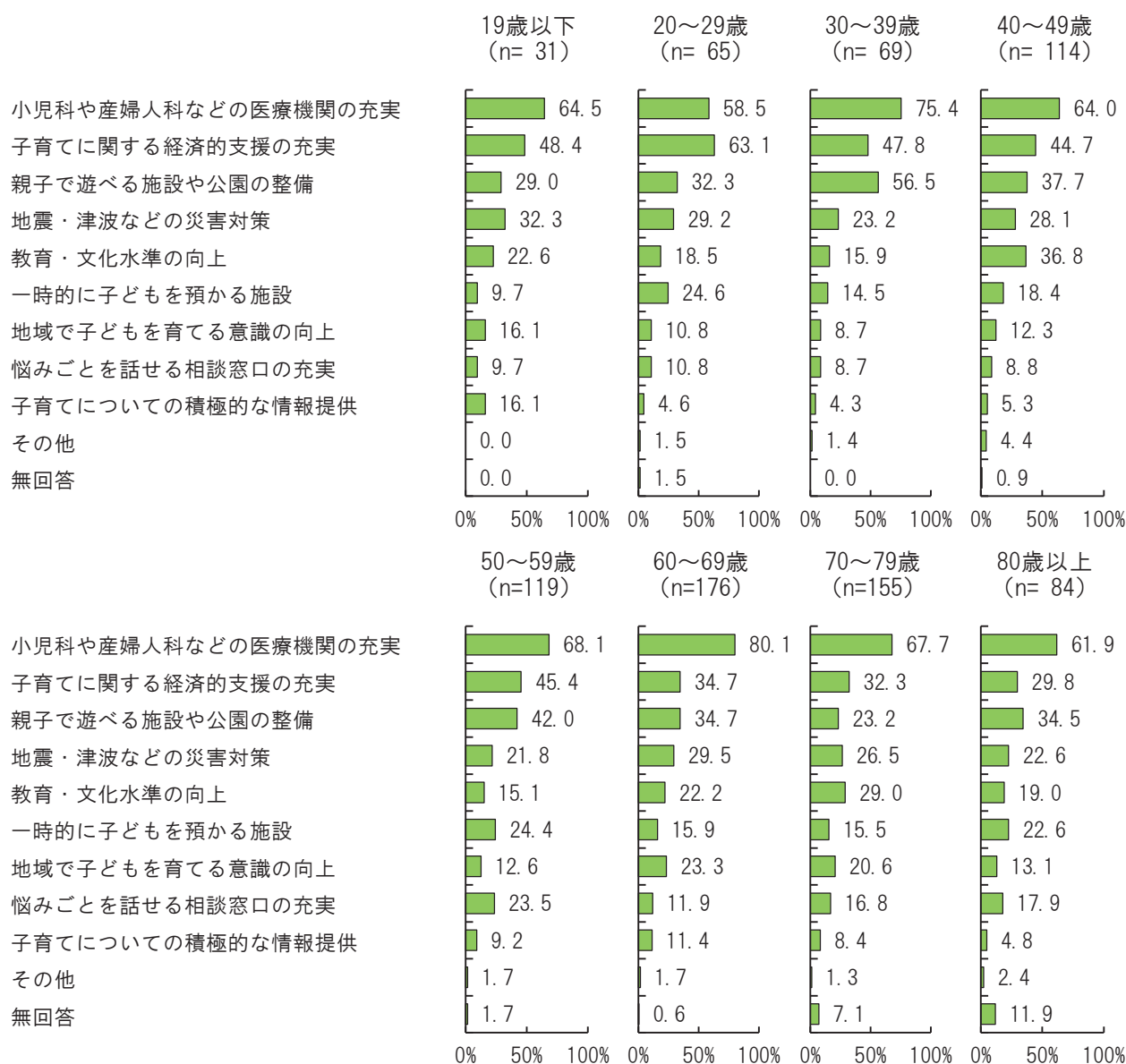
昨年度と比較すると、「教育・文化水準の向上」が6.0ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「子育てに関する経済的支援の充実」が46.4%と多く、女性は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」「親子で遊べる施設や公園の整備」が多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

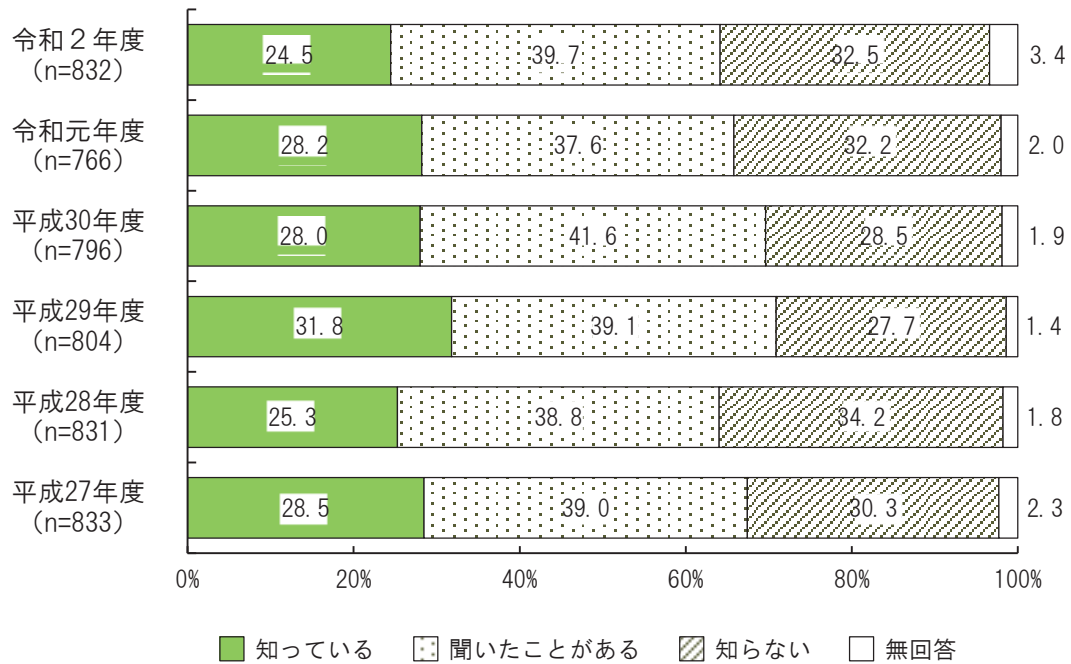


【年齢別】：20~29歳は「子育てに関する経済的支援の充実」が63.1%と多くなっています。30~39歳は「親子で遊べる施設や公園の整備」が56.5%と多くなっています。40~49歳は「教育・文化水準の向上」が36.8%と多くなっています。70~79歳は「親子で遊べる施設や公園の整備」が23.2%と少なくなっています。

#### ④ “公共施設の更新問題” について

##### (10) “公共施設の更新問題” の把握状況

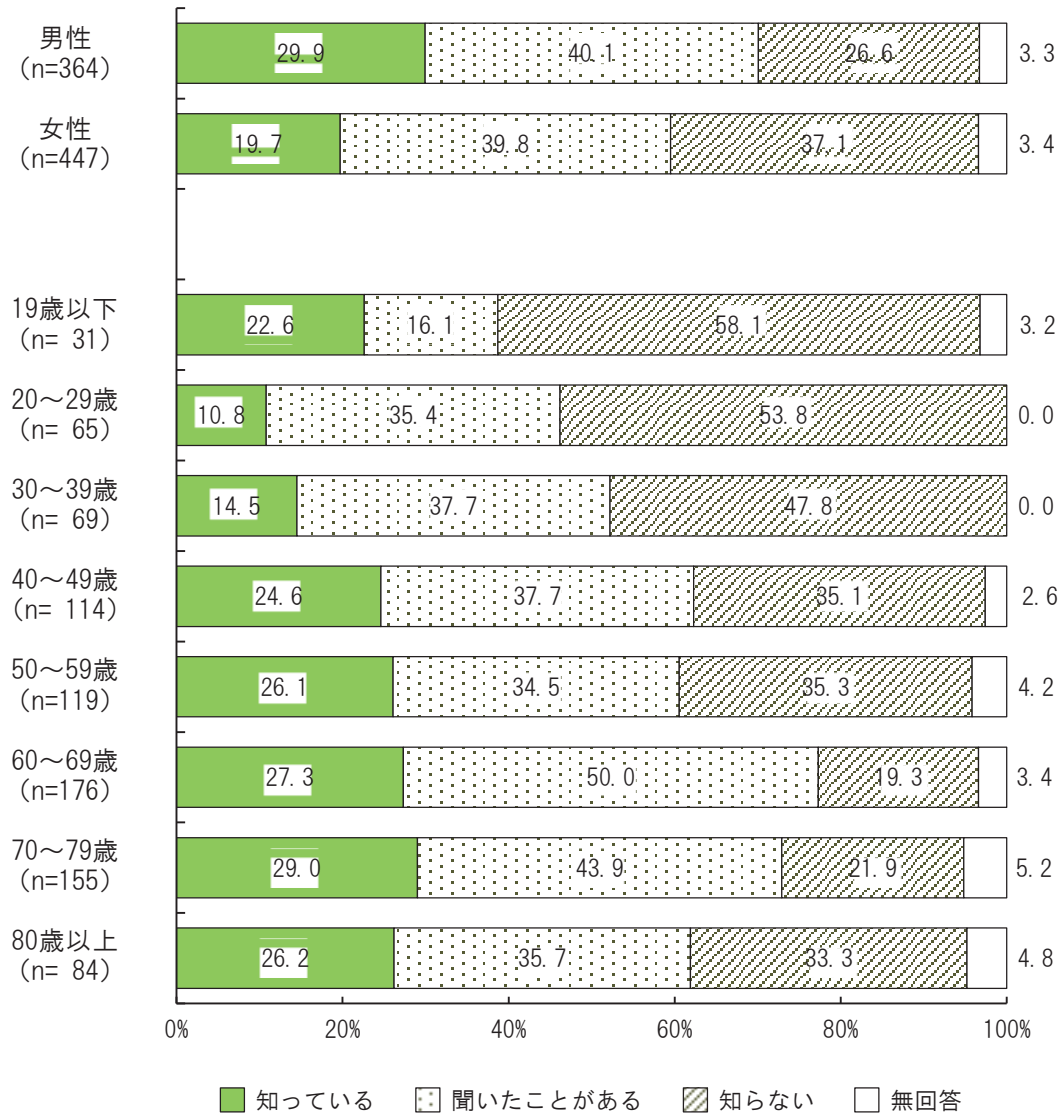
問10 あなたは、この“公共施設の更新問題(老朽化問題)”を知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



“公共施設の更新問題”の把握状況は、「聞いたことがある」が39.7%と最も多く、次いで「知らない」が32.5%、「知っている」が24.5%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

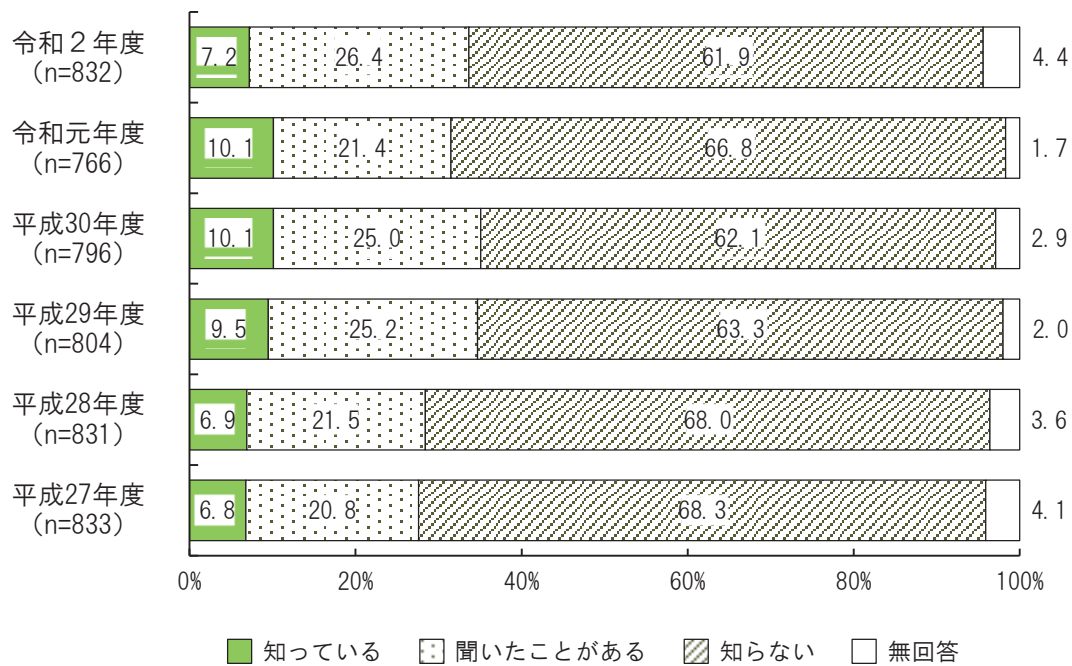
## クロス集計（性別・年齢別）



【性別】：男性は「知っている」が29.9%と多く、女性は「知らない」が37.1%と多くなっています。  
 【年齢別】：60～69歳は「聞いたことがある」が50.0%と多くなっています。19歳以下は「聞いたことがある」が16.1%と少なくなっています。

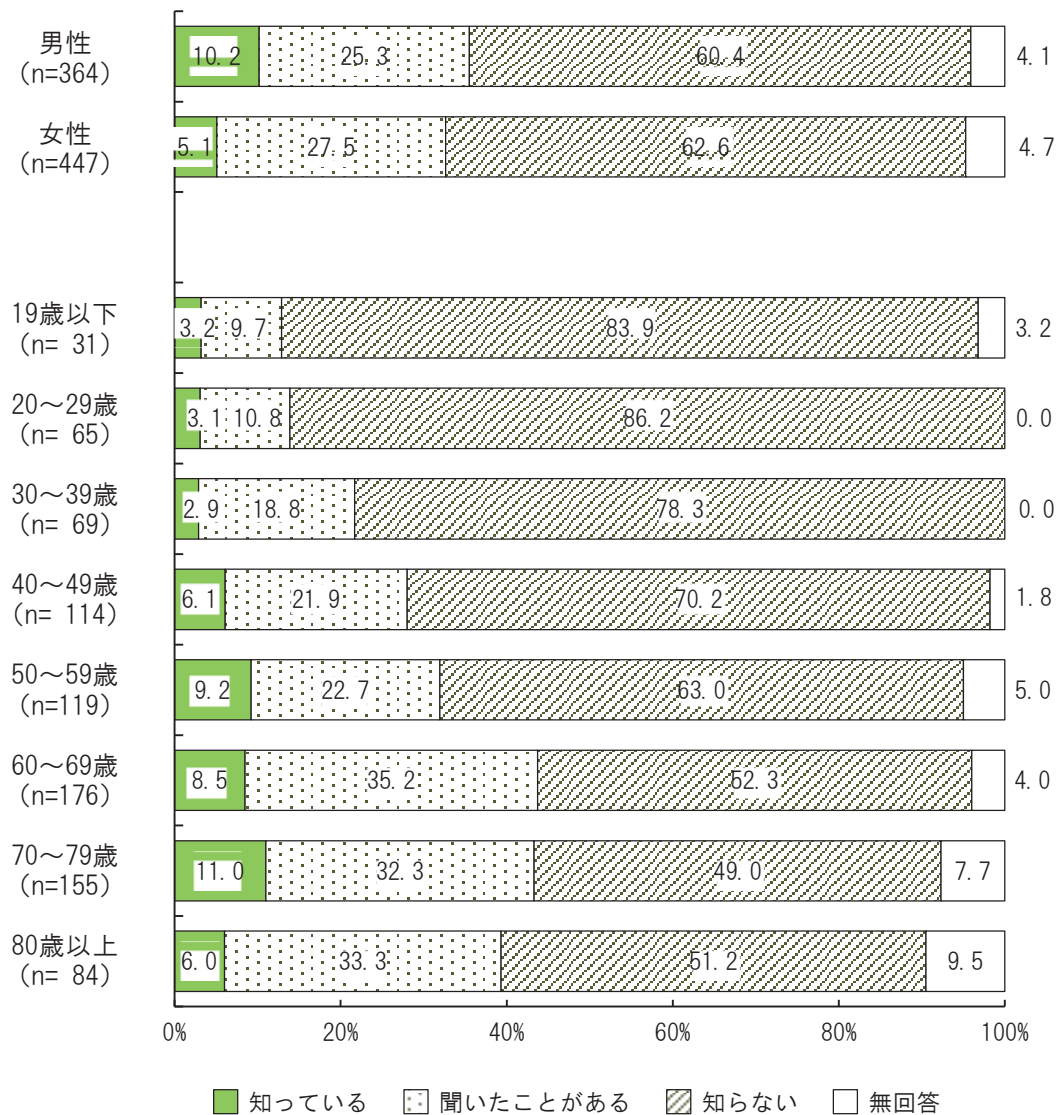
(11) “公共施設の更新問題” への牧之原市の取組の把握状況

問 11 牧之原市では、この“公共施設の更新問題(老朽化問題)”に対応するための取組を行っています。あなたは、この取組を知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



“公共施設の更新問題” への牧之原市の取組の把握状況は、「知らない」が 61.9%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が 26.4%、「知っている」が 7.2%となっています。昨年度と比較すると、「聞いたことがある」が 5.0ポイント増加しています。

## クロス集計（性別・年齢別）



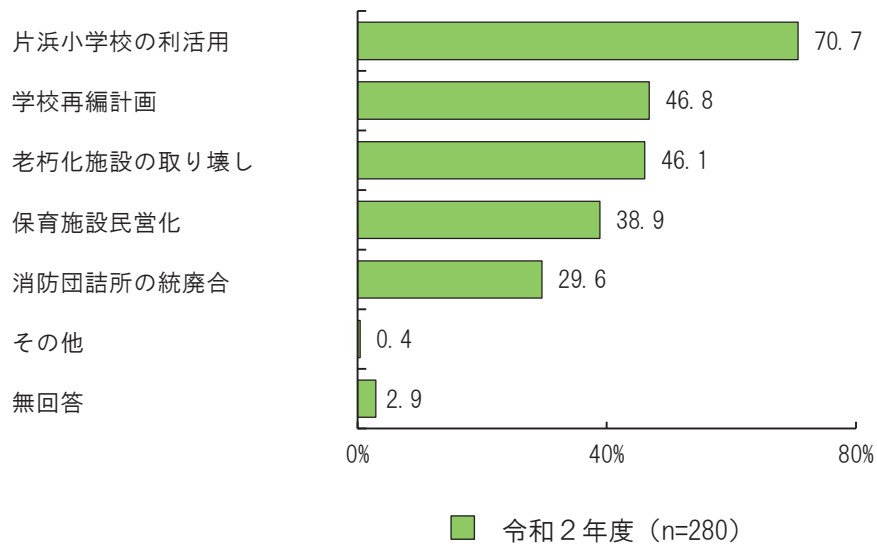
【性別】：男性は「知っている」が10.2%と多くなっています。

【年齢別】：60～69歳・70～79歳・80歳以上は「聞いたことがある」が3割を超え、「知らない」が約半数となっています。

(12) “公共施設の更新問題” への牧之原市の取組で知っているもの

問11で「知っている」または「聞いたことがある」と答えた方のみ

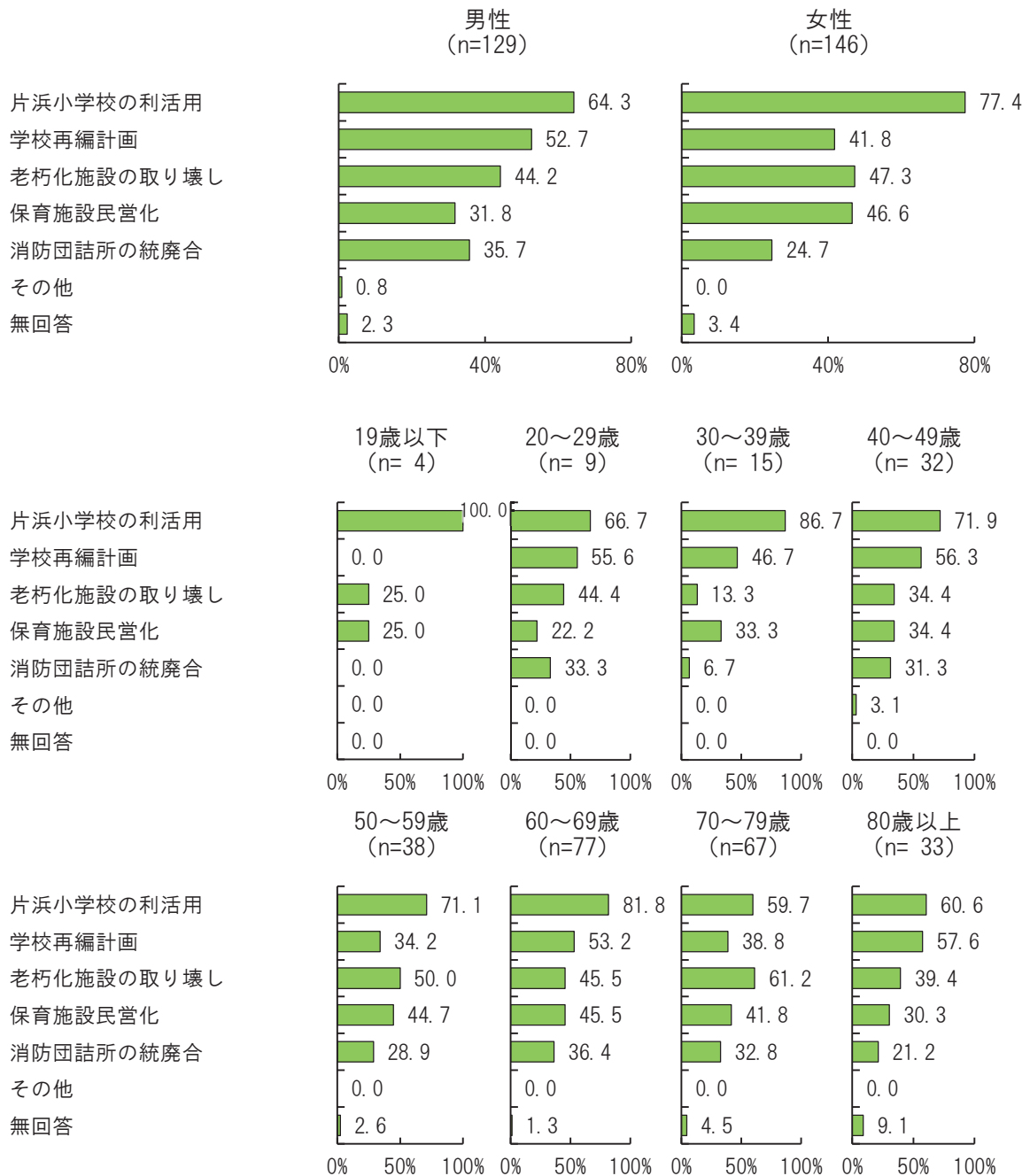
問12 どのような市の取組を知っていますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



“公共施設の更新問題” への牧之原市の取組で知っているものについては、「片浜小学校の利活用」が70.7%と最も多く、次いで「学校再編計画」が46.8%、「老朽化施設の取り壊し」が46.1%などとなっています。



## クロス集計（性別・年齢別）

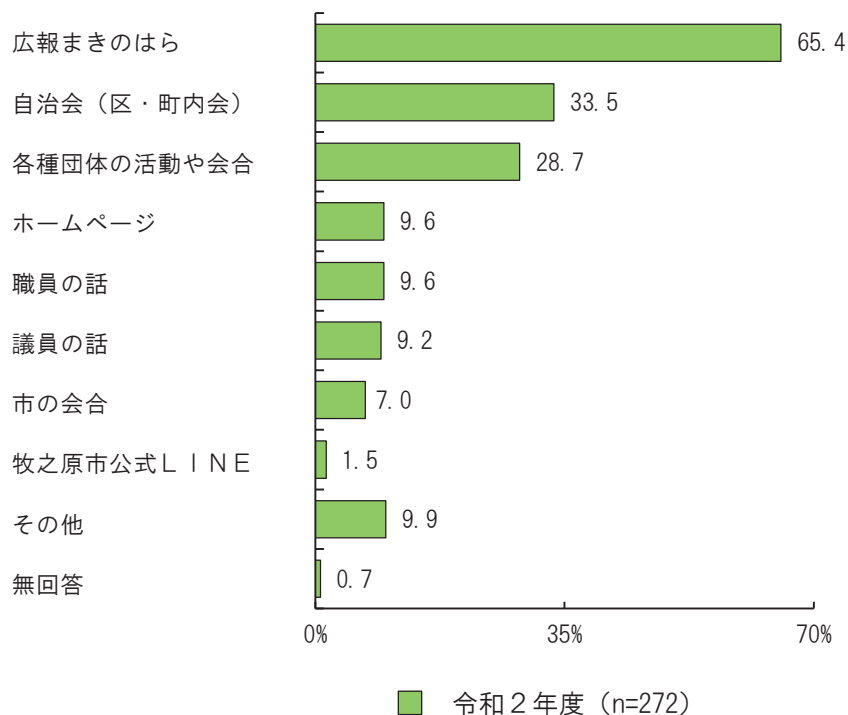


【性別】：男性は「学校再編計画」「消防団詰所の統廃合」が多く、女性は「片浜小学校の利活用」「保育施設民営化」が多くなっています。

【年齢別】：40～49歳は「老朽化施設の取り壊し」が34.4%と少なくなっています。60～69歳は「片浜小学校の利活用」が81.8%と多くなっています。70～79歳は「老朽化施設の取り壊し」が61.2%と多くなっています。80歳以上は「消防団詰所の統廃合」が21.2%と少なくなっています。

(13) “公共施設の更新問題” への牧之原市の取組の情報源

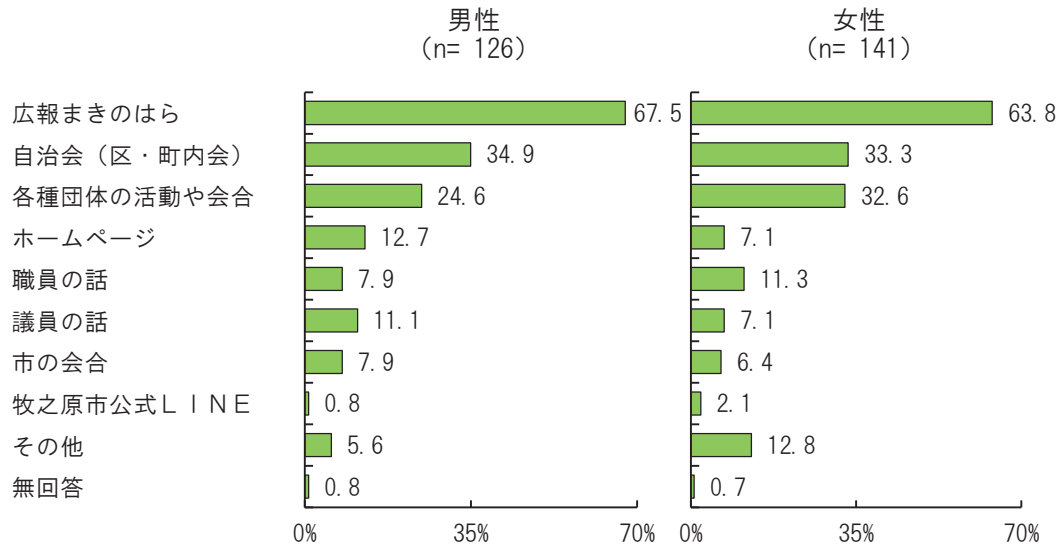
問11で「知っている」または「聞いたことがある」と答えた方、また問12に何らかの回答をした方のみ  
 問13 その情報を何で見聞きしましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



※「自治会(区・町内会)」「各種団体の活動や会合」「牧之原市公式LINE」は、令和2年度より追加された選択肢です。

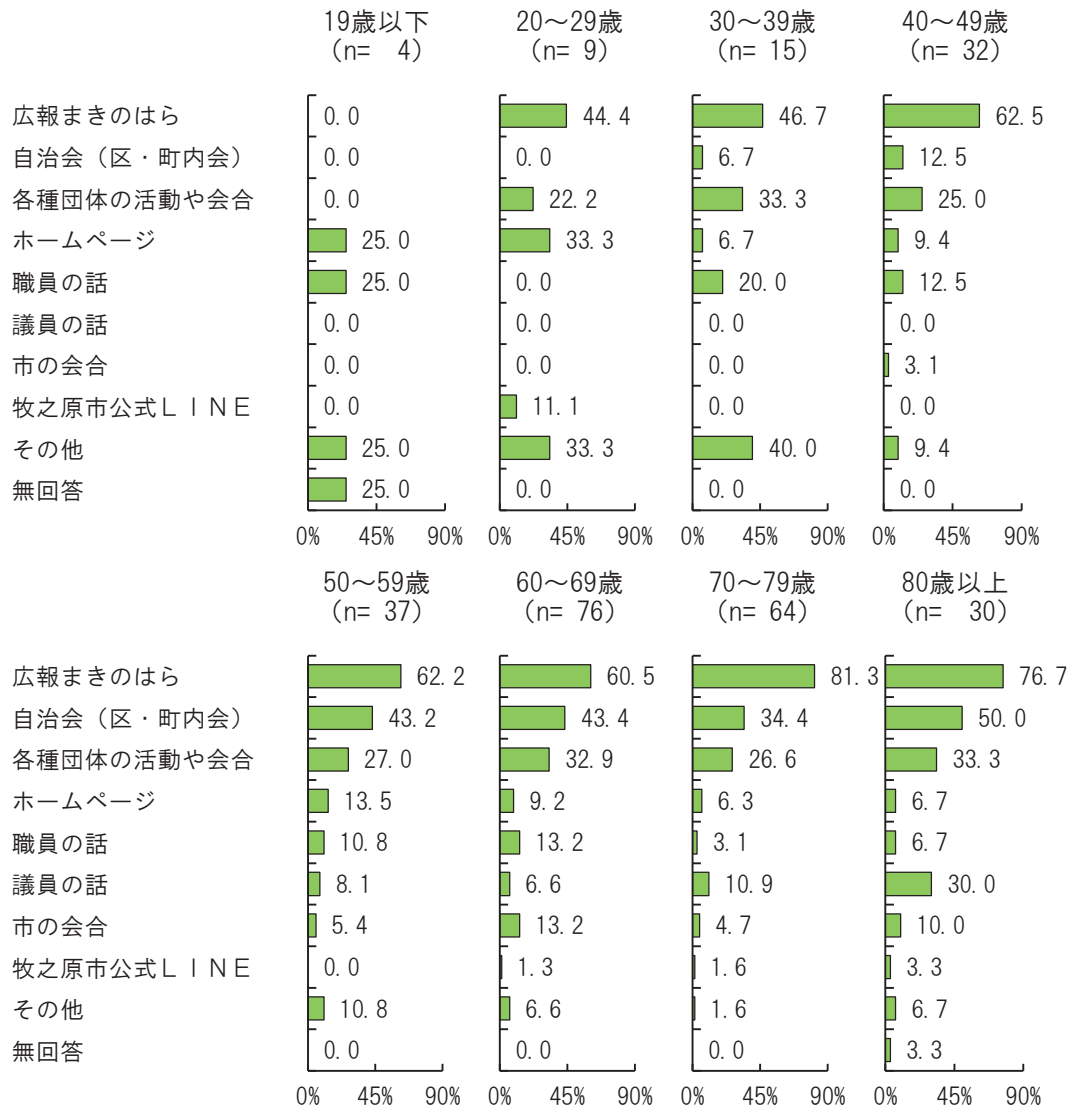
“公共施設の更新問題” への牧之原市の取組の情報源は、「広報まきのほら」が65.4%と最も多く、次いで「自治会(区・町内会)」が33.5%、「各種団体の活動や会合」が28.7%などとなっています。

## クロス集計（性別）



【性別】：男性は「ホームページ」が12.7%と多く、女性は「各種団体の活動や会合」が32.6%と多くなっています。

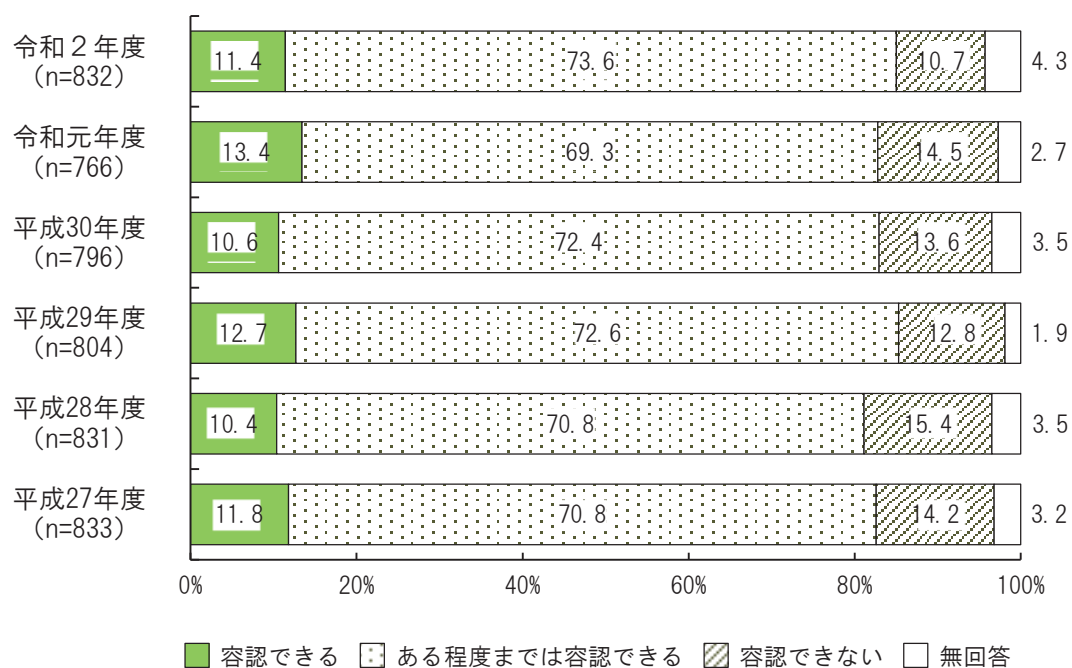
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：40～49歳は「自治会（区・町内会）」「議員の話」が少なくなっています。80歳以上は「自治会（区・町内会）」「議員の話」が多くなっています。

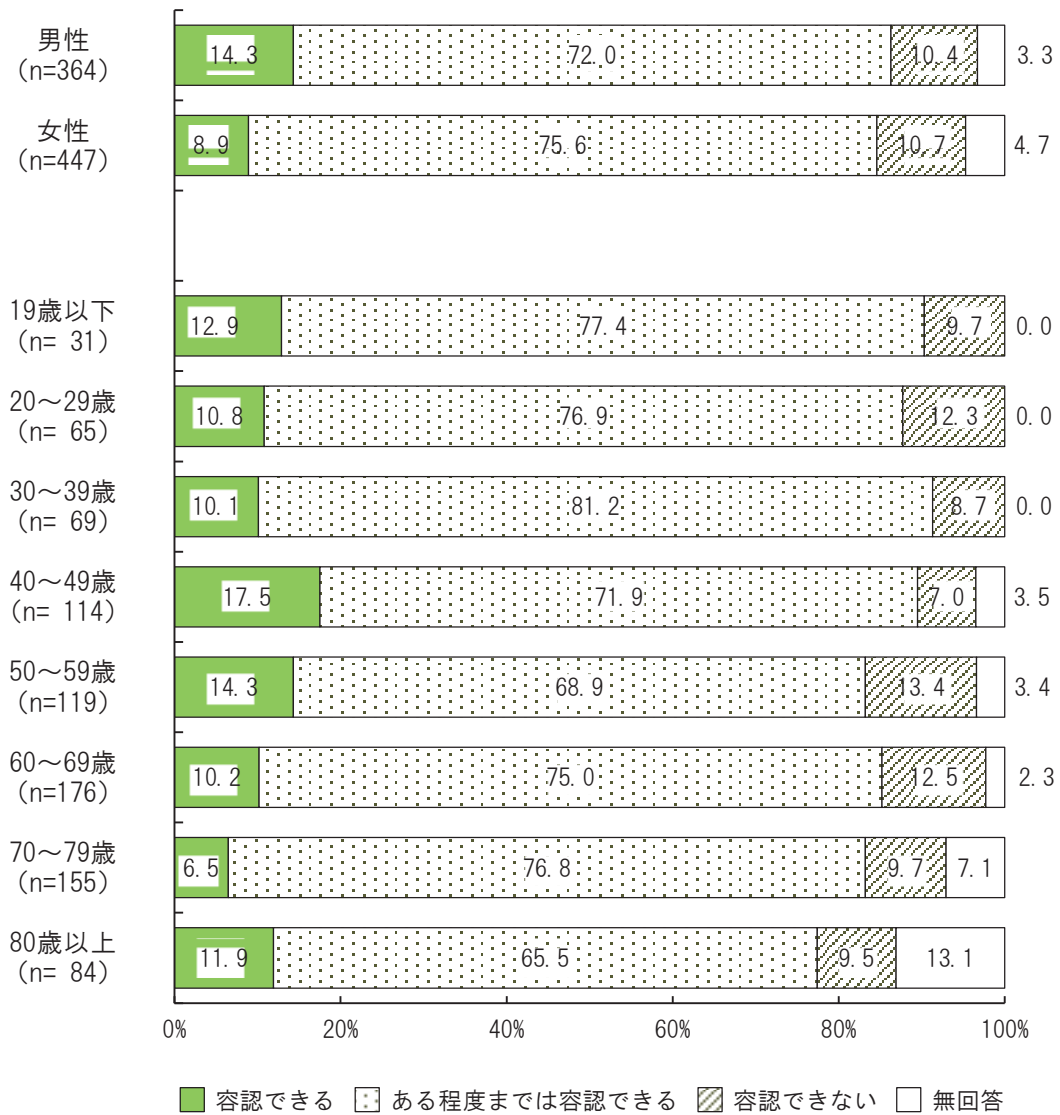
## (14) 施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

問 14 “公共施設の更新問題（老朽化問題）”への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりしたりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が73.6%と最も多く、次いで「容認できる」が11.4%、「容認できない」が10.7%となっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

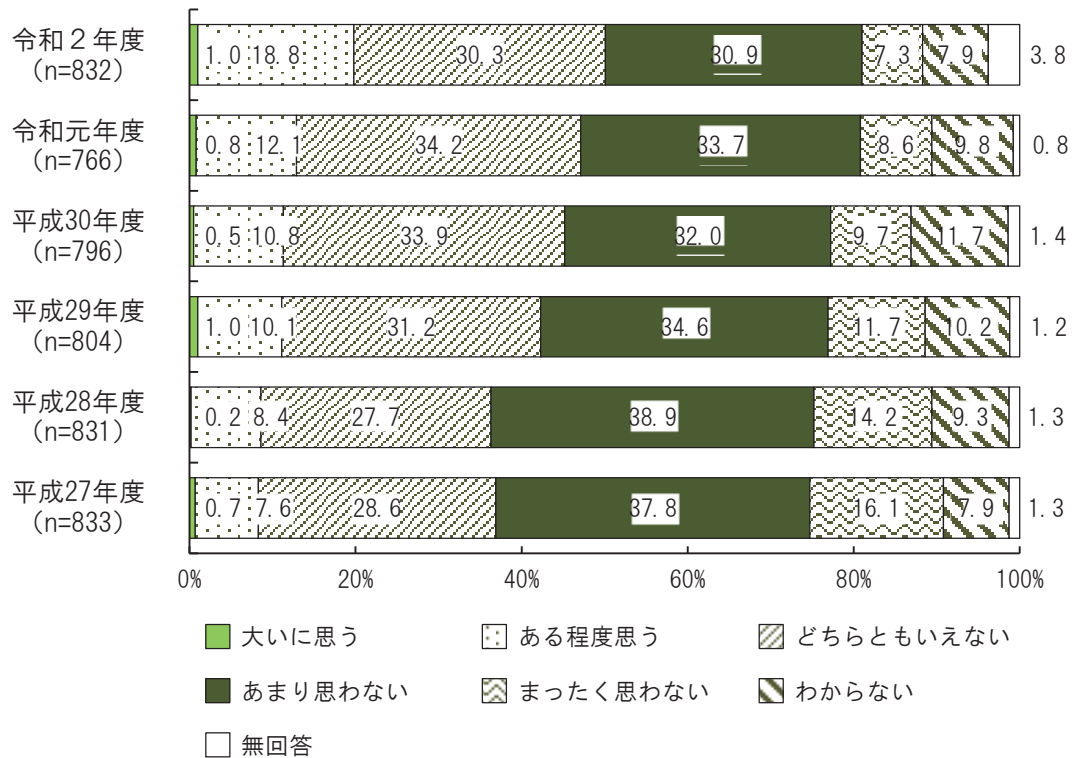


【性別】：男性は「容認できる」が14.3%と多くなっています。  
 【年齢別】：大きな差異はみられません。

## ⑤産業・雇用について

## (15) 市の産業に活力があると思うか

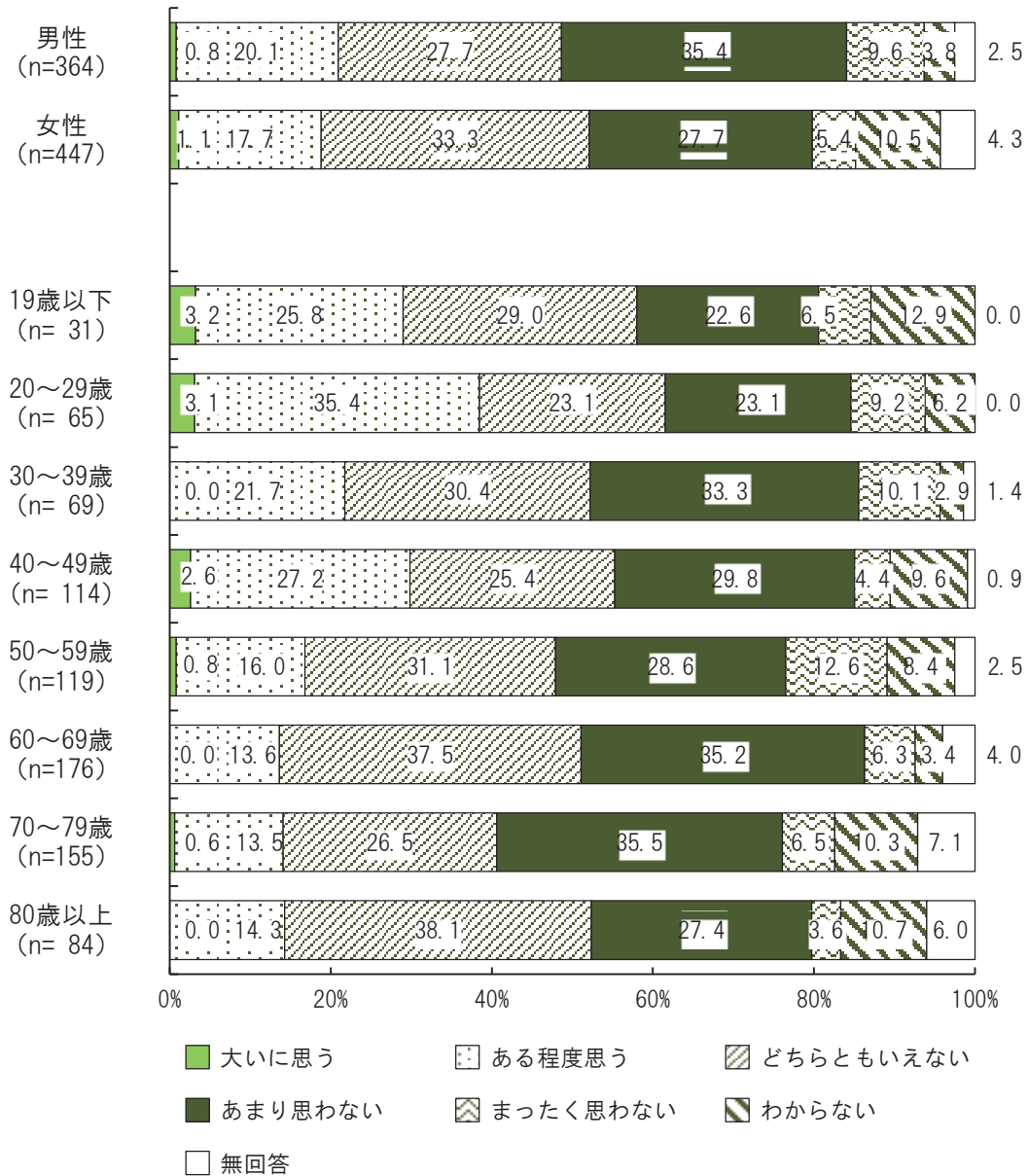
問 15 あなたは、市の産業に、活力（元気）があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市の産業に活力があると思うかについては、「あまり思わない」が30.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が30.3%、「ある程度思う」が18.8%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は19.7%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は38.2%となっています。

昨年度と比較すると、「ある程度思う」『思う』が増加しています。

クロス集計（性別・年齢別）



【性別】：男性は「あまり思わない」が35.4%と多く、女性は「どちらともいえない」が33.3%と多くなっています。また、『思わない』は男性が45.1%と多くなっています。

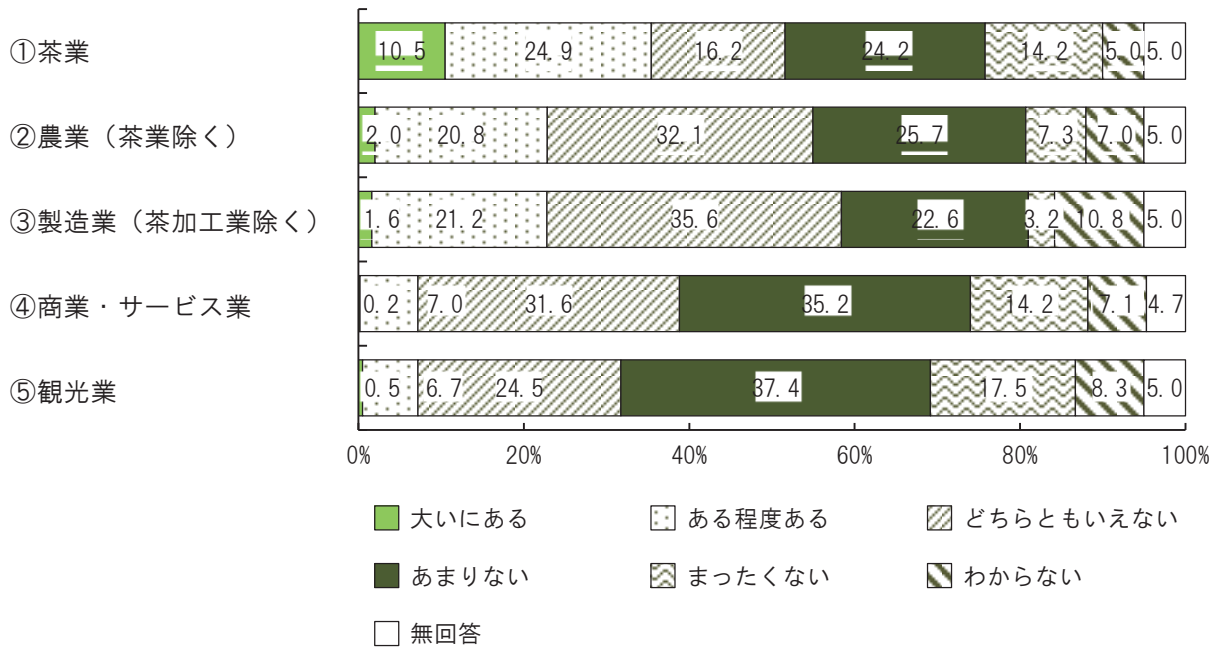
【年齢別】：20～29歳は「ある程度思う」が35.4%と多くなっています。また、『思う』は20～29歳が38.5%と多くなっています。



## (16) 活力があると思う産業

問16 あなたは、市のどの産業に活力があると思いますか。各産業に1つずつ○印をつけてください。

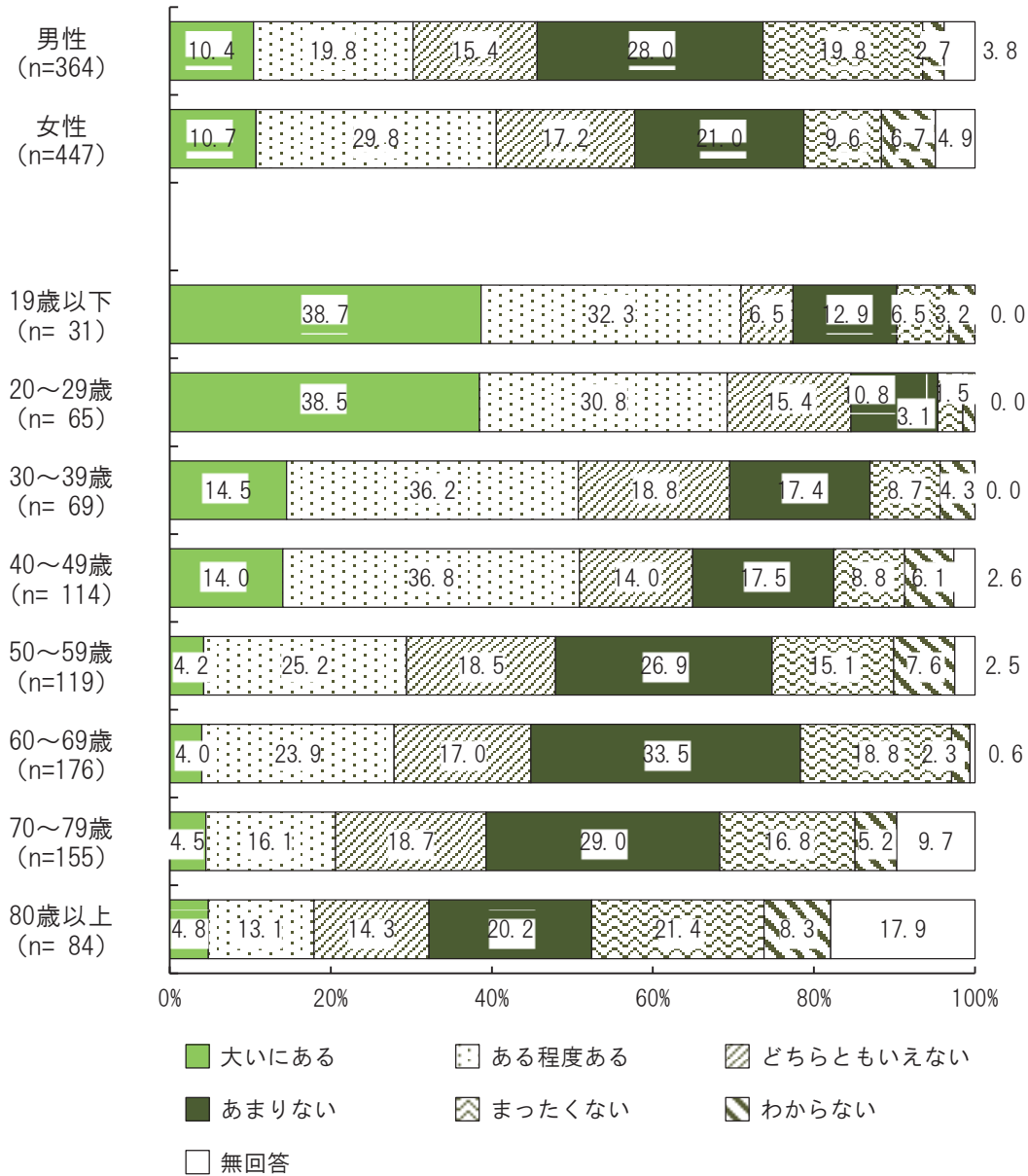
令和2年度 (n=832)



活力があると思う産業は、「大いにある」が《①茶業》において10.5%と最も多く、『ある』（「大いにある」＋「ある程度ある」）は35.3%となります。「まったくない」が《⑤観光業》においては17.5%と最も多く、『ない』（「あまりない」＋「まったくない」）は54.9%となります。

クロス集計（性別・年齢別）

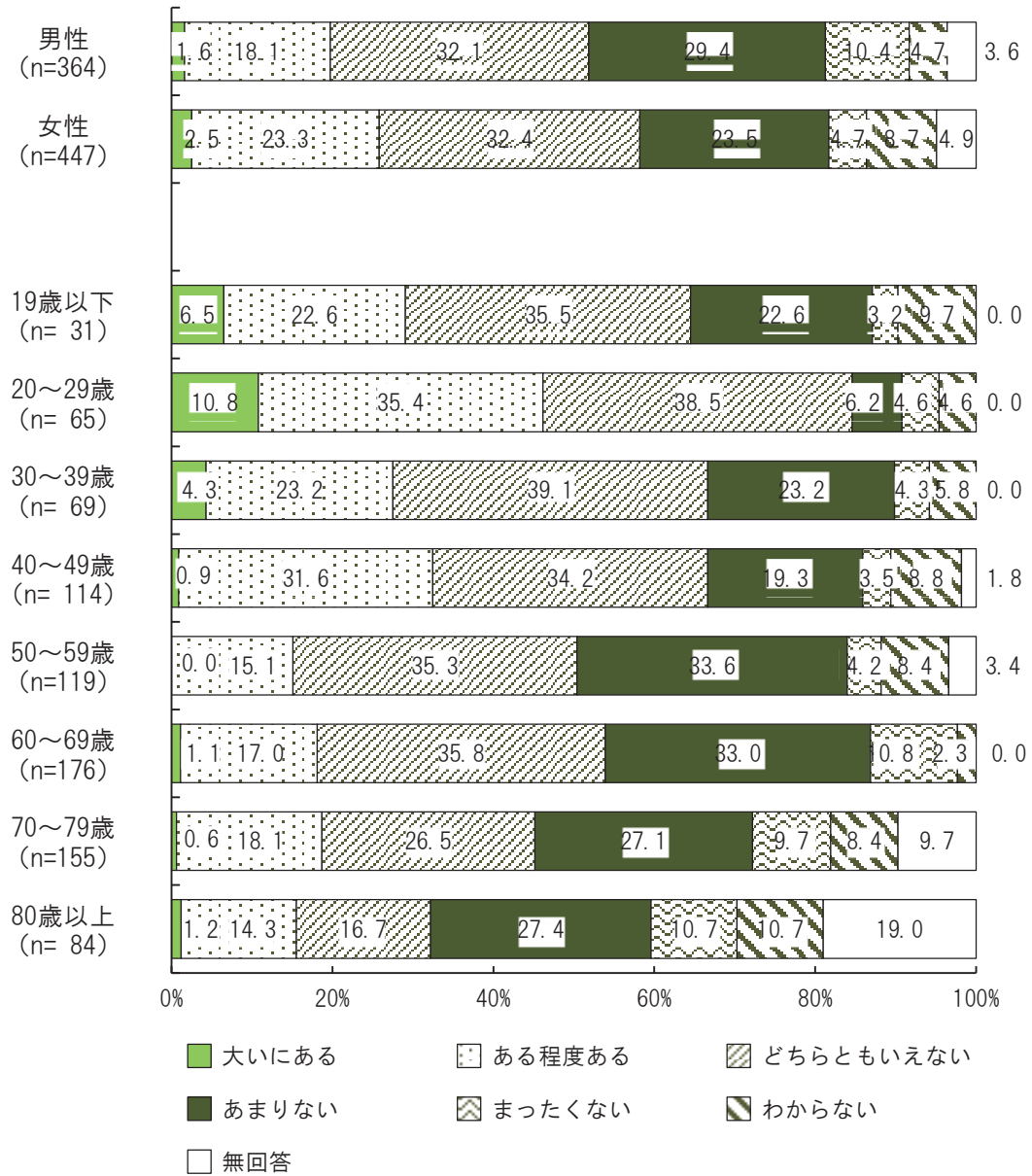
《①茶業》



【性別】：男性は「あまりない」「まったくない」が多く、女性は「ある程度ある」が29.8%と多くなっています。また、『ない』は男性が47.8%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「どちらともいえない」が6.5%と少なくなっています。また、『ない』は60～69歳が52.3%と多く、20～29歳は13.8%と少なくなっています。

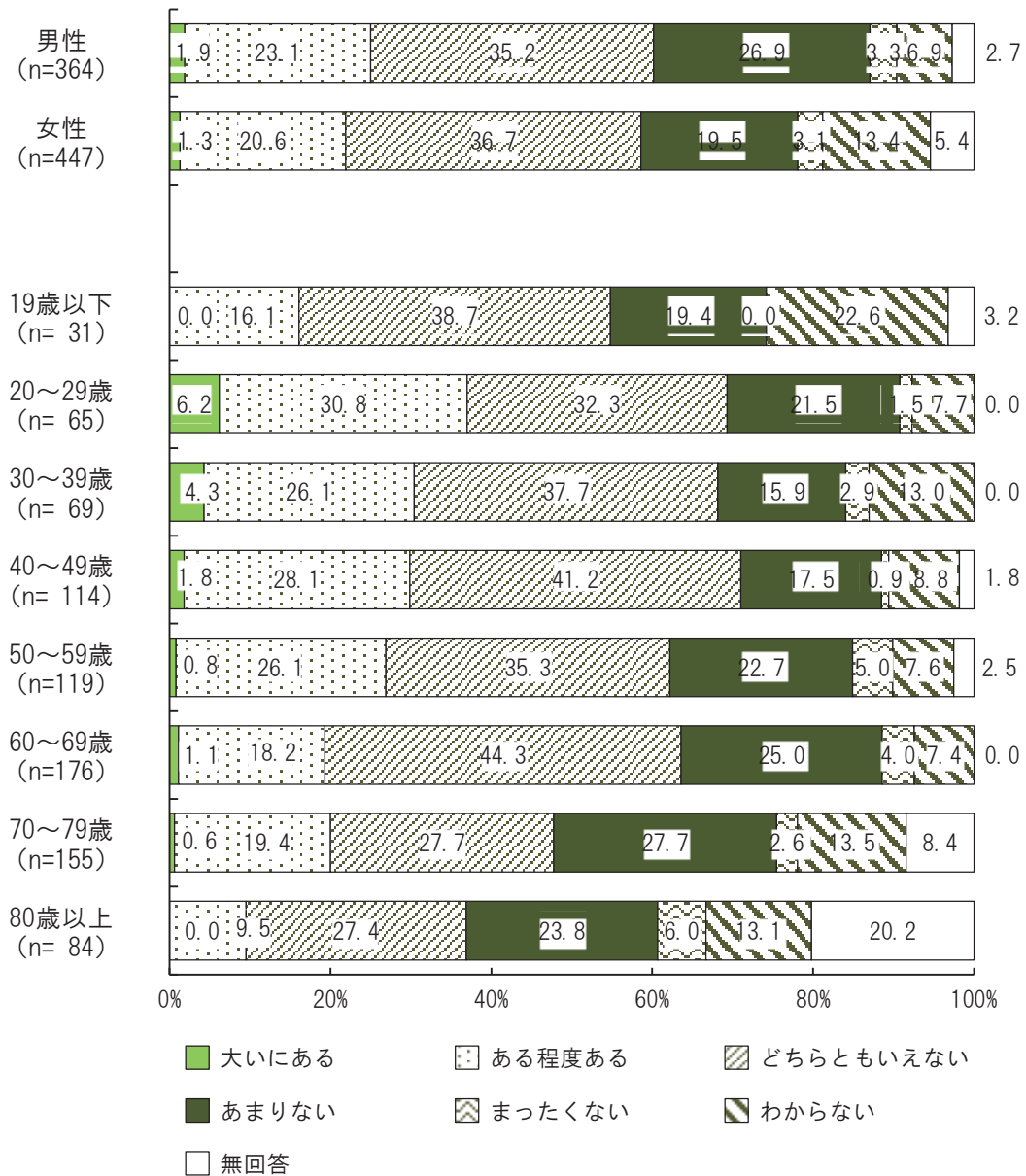
《②農業（茶業除く）》



【性別】：男性は「あまりない」「まったくない」が多く、女性は「ある程度ある」が23.3%と多くなっています。また、『ない』は男性が39.8%と多くなっています。

【年齢別】：20～29歳は「あまりない」が6.2%と少なくなっています。80歳以上は「どちらともいえない」が16.7%と少なくなっています。また、『ある』は20～29歳が46.2%と多くなっています。『ない』は60～69歳が43.8%と多く、20～29歳が10.8%と少なくなっています。

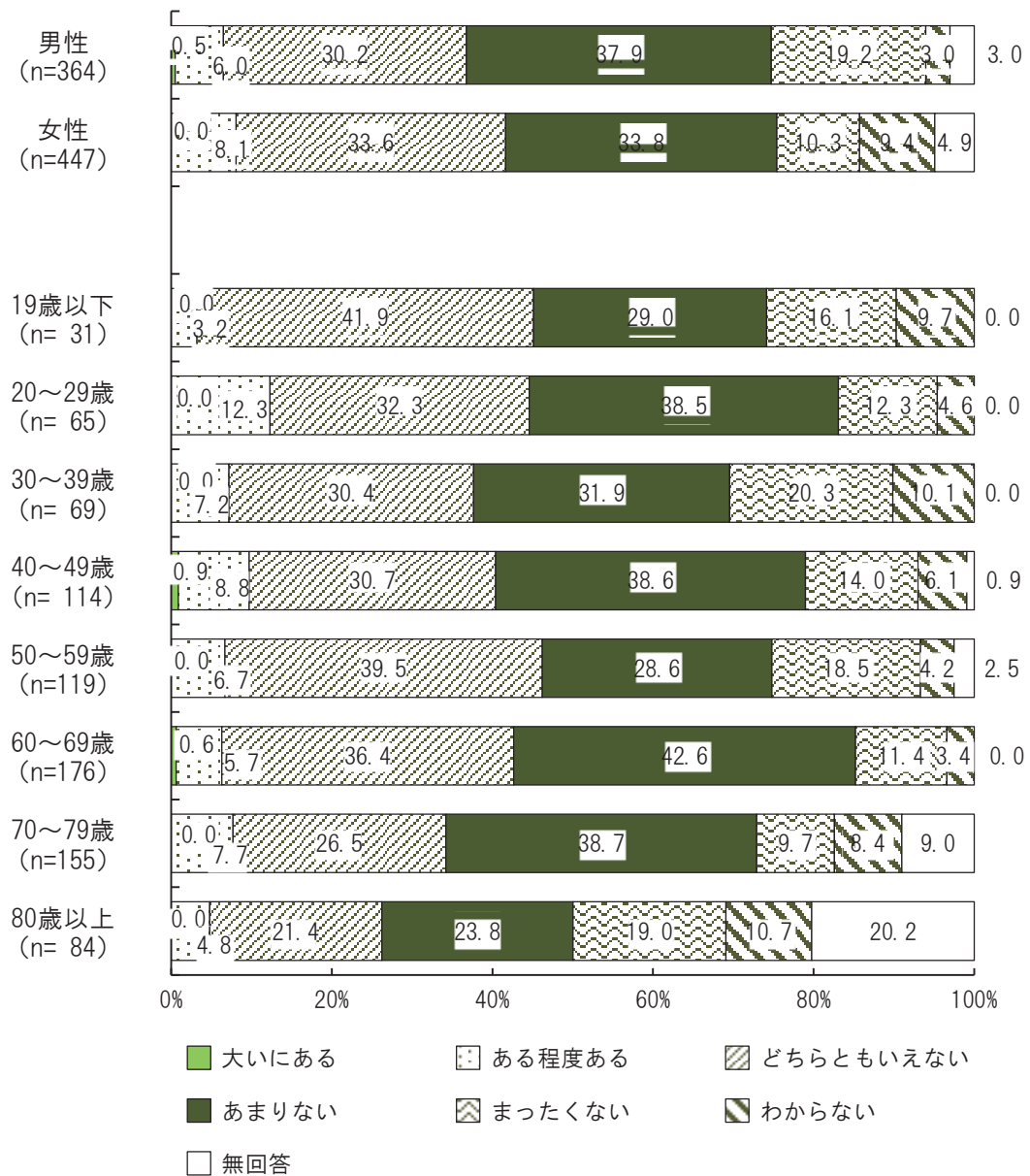
《③製造業（茶加工業除く）》



【性別】：男性は「あまりない」が26.9%と多くなっています。また、『ない』は男性が30.2%と多くなっています。

【年齢別】：80歳以上は「ある程度ある」が9.5%と少なくなっています。また、『ある』は20～29歳が36.9%と多く、80歳以上が9.5%と少なくなっています。

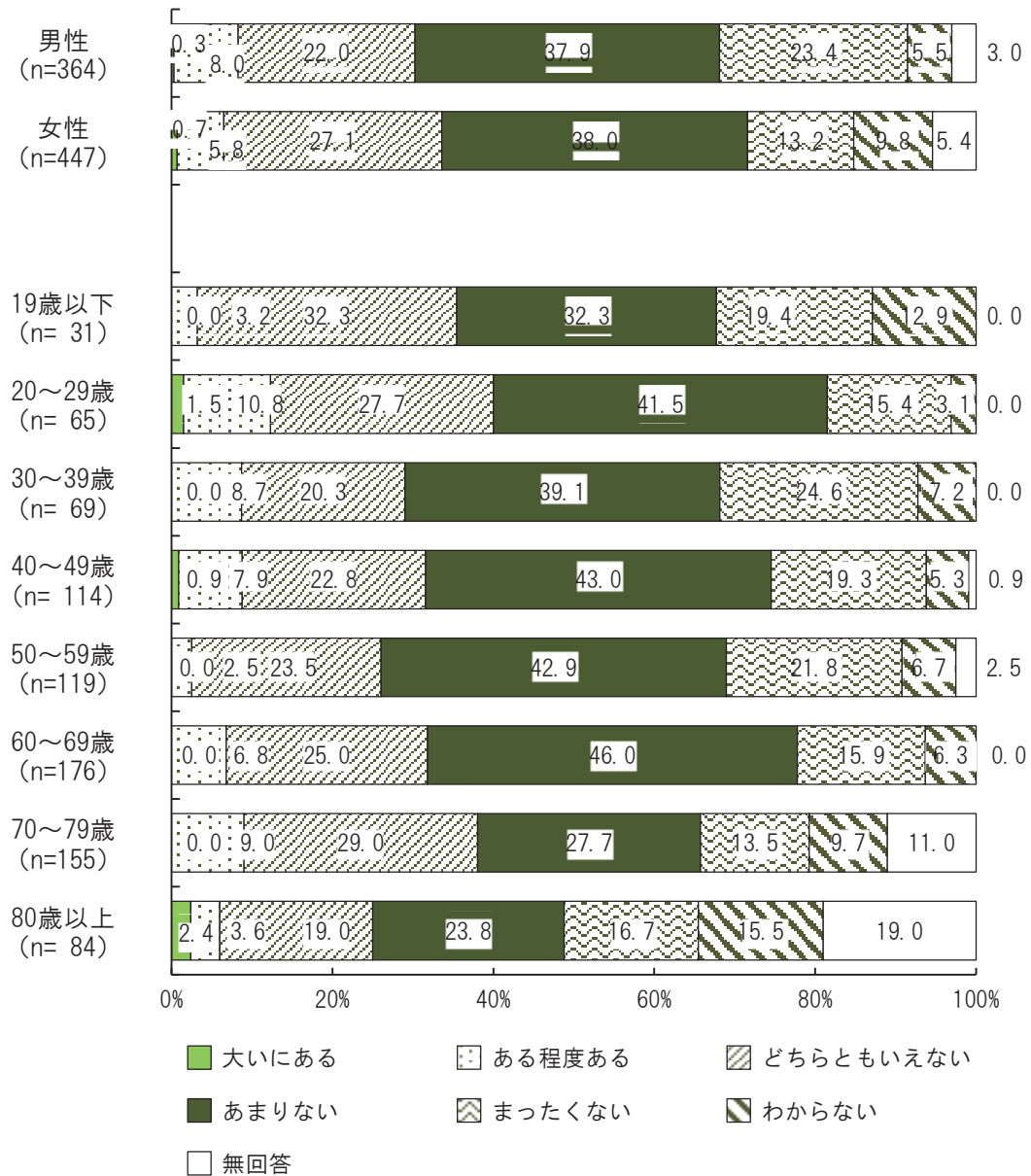
《④商業・サービス業》



【性別】：男性は「まったくない」が19.2%と多くなっています。また、『ない』は男性が57.1%と多くなっています。

【年齢別】：80歳以上は「どちらともいえない」が21.4%と少なくなっています。

《⑤観光業》

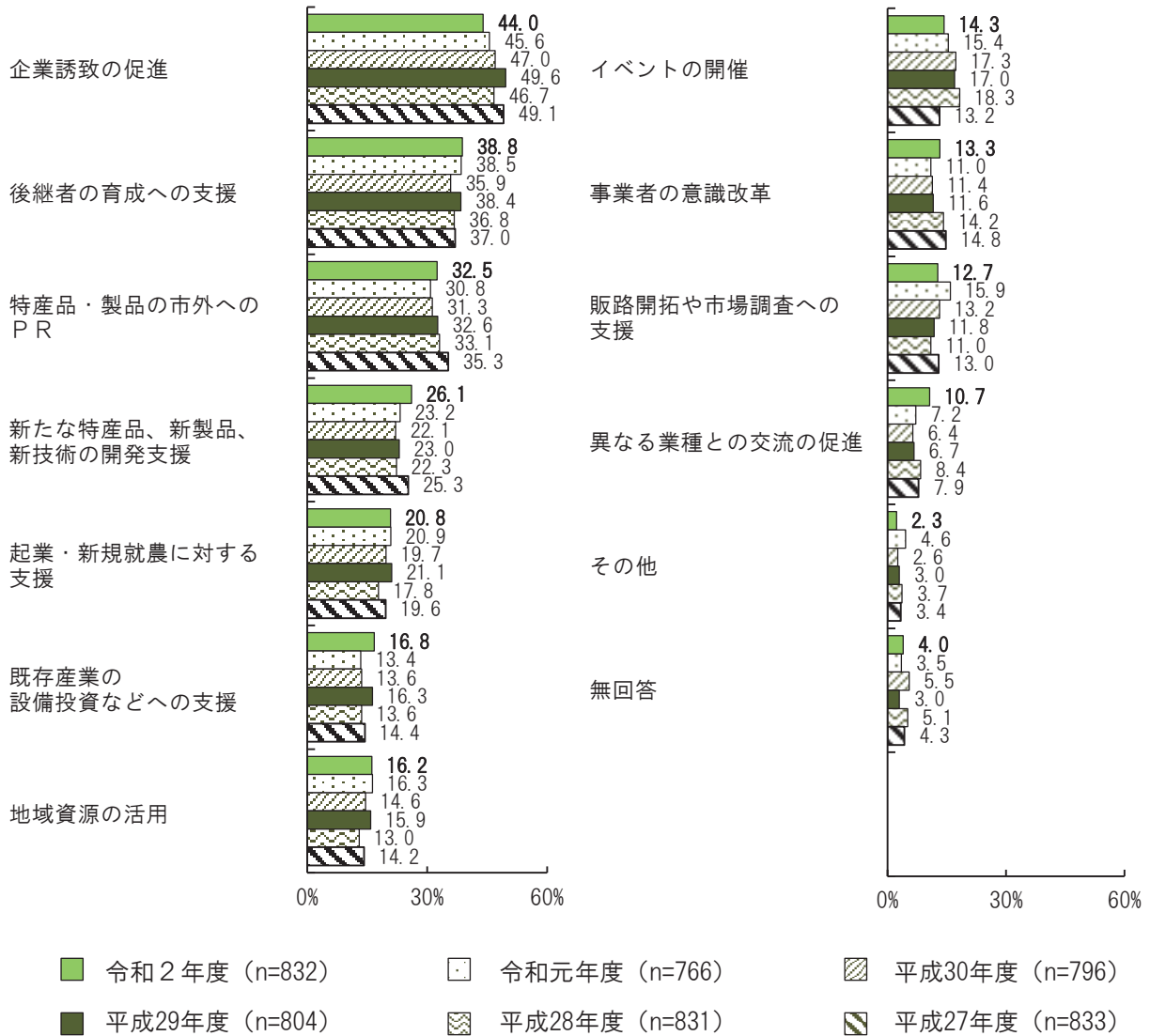


【性別】：男性は「まったくない」が23.4%と多くなっています。女性は「どちらともいえない」が27.1%と多くなっています。また、『ない』は男性が61.3%と多くなっています。

【年齢別】：大きな差異はみられません。

(17) 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組

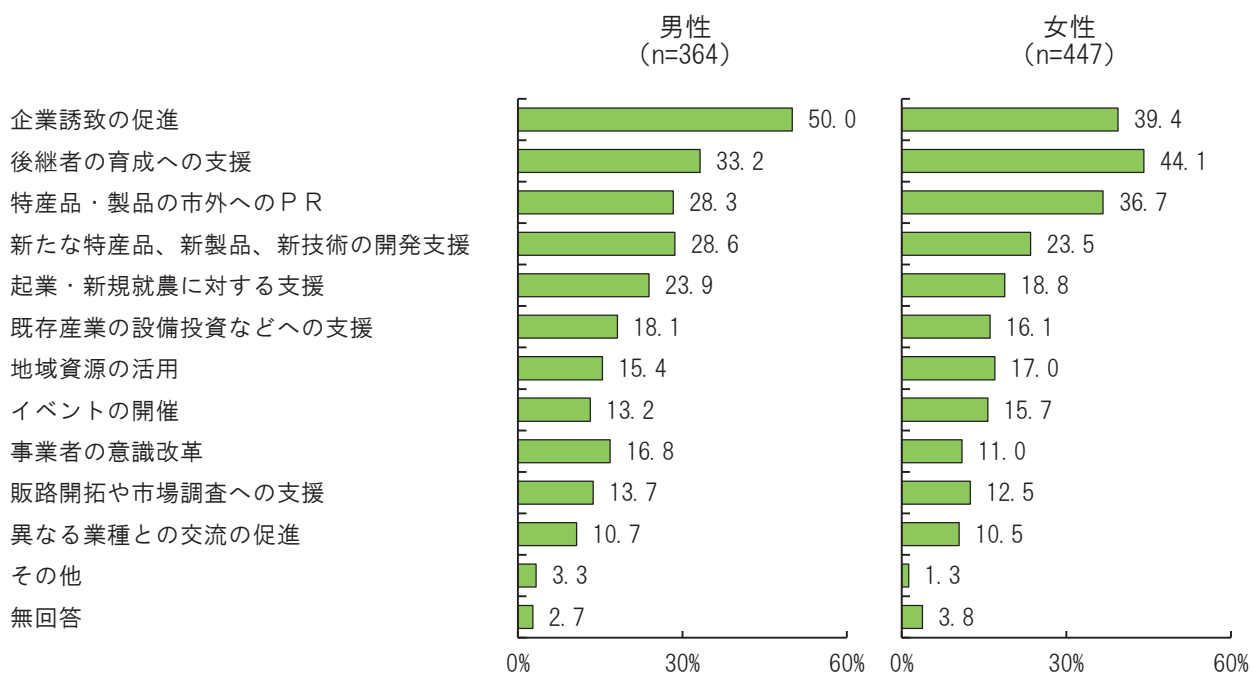
問 17 あなたは、市の産業が活力（元気）を持つために、市が力を入れるべき取組は何だと思えますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組は、「企業誘致の促進」が 44.0%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が 38.8%、「特産品・製品の市外へのPR」が 32.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

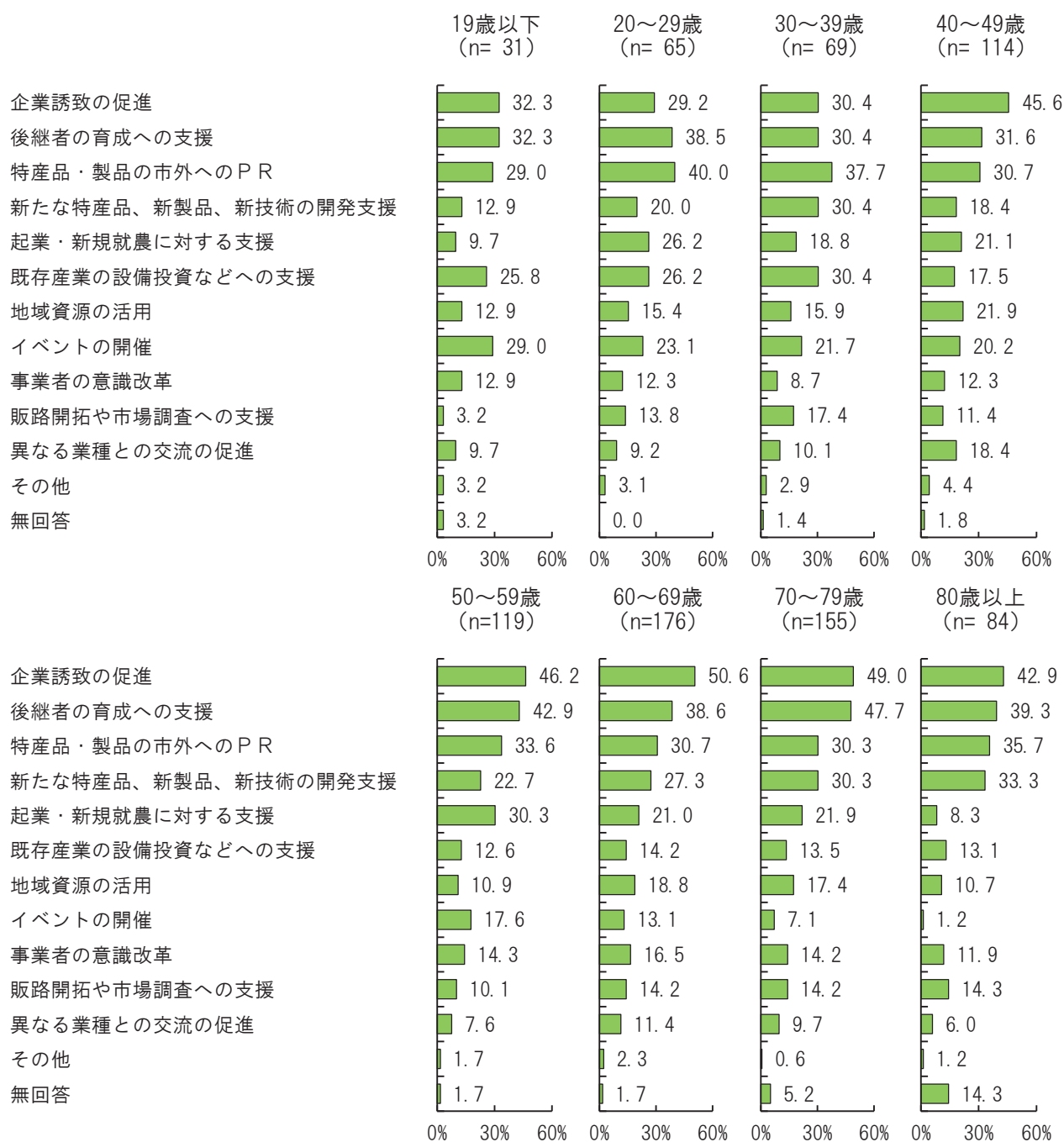
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「企業誘致の促進」「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」「起業・新規就農に対する支援」などが多く、女性は「後継者の育成への支援」「特産品・製品の市外へのPR」が多くなっています。



## クロス集計（年齢別）

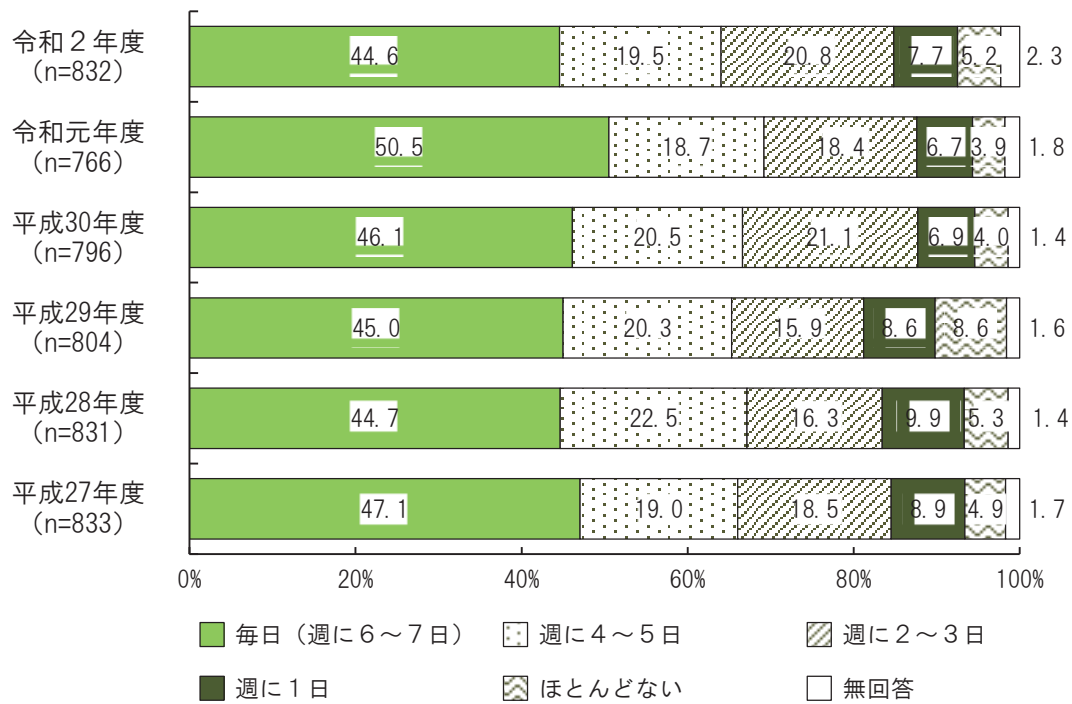


【年齢別】：19歳以下は「イベントの開催」が29.0%と多く、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」「販路開拓や市場調査への支援」が少なくなっています。40~49歳は「異なる業種との交流の促進」が18.4%と多くなっています。80歳以上は「イベントの開催」が1.2%と少なくなっています。

◎地域活動について

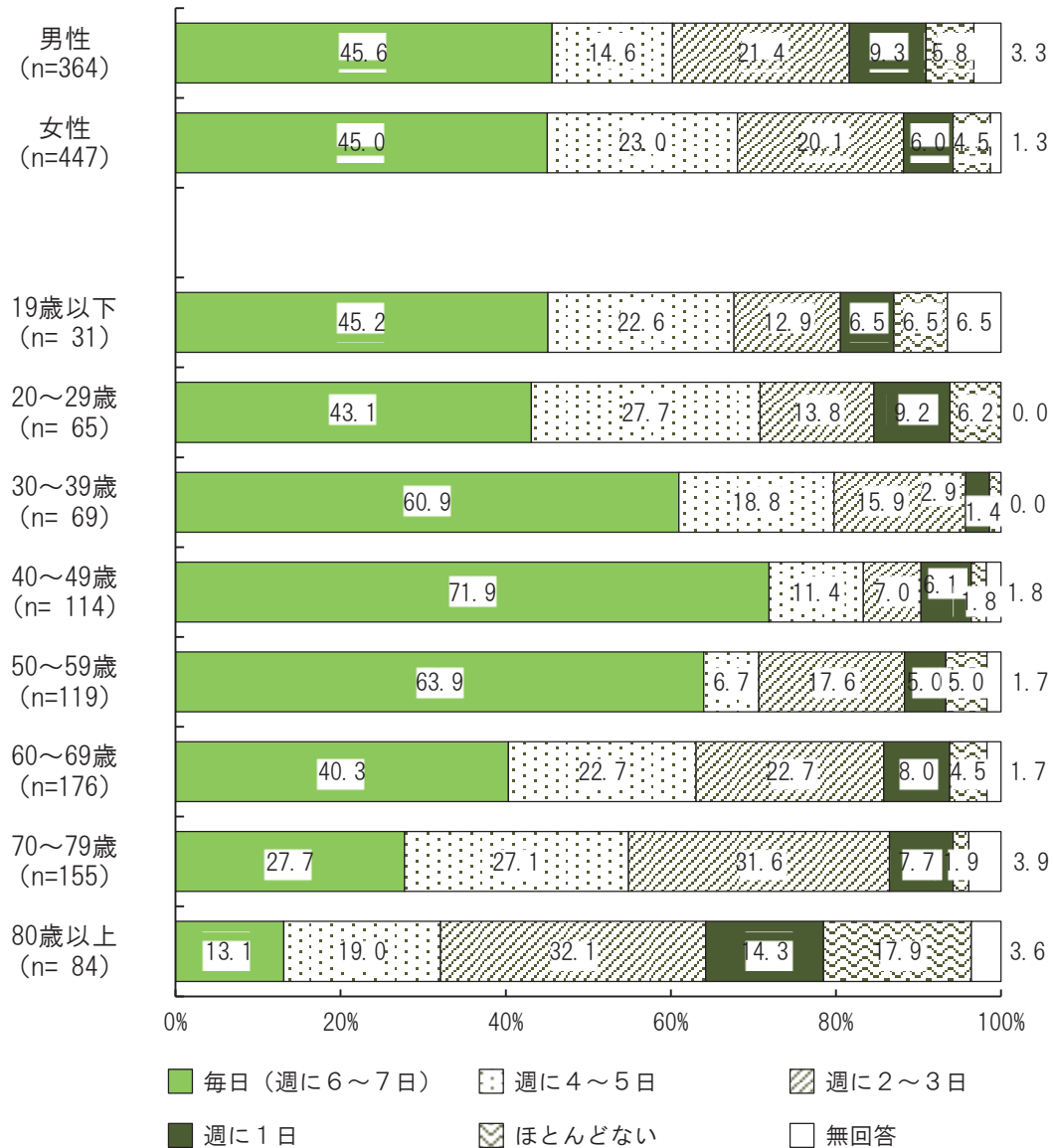
(18) 週に何日くらい外出しているか

問 18 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



週に何日くらい外出しているかについては、「毎日 (週に6~7日)」が44.6%と最も多く、次いで「週に2~3日」が20.8%、「週に4~5日」が19.5%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、「毎日 (週に6~7日)」が5.9ポイント減少しています。

## クロス集計（性別・年齢別）

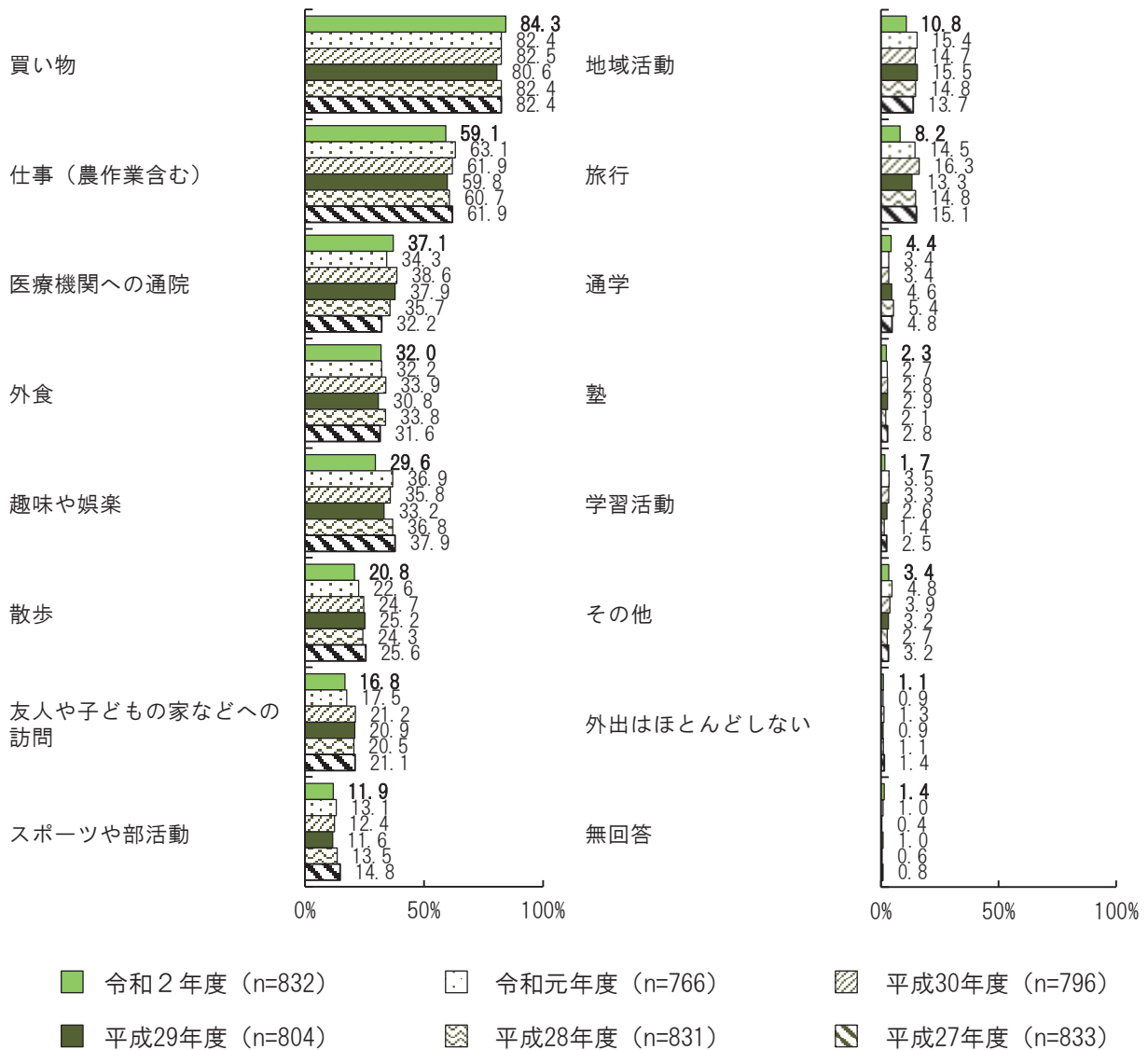


【性別】：女性は「週に4～5日」が23.0%と多くなっています。

【年齢別】：40～49歳は「毎日（週に6～7日）」が71.9%と多く、「週に2～3日」が7.0%と少なくなっています。80歳以上は「週に1日」「ほとんどない」が多く、「毎日（週に6～7日）」が13.1%と少なくなっています。

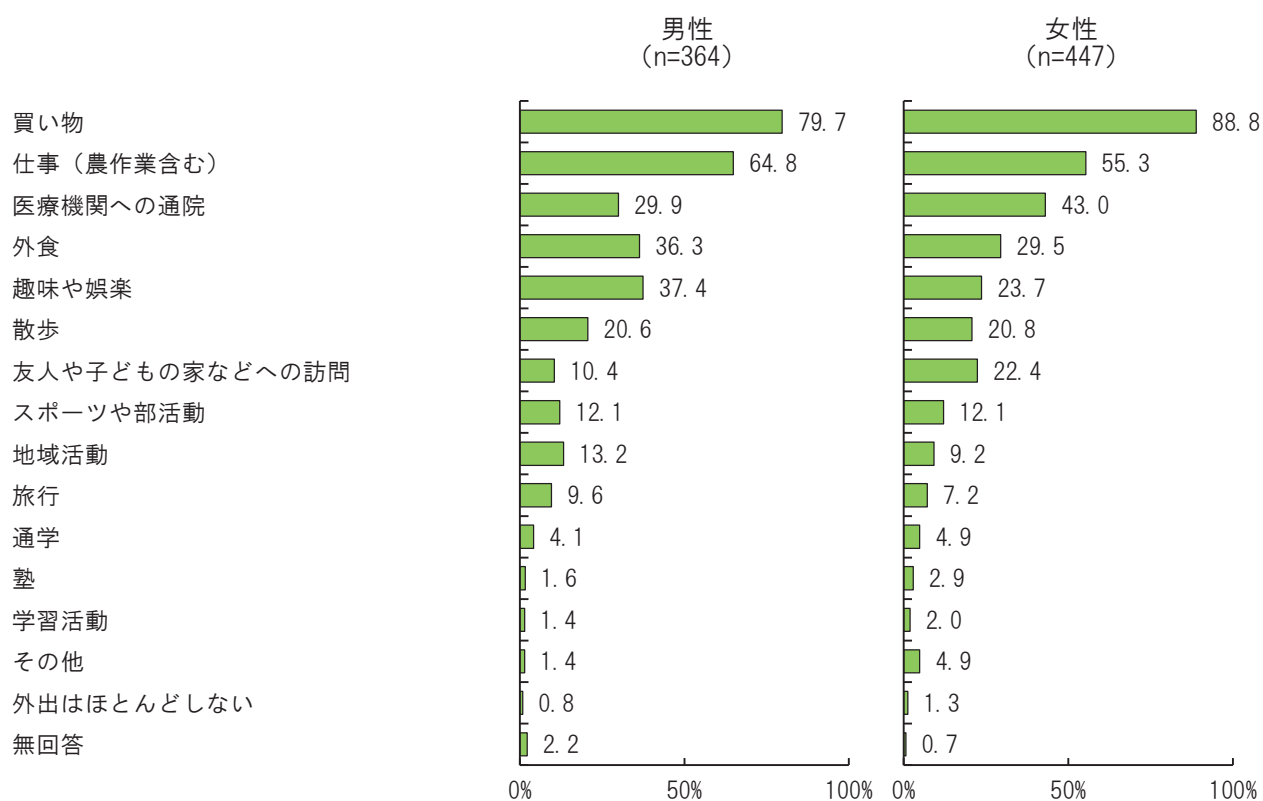
(19) 外出の目的

問 19 あなたは、何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



外出の目的は、「買い物」が84.3%と最も多く、次いで「仕事（農作業含む）」が59.1%、「医療機関への通院」が37.1%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、「趣味や娯楽」「旅行」が減少しています。

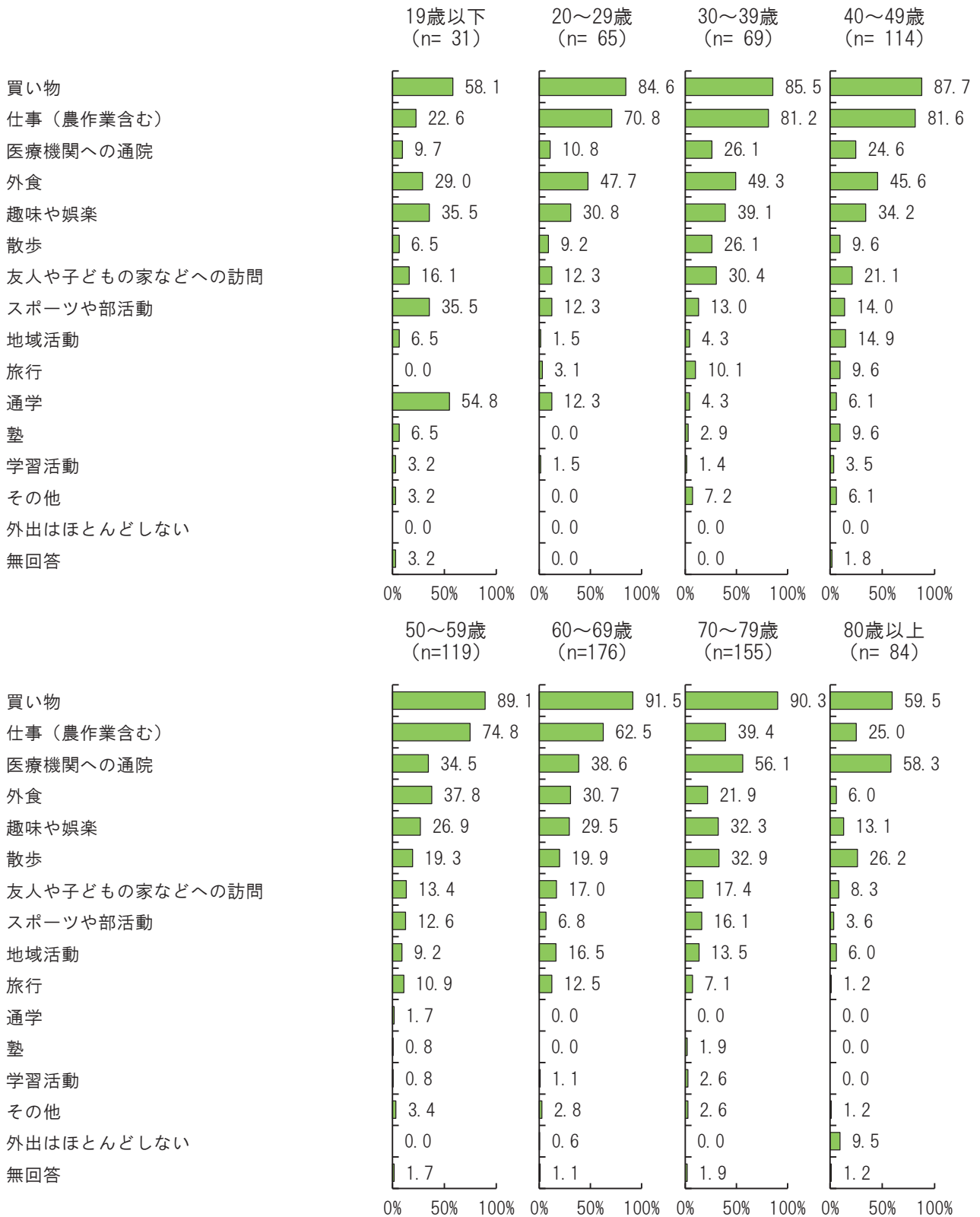
## クロス集計（性別）



【性別】：男性は「仕事（農作業含む）」「外食」「趣味や娯楽」が多く、女性は「買い物」「医療機関への通院」「友人や子どもの家などへの訪問」などが多くなっています。

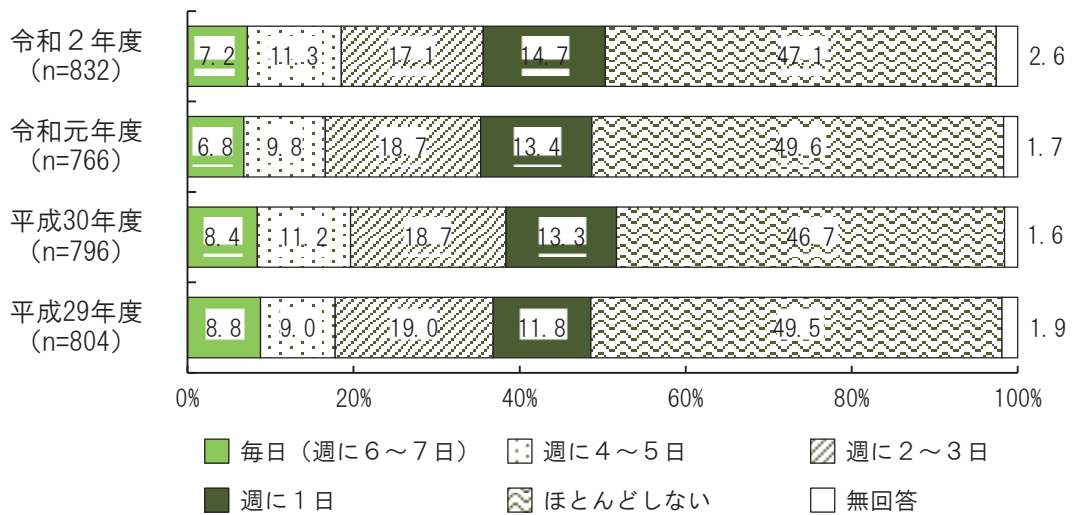
【年齢別】：19歳以下は「スポーツや部活動」「通学」が多くなっています。30～39歳は「友人や子どもの家などへの訪問」が30.4%と多くなっています。70～79歳は「散歩」が32.9%と多くなっています。80歳以上は「外出はほとんどしない」が9.5%と多く、「外食」「趣味や娯楽」が少なくなっています。

クロス集計（年齢別）



## (20) 30分以上の運動を週に何日しているか

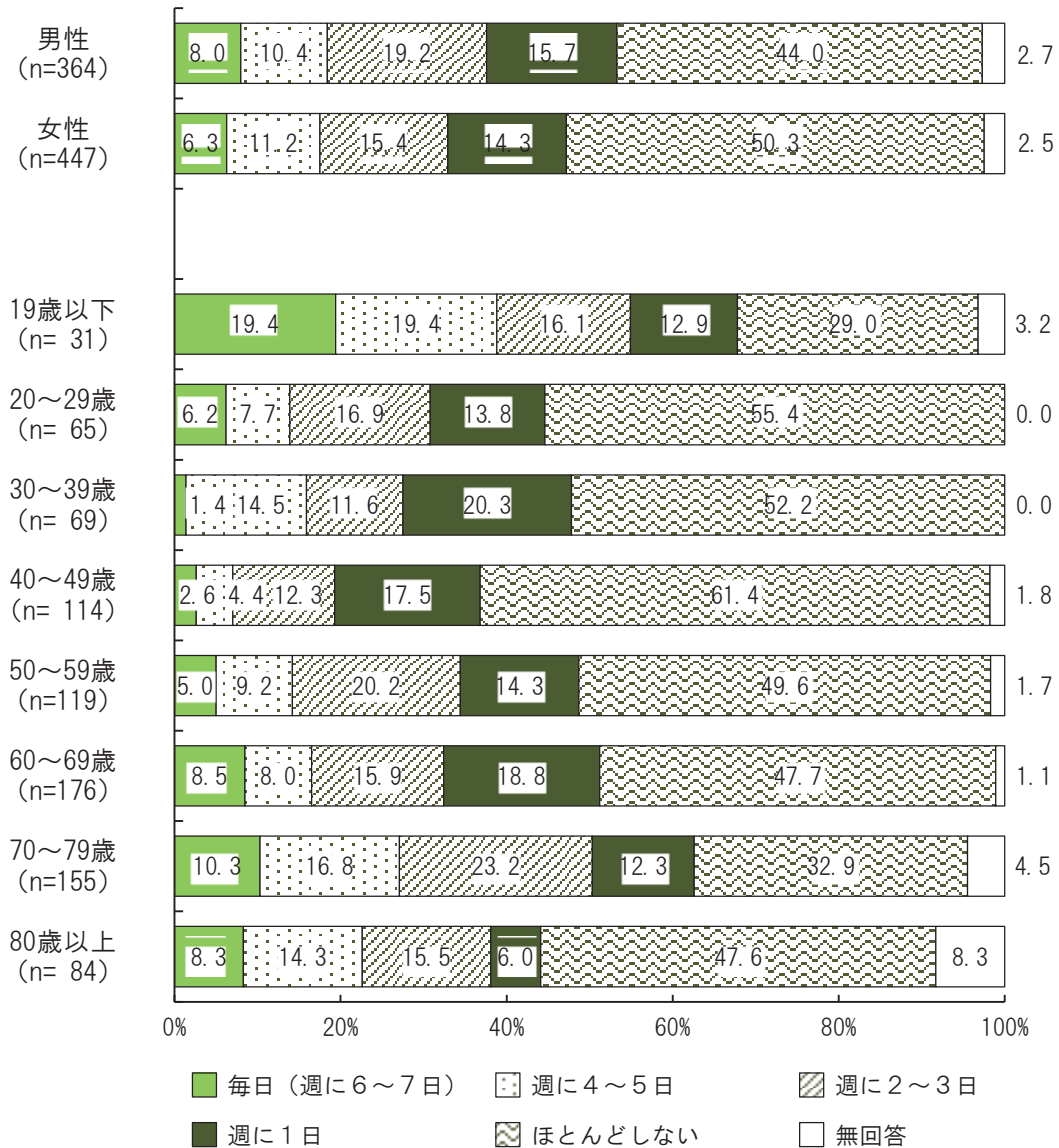
問 20 あなたは、30分以上の運動を週に何日くらいしますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



30分以上の運動を週に何日しているかについては、「ほとんどしない」が47.1%と最も多く、次いで「週に2～3日」が17.1%、「週に1日」が14.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



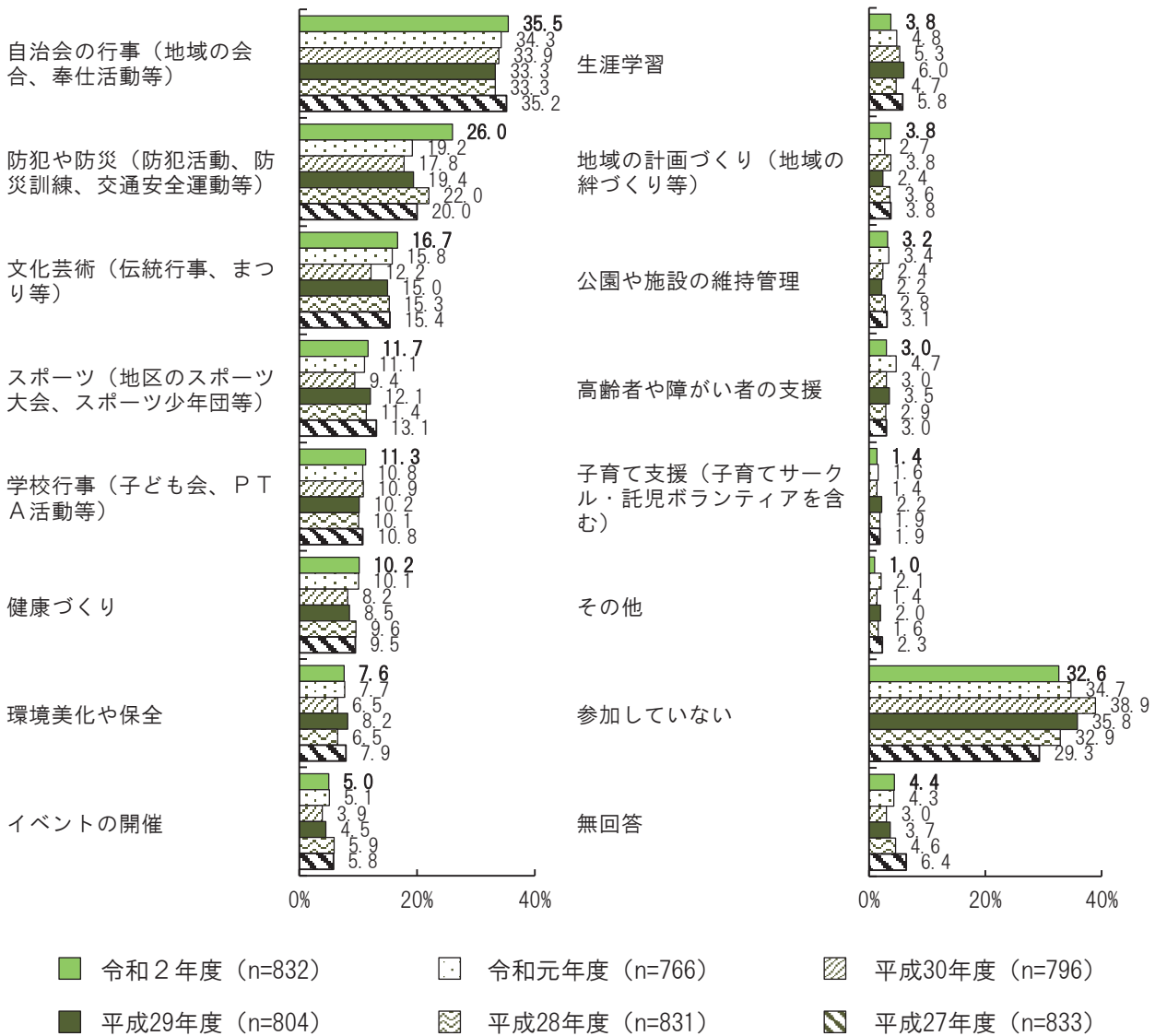
【性別】：女性は「ほとんどしない」が50.3%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「毎日（週に6～7日）」が19.4%と多くなっています。40～49歳は「ほとんどしない」が61.4%と多くなっています。80歳以上は「週に1日」が6.0%と少なくなっています。



(21) 現在参加している地域活動

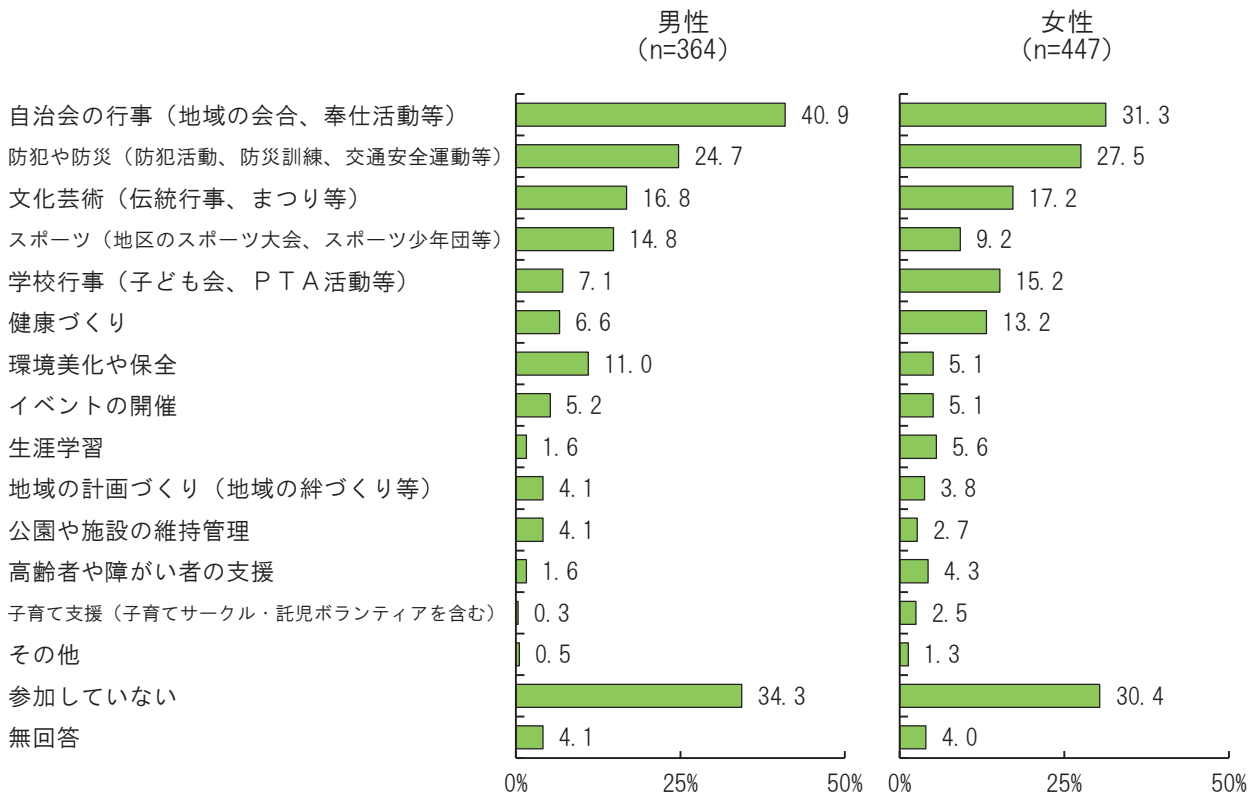
問21 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



現在参加している地域活動は、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が 35.5%と最も多く、次いで「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が 26.0%、「文化芸術（伝統行事、まつり等）」が 16.7%などとなっています。一方、「参加していない」は 32.6%となっています。

昨年度と比較すると、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が 6.8ポイント増加しています。

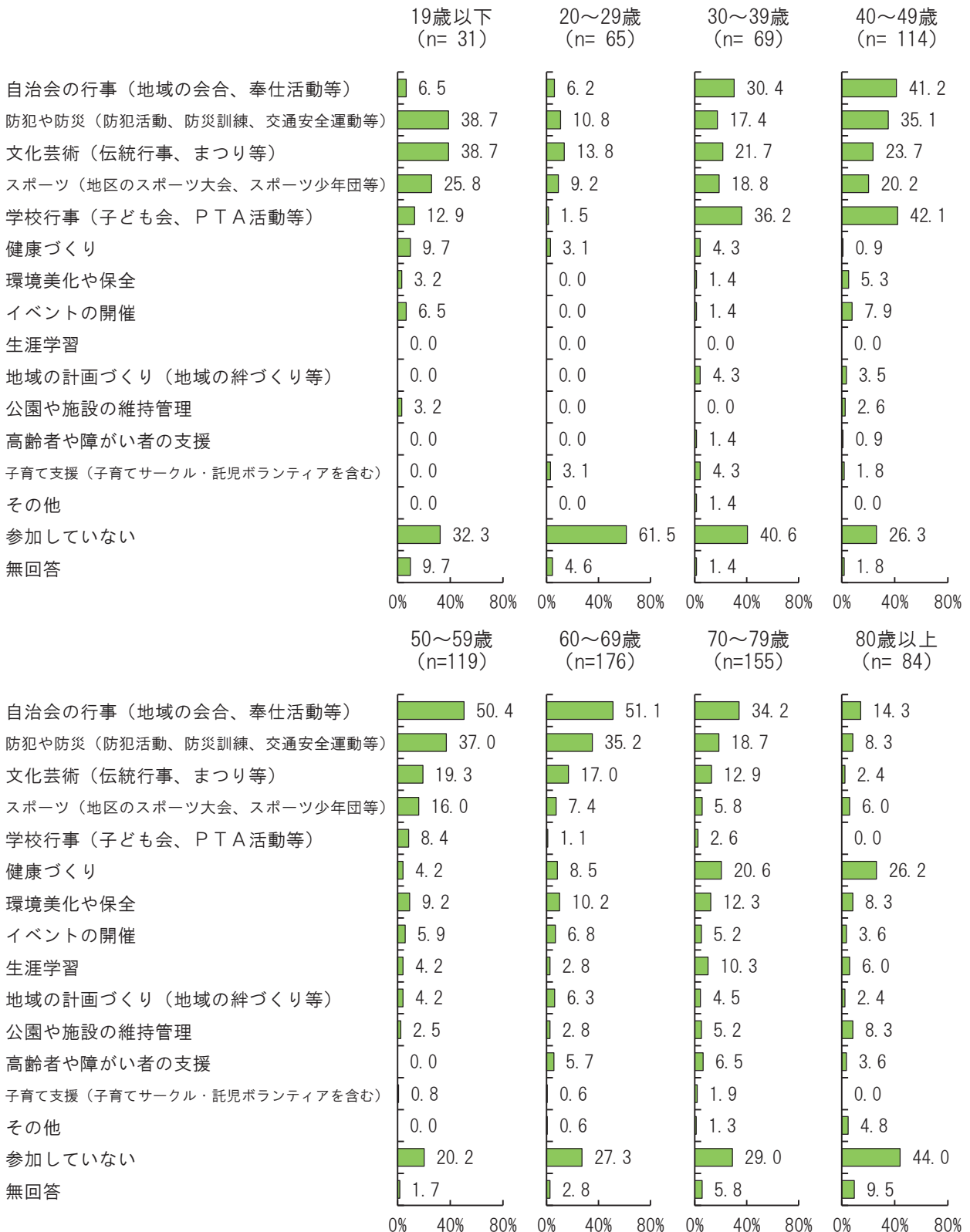
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」「スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等）」「環境美化や保全」が多く、女性は「学校行事（子ども会、PTA活動等）」、「健康づくり」が多くなっています。

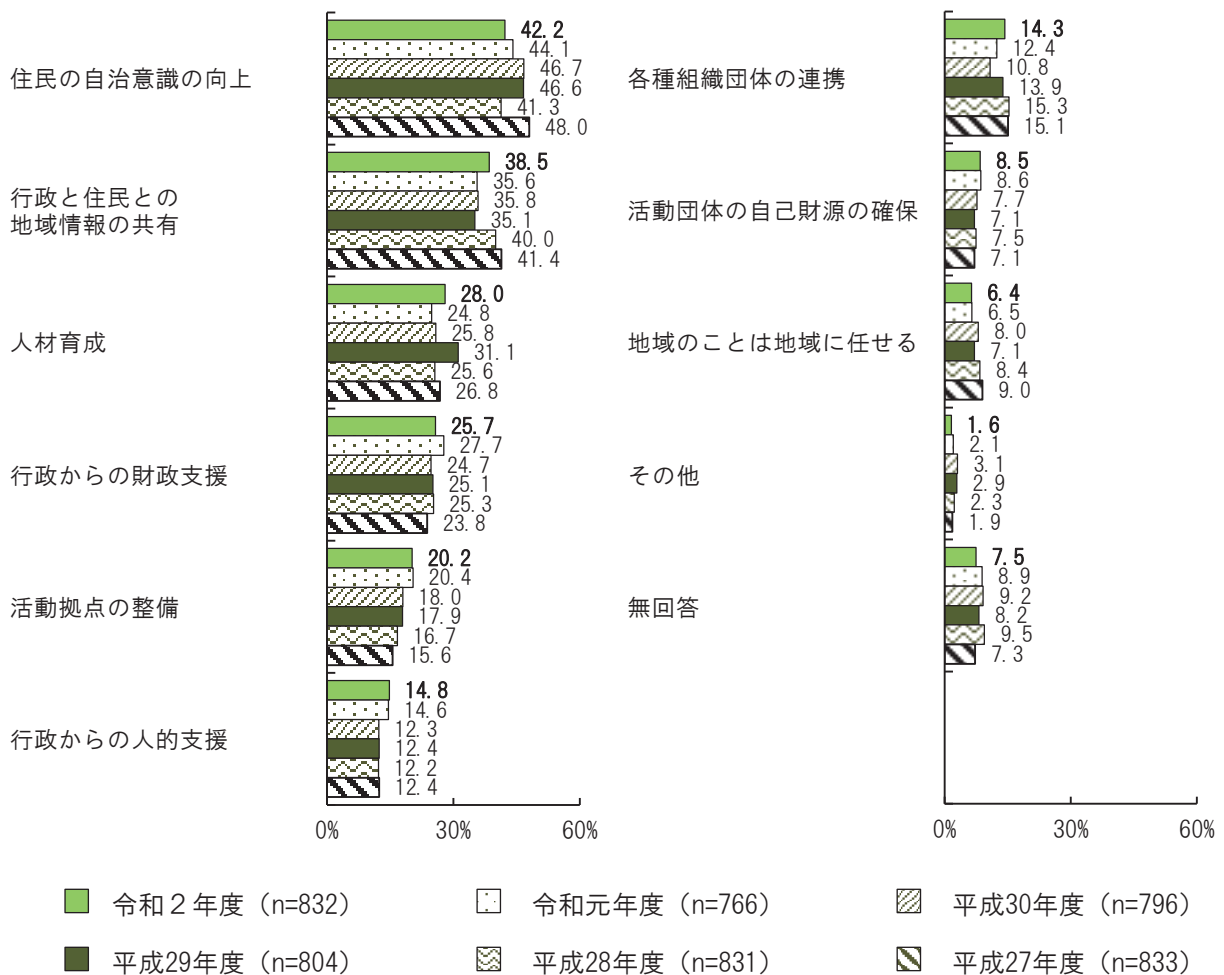
【年齢別】：19歳以下は「文化芸術（伝統行事、まつり等）」「スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等）」が多くなっています。20～29歳は「参加していない」が61.5%と多くなっています。40～49歳は「学校行事（子ども会、PTA活動等）」が42.1%と多くなっています。50～59歳は「参加していない」が20.2%と少なくなっています。80歳以上は「健康づくり」が26.2%と多く、「文化芸術（伝統行事、まつり等）」が2.4%と少なくなっています。

クロス集計（年齢別）



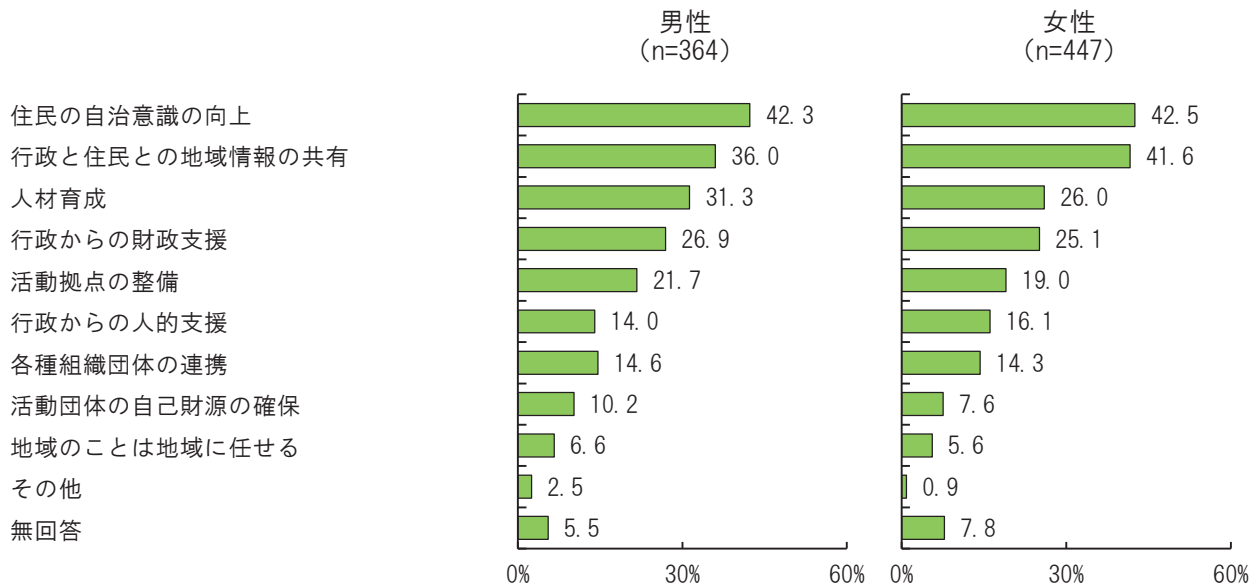
(22) 地域活動の活発・活性化に必要なこと

問 22 あなたは、地域活動の活発・活性化に何が必要だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



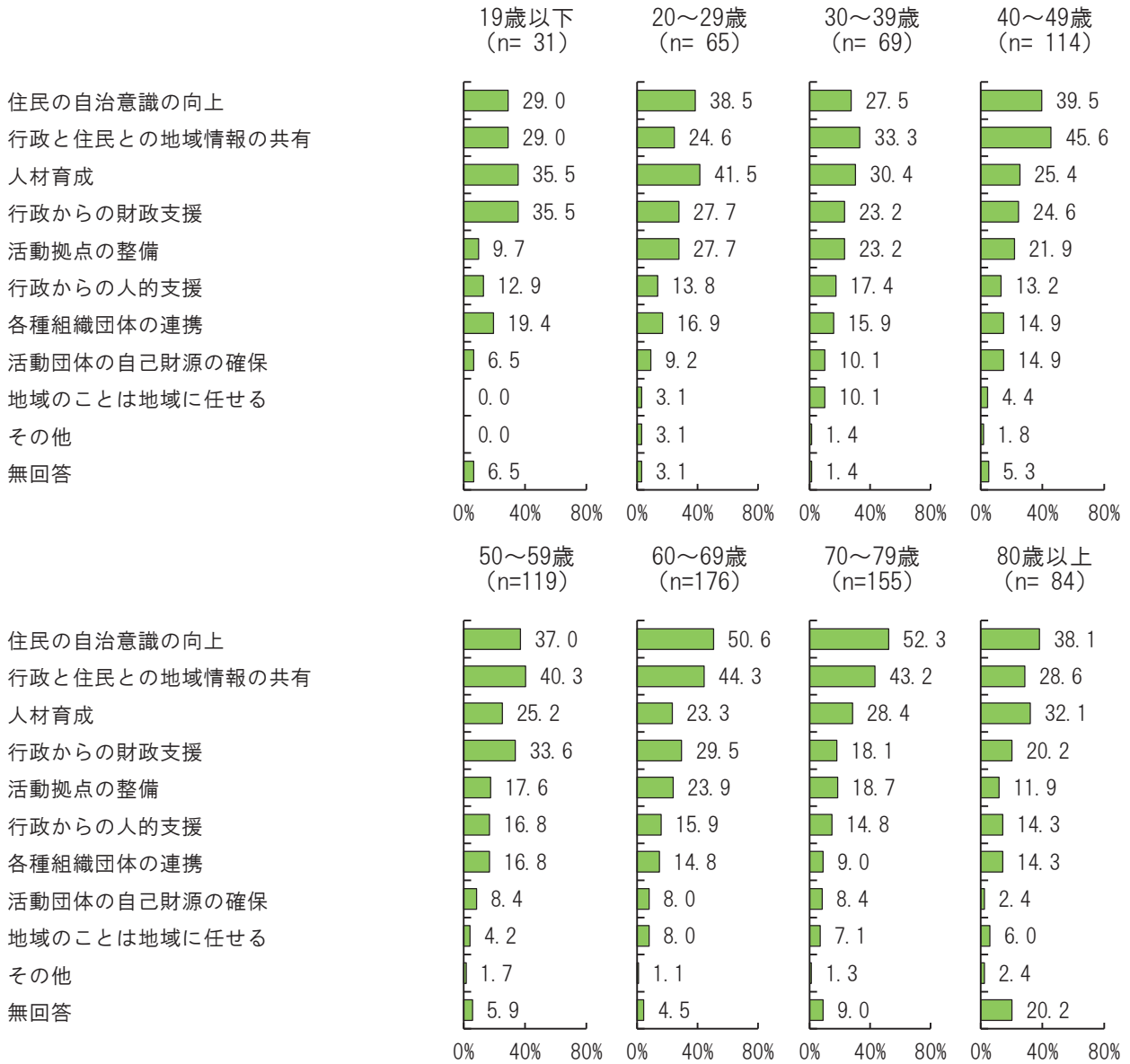
地域活動の活発・活性化に必要なことは、「住民の自治意識の向上」が 42.2%と最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が 38.5%、「人材育成」が 28.0%などとなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

## クロス集計（性別）



【性別】：男性は「人材育成」が31.3%と多く、女性は「行政と住民との地域情報の共有」が41.6%と多くなっています。

クロス集計（年齢別）

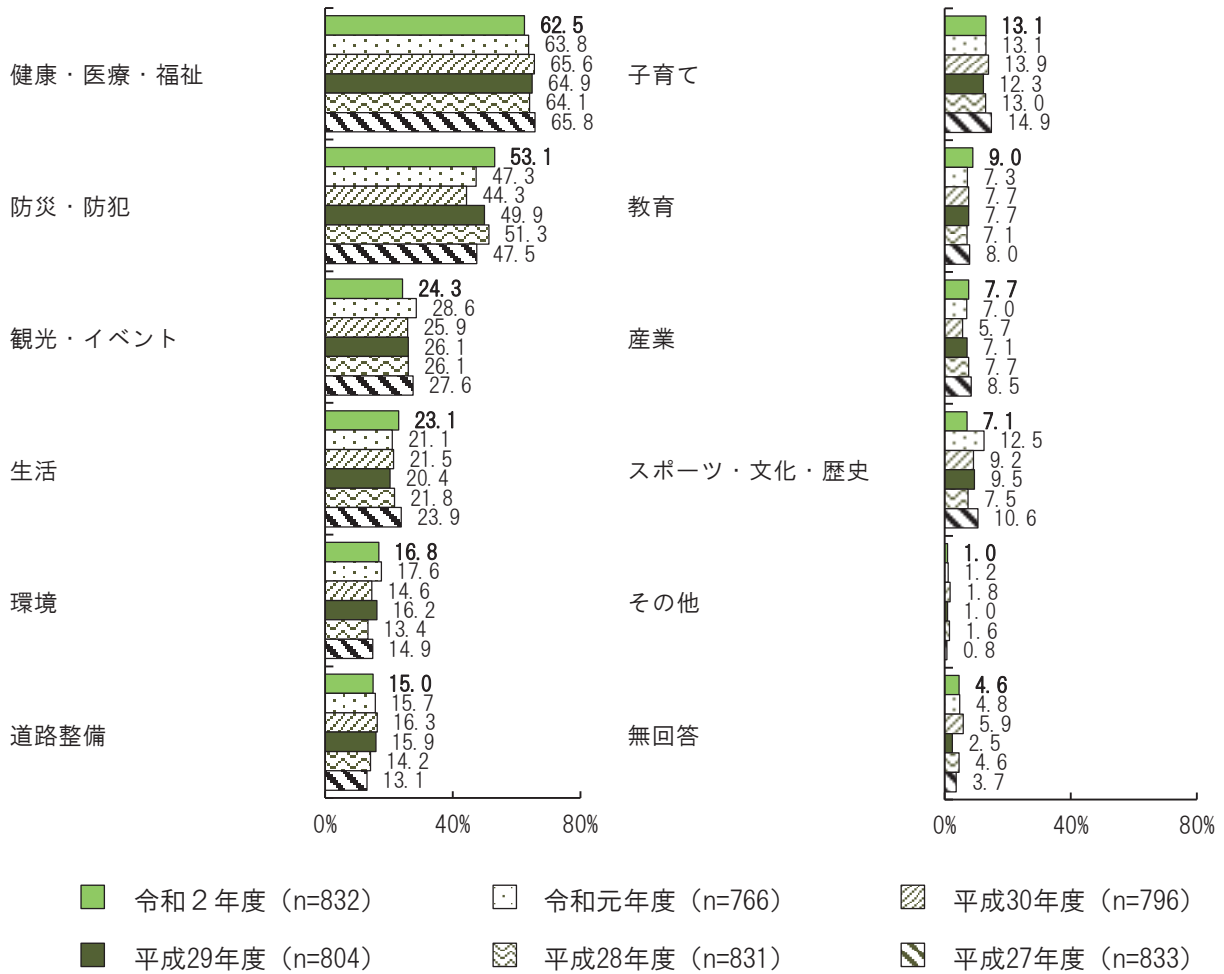


【年齢別】：20~29歳は「人材育成」が41.5%と多くなっています。70~79歳は「各種組織団体の連携」が9.0%と少なくなっています。

⑦市からの情報発信について

(23) 市から得たい情報

問 23 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

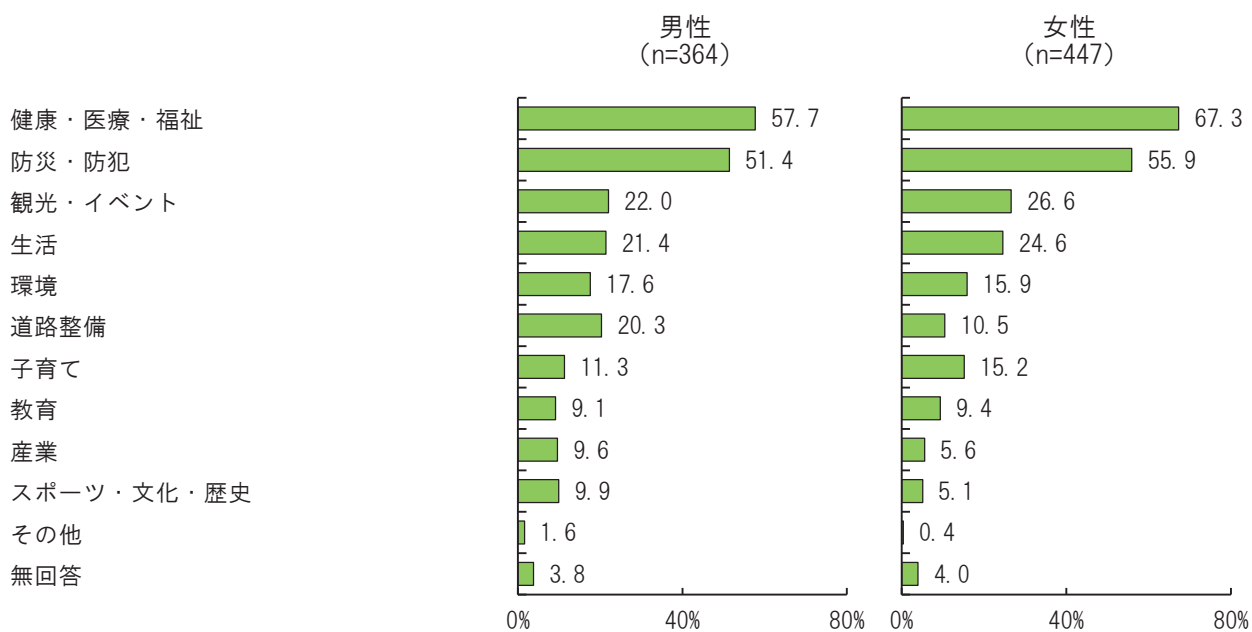


※「観光・イベント」は平成26年度に追加された選択肢です。また、「スポーツ・文化・歴史」は、平成25年度以前は「文化・歴史」と掲載していました。

市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が62.5%と最も多く、次いで「防災・防犯」が53.1%、「観光・イベント」が24.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、「防災・防犯」が5.8ポイント増加し、「スポーツ・文化・歴史」が5.4ポイント減少しています。

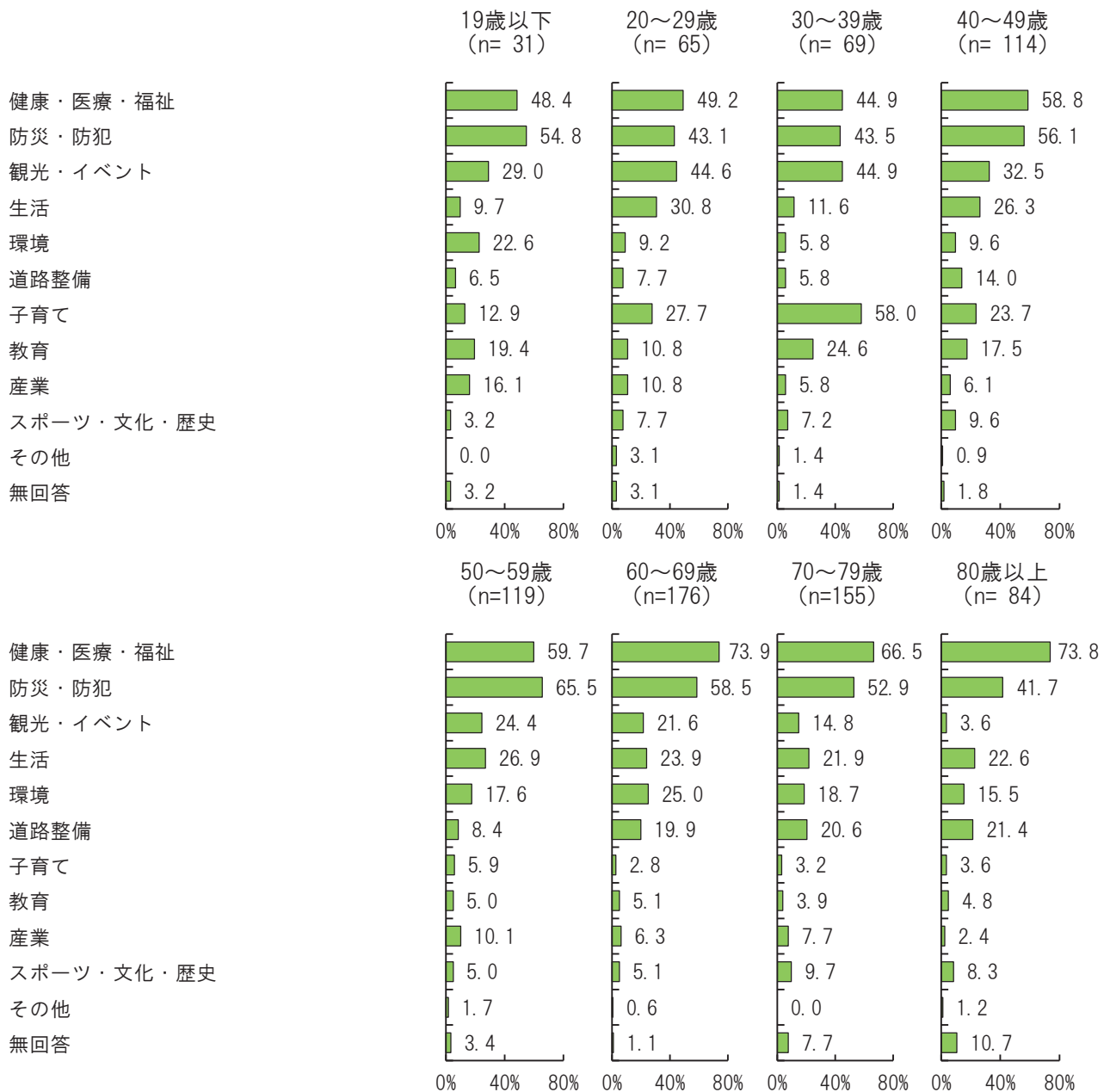
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「道路整備」が20.3%と多く、女性は「健康・医療・福祉」が67.3%と多くなっています。



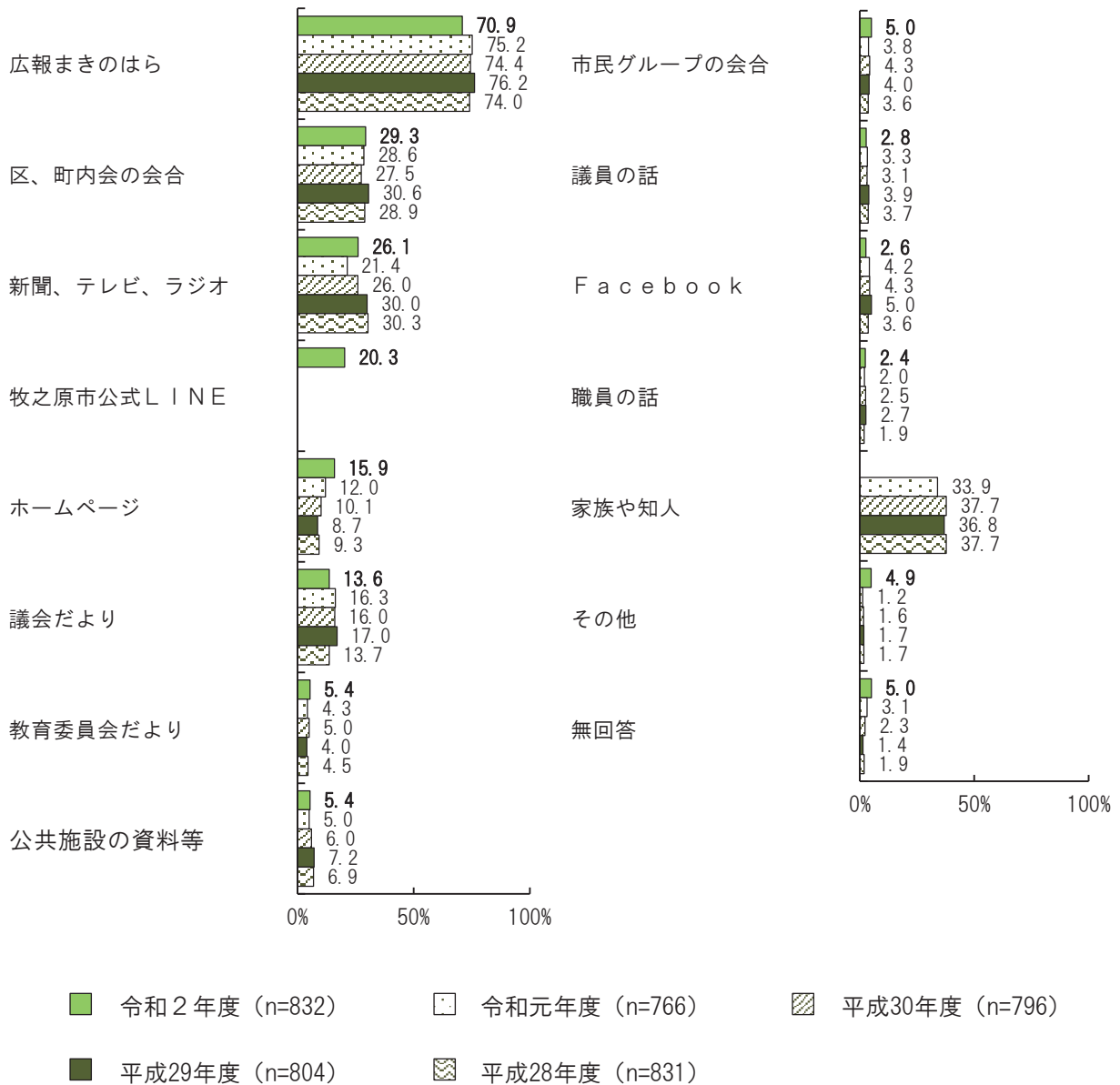
## クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「産業」が16.1%と多くなっています。30～39歳は「子育て」「教育」が多くなっています。50～59歳は「防災・防犯」が65.5%と多くなっています。80歳以上は「観光・イベント」が3.6%と少なくなっています。

(24) 市からの情報の情報源

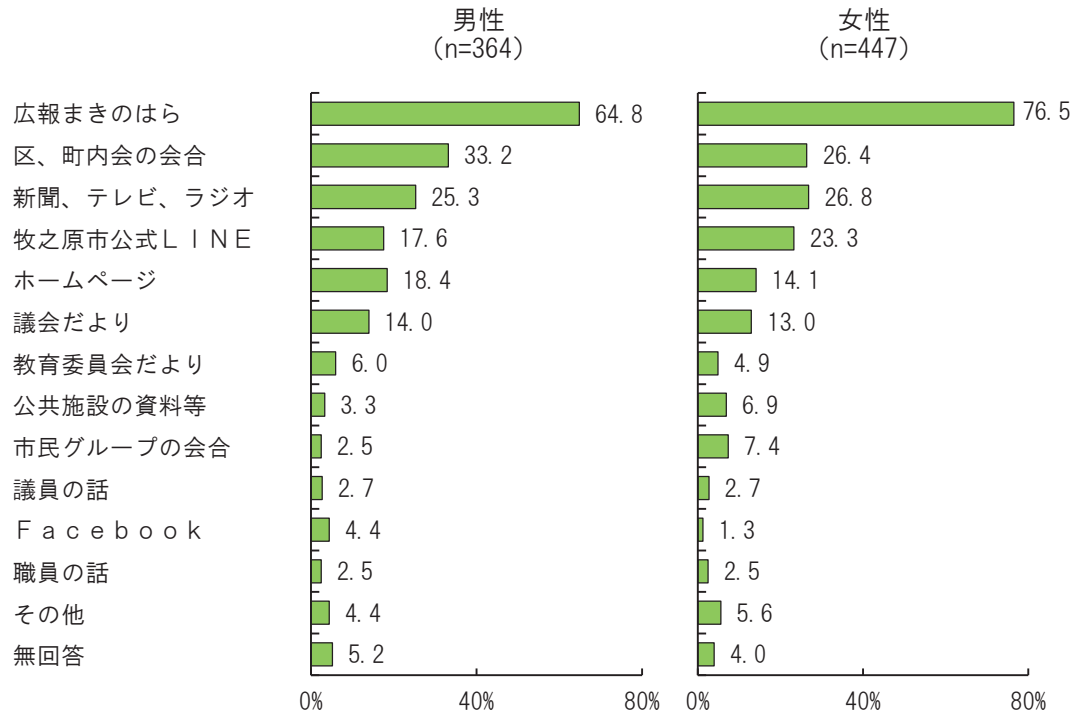
問 24 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



※「フェイスブック」は平成26年度に追加された選択肢です。「牧之原市公式LINE」は令和2年度より追加された選択肢です。また、令和2年度において「家族や知人」という選択肢はありません。

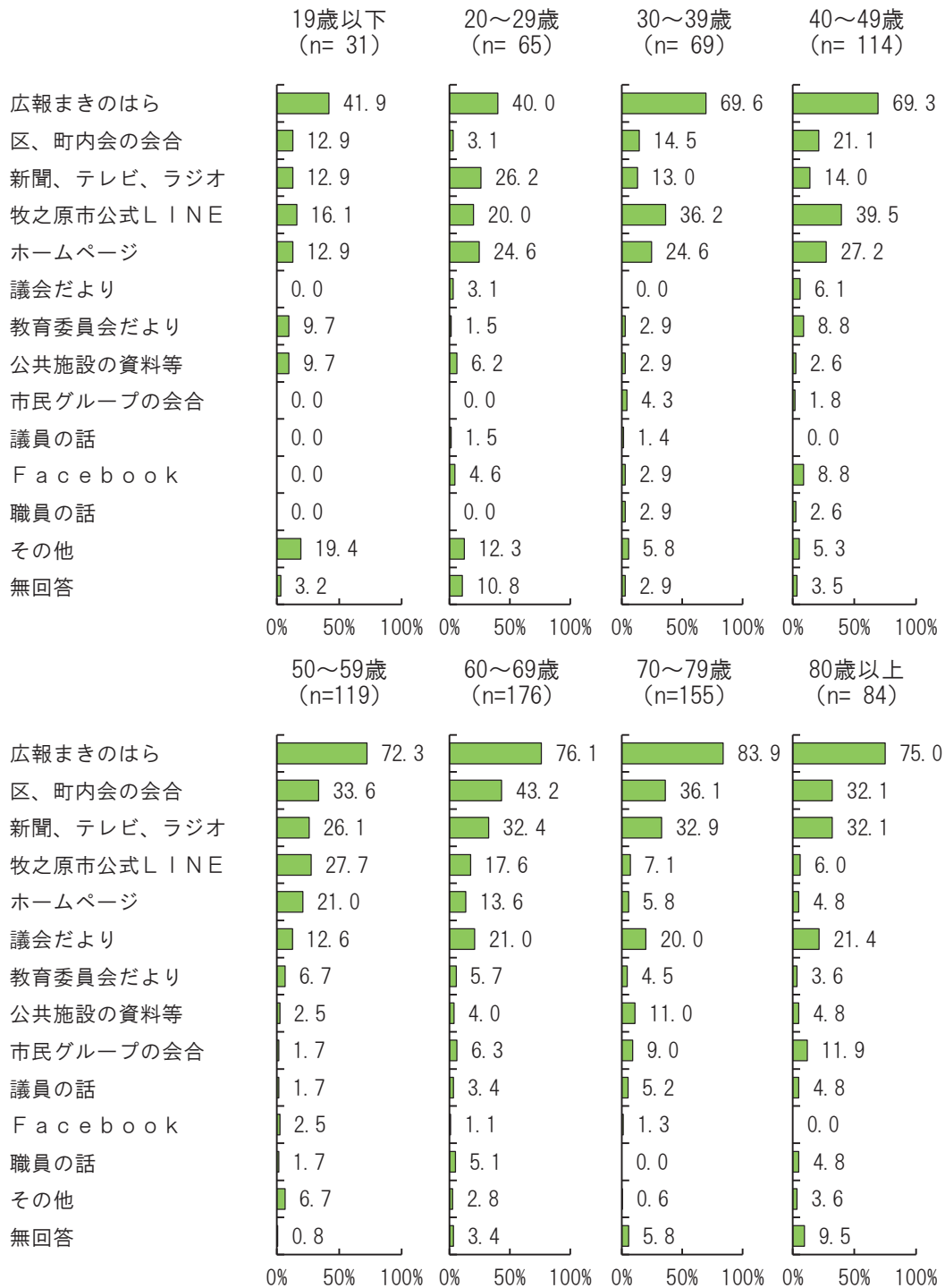
市からの情報の情報源は、「広報まきのはら」が70.9%と最も多く、次いで「区、町内会の会合」が29.3%、「新聞、テレビ、ラジオ」が26.1%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

## クロス集計（性別）



【性別】：男性は「区、町内会の会合」が33.2%と多く、女性は「広報まきのはら」「牧之原市公式LINE」が多くなっています。

クロス集計（年齢別）

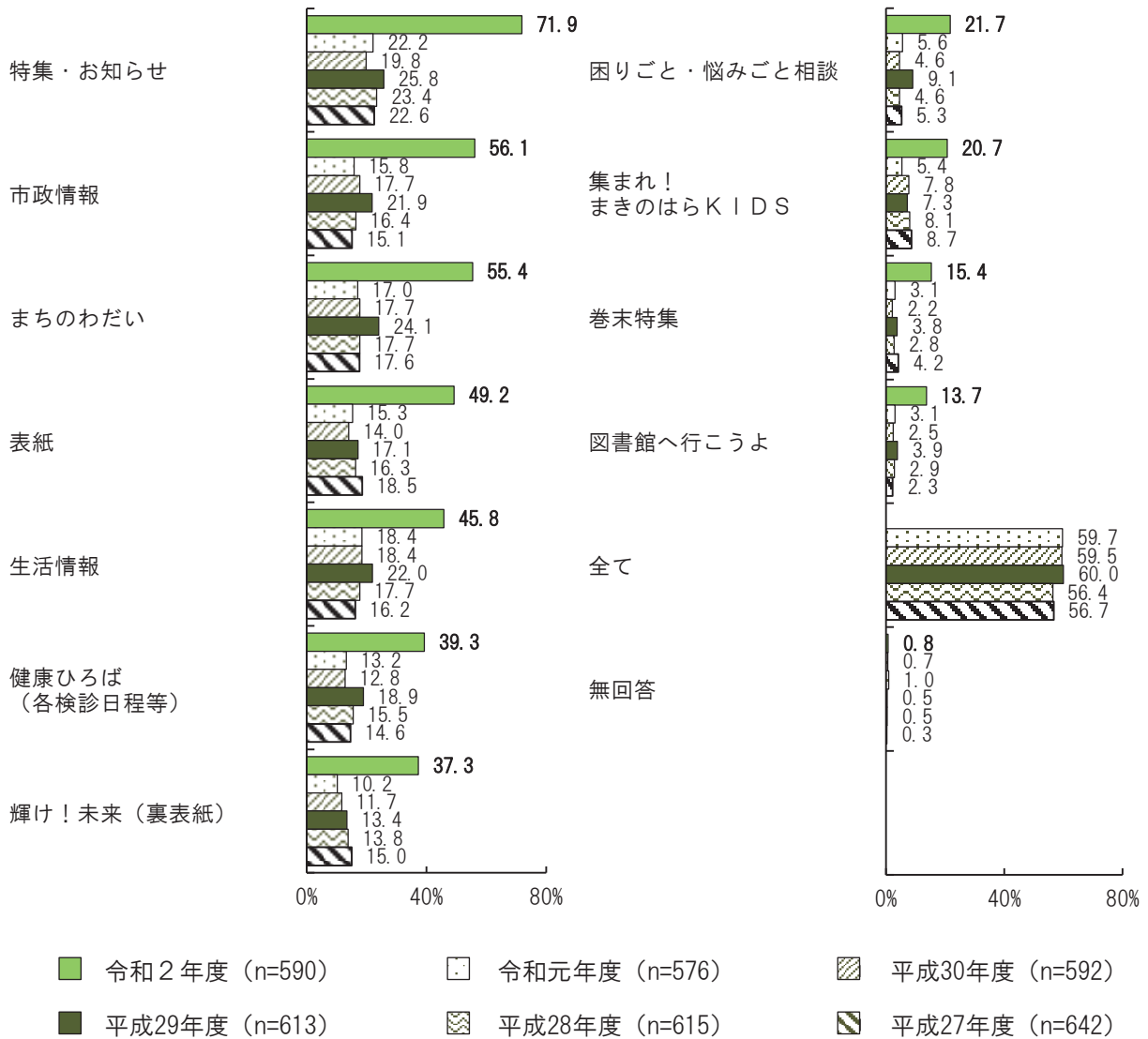


【年齢別】：20~29歳は「区、町内会の会合」が3.1%と少なくなっています。60~69歳は「区、町内会の会合」が43.2%と多くなっています。70~79歳は「広報まきのはら」が83.9%と多くなっています。

(25) 広報まきのはらで読んでいるページ

問 24 で「広報まきのはら」と答えた方のみ

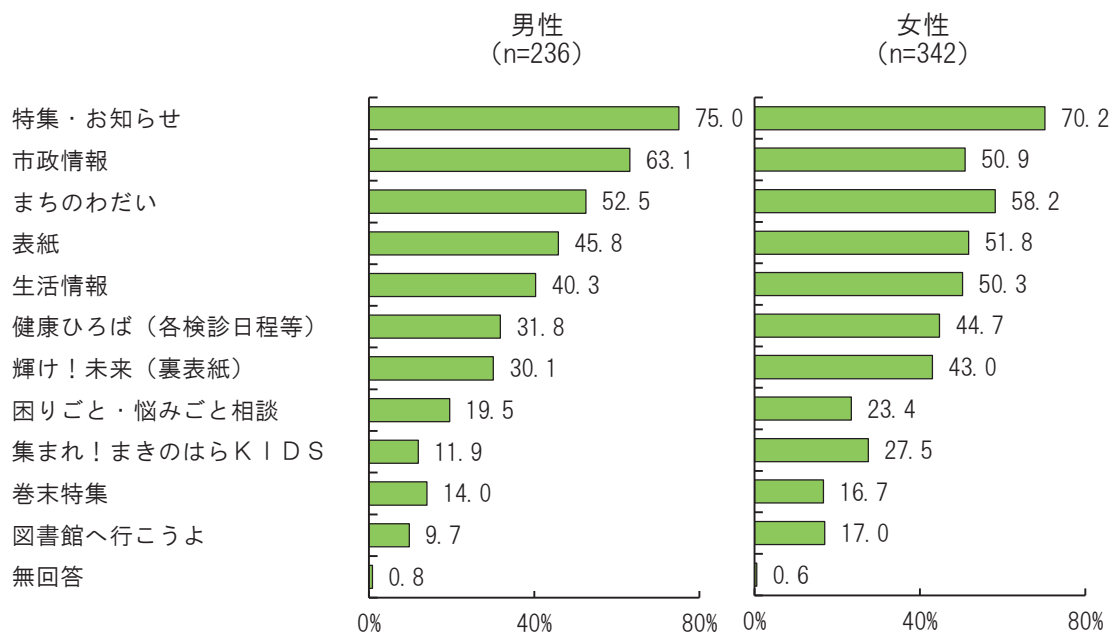
問 25 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



※令和2年度においては「全て」という選択肢はありません。

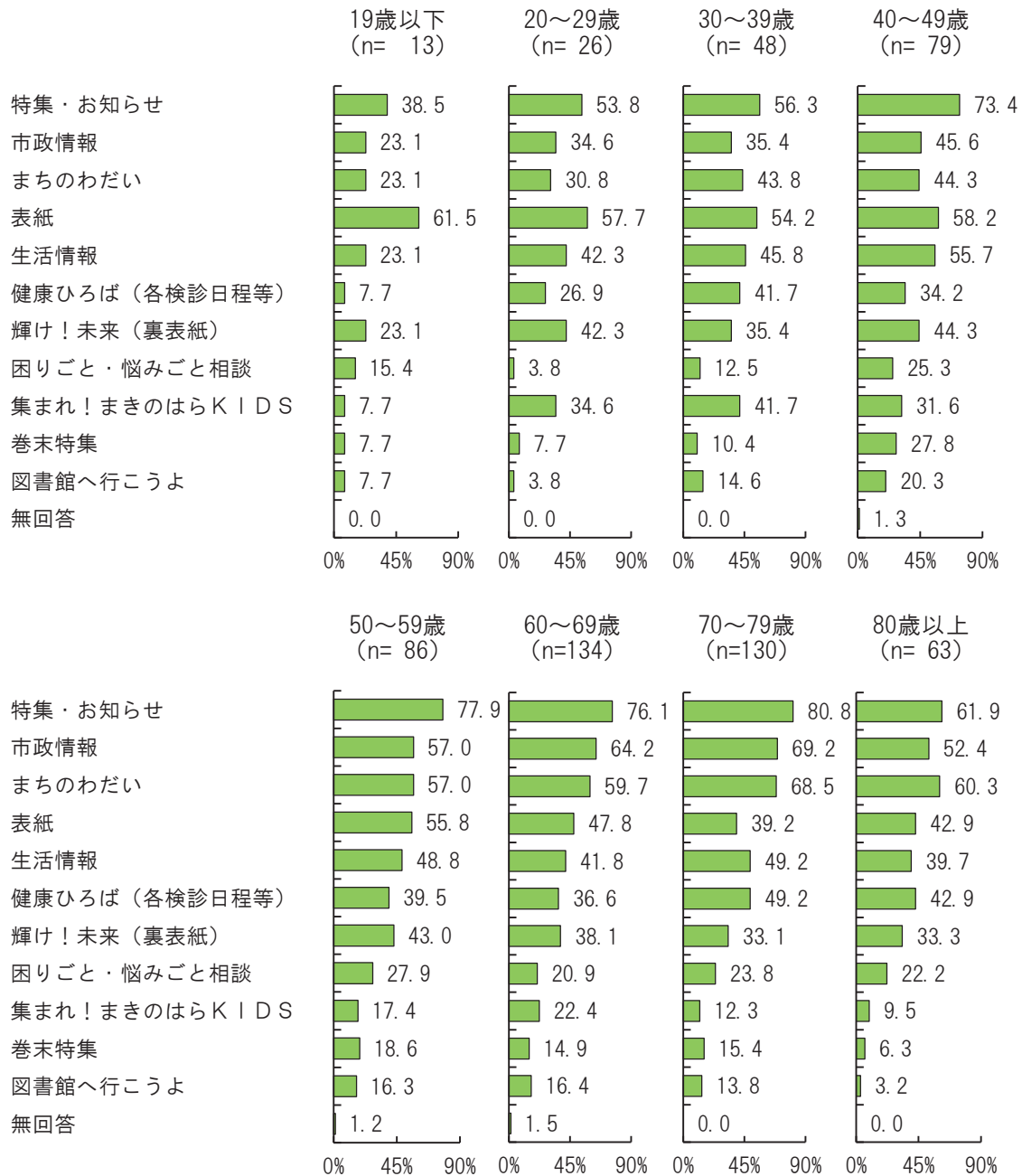
広報まきのはらで読んでいるページは、「特集・お知らせ」が71.9%と最も多く、次いで「市政情報」が56.1%、「まちのわだい」が55.4%などとなっています。  
 ※昨年度の調査と選択肢が一部異なるため、経年比較のコメントは割愛します。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「市政情報」が63.1%と多く、女性は「まちのわだい」「表紙」「健康ひろば（各検診日程等）」などが多くなっています。

## クロス集計（年齢別）



【年齢別】：20～29歳は「まちのわだい」「健康ひろば（各検診日程等）」「困りごと・悩みごと相談」が少なくなっています。30～39歳は「集まれ！まきのはらKIDS」が41.7%と多くなっています。40～49歳は「生活情報」「巻末特集」が多くなっています。70～79歳は「市政情報」「まちのわだい」「健康ひろば（各検診日程等）」が多くなっています。

⑧牧之原市の行政サービスについて

(26) 満足度・重要度について

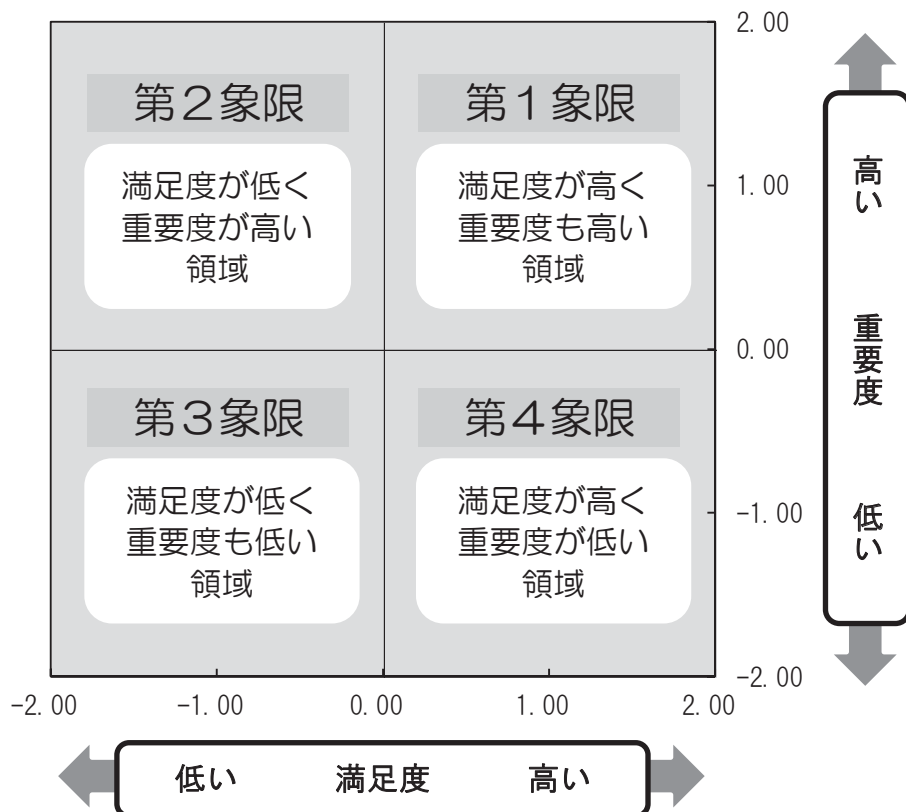
問 26 あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。  
 ※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。  
 (満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

《評価点の算出方法》

「満足」、「高い」と回答した人を+2点、「やや満足」、「やや高い」と回答した人を+1点、「やや不満」、「やや低い」と回答した人を-1点、「不満」、「低い」と回答した人を-2点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

また、各取組について満足度・重要度の評価点を散布図にて表した場合、下記のように4つの象限に評価をみることができます。

満足度	重要度	点数
「満足」	「高い」	+2点
「やや満足」	「やや高い」	+1点
「やや不満」	「やや低い」	-1点
「不満」	「低い」	-2点
「無回答」	「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない



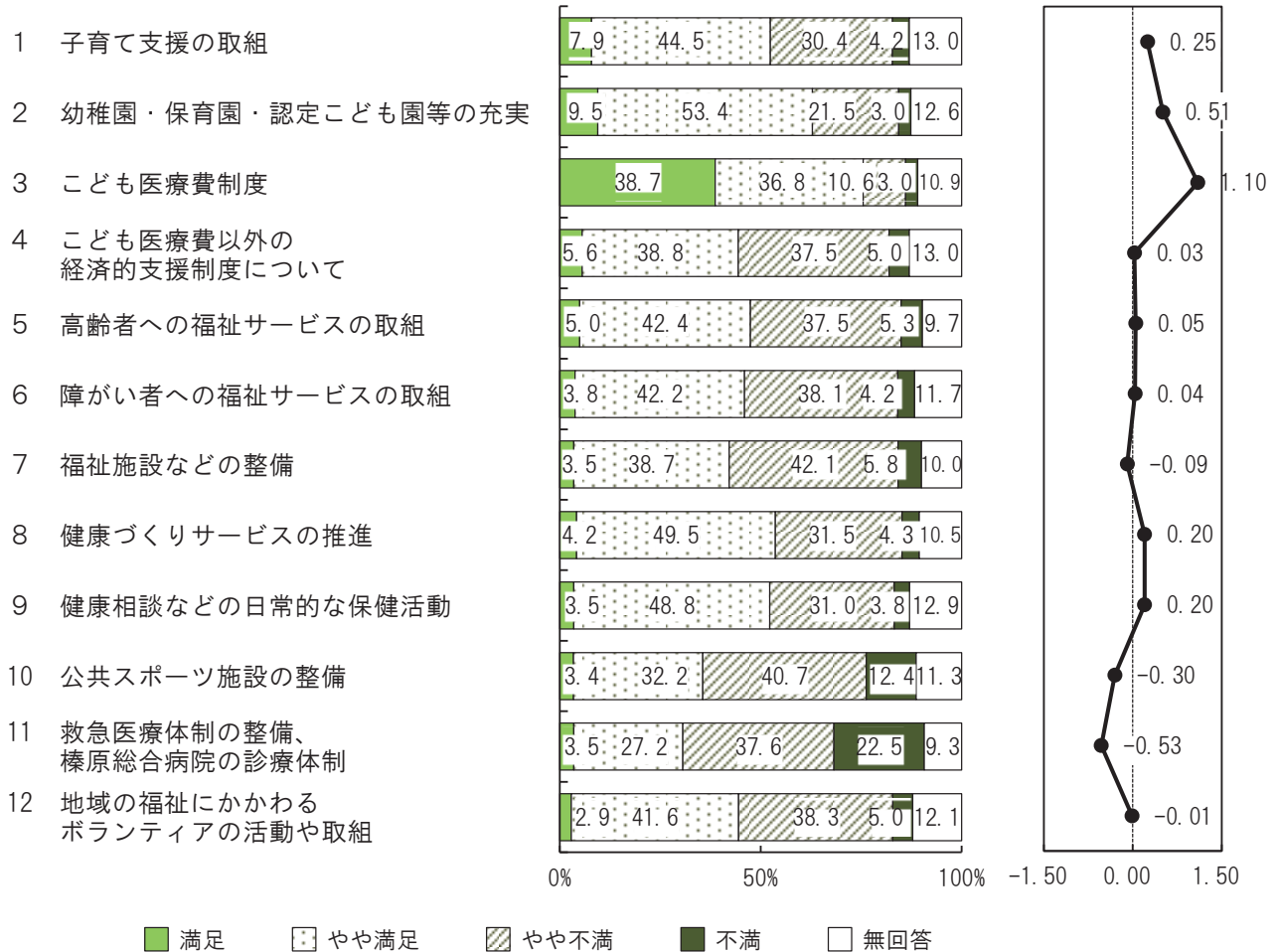


(27) 満足度・重要度【健康福祉】

【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

《満足度》

令和2年度 (n=832)



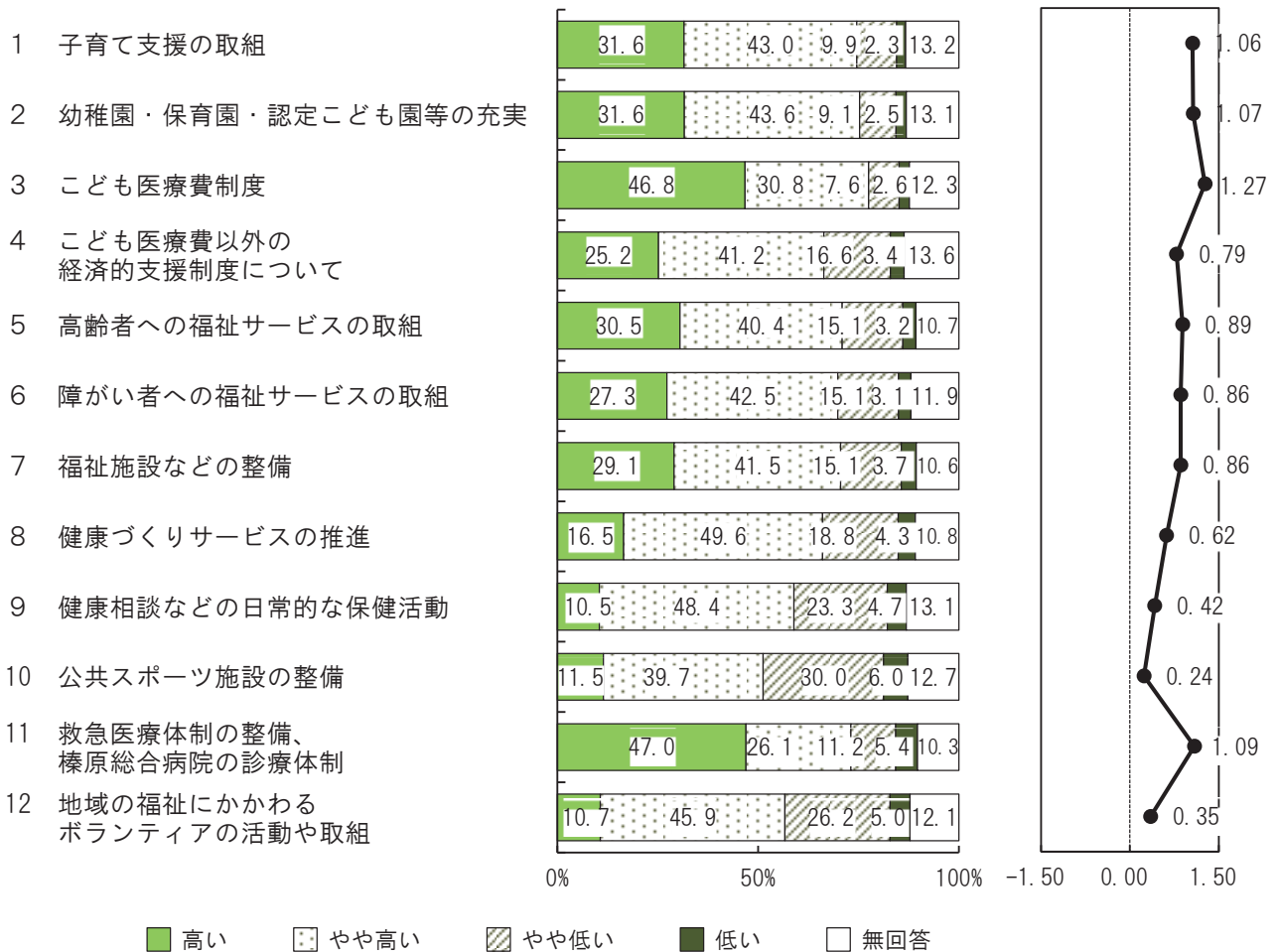
満足度が最も高い項目は、《3 こども医療費制度》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が75.5%、評価点が1.10点となっています。次に満足度が高い項目は、《2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（0.51点）、《1 子育て支援の取組》（0.25点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が60.1%、評価点が-0.53点となっています。次に満足度が低い項目は、《10 公共スポーツ施設の整備》（-0.30点）、《7 福祉施設などの整備》（-0.09点）などとなっています。

【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

《重要度》

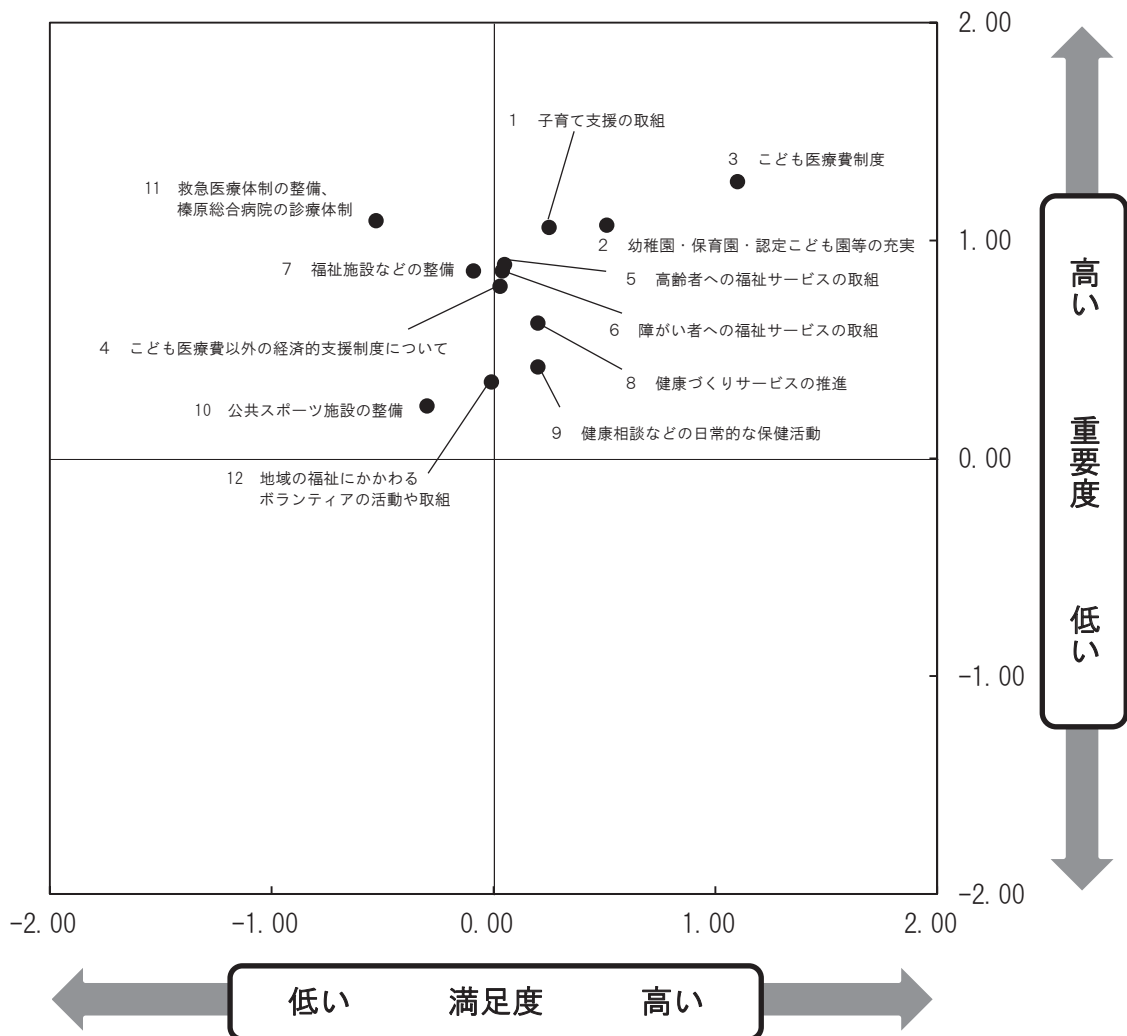
令和2年度 (n=832)



重要度が最も高い項目は、《3 こども医療費制度》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が77.5%、評価点が1.27点となっています。次に重要度が高い項目は、《11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》（1.09点）、《2 幼稚園・保育園・認定子ども園等の充実》（1.07点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《10 公共スポーツ施設の整備》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が36.1%、評価点が0.24点となっています。次に重要度が低い項目は、《12 地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組》（0.35点）、《9 健康相談などの日常的な保健活動》（0.42点）などとなっています。

【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり	満足度	重要度
1 子育て支援の取組	0.25	1.06
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.51	1.07
3 こども医療費制度	1.10	1.27
4 こども医療費以外の経済的支援制度について	0.03	0.79
5 高齢者への福祉サービスの取組	0.05	0.89
6 障がい者への福祉サービスの取組	0.04	0.86
7 福祉施設などの整備	-0.09	0.86
8 健康づくりサービスの推進	0.20	0.62
9 健康相談などの日常的な保健活動	0.20	0.42
10 公共スポーツ施設の整備	-0.30	0.24
11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.53	1.09
12 地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	-0.01	0.35



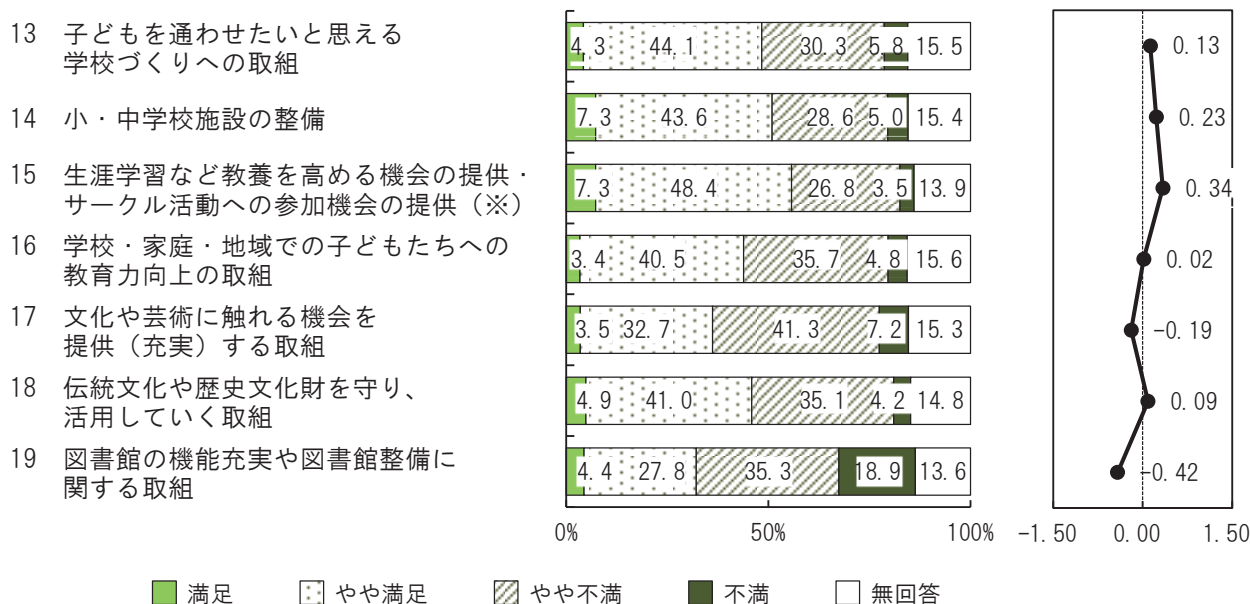
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、《3 こども医療費制度》は満足度が最も高くなっています。一方で、《11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》は重要度が2番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(28) 満足度・重要度【教育文化】

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

《満足度》

令和2年度 (n=832)



※ 15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供

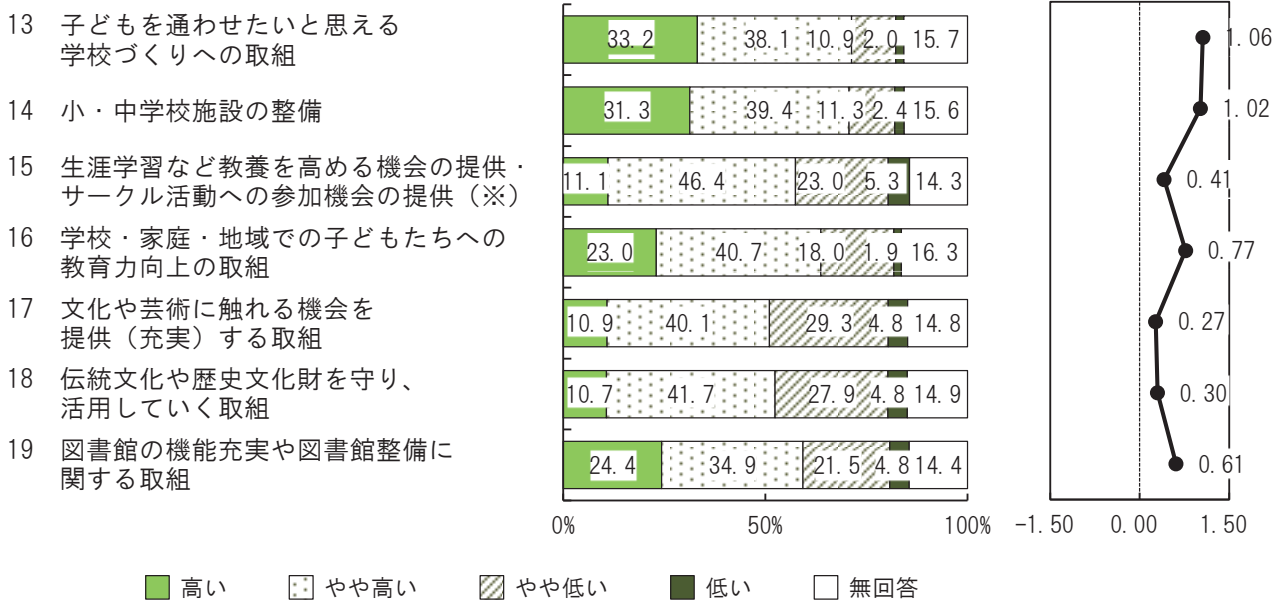
満足度が最も高い項目は、《15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》で、『満足』(「満足」+「やや満足」)が55.8%、評価点が0.34点となっています。次に満足度が高い項目は、《14 小・中学校施設の整備》(0.23点)、《13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》(0.13点)などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組》で、『不満』(「やや不満」+「不満」)が54.2%、評価点が-0.42点となっています。次に満足度が低い項目は、《17 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取組》(-0.19点)、《16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組》(0.02点)などとなっています。

## 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

## 《重要度》

令和2年度 (n=832)

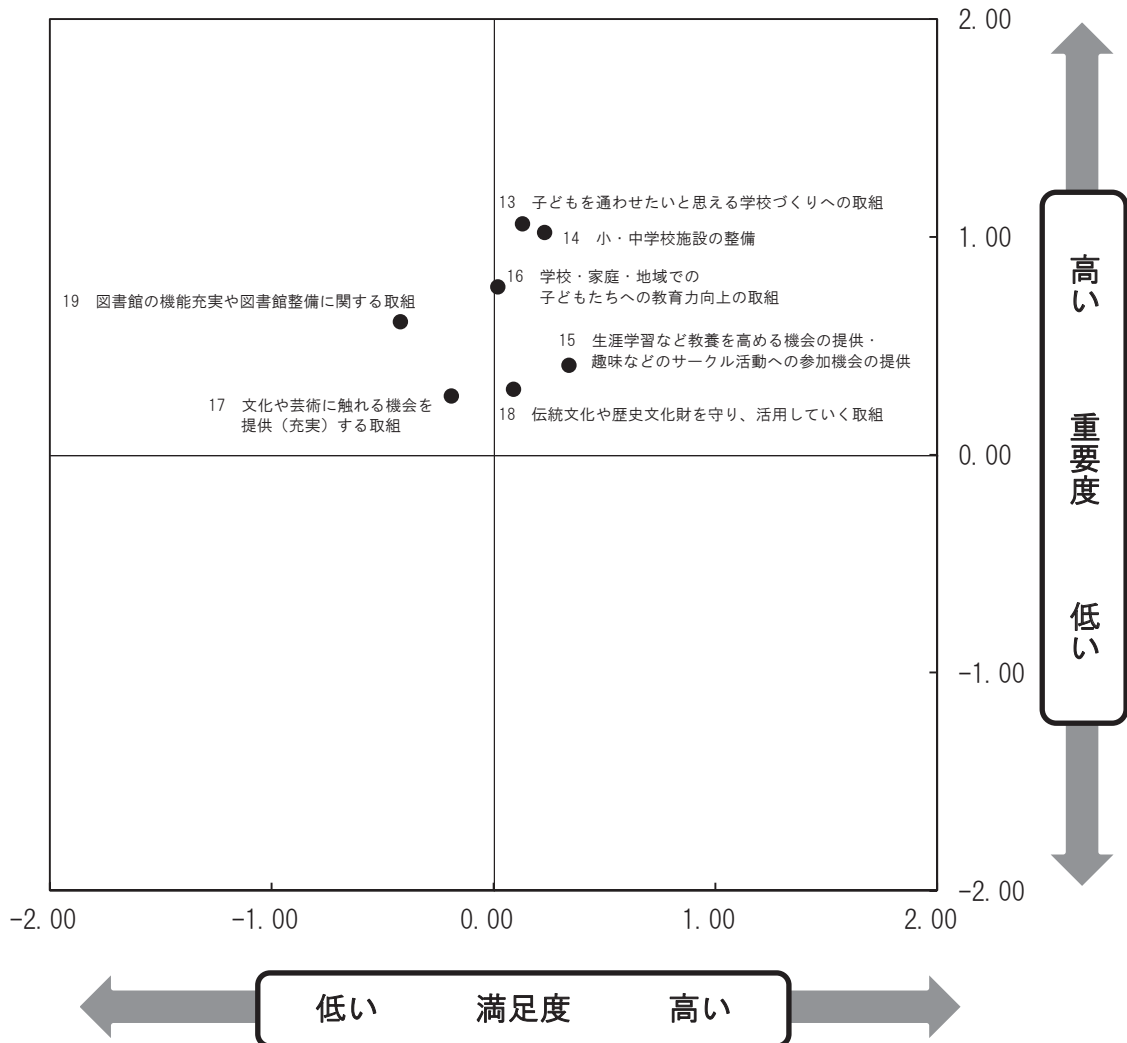


※ 15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供

重要度が最も高い項目は、《13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が71.3%、評価点が1.06点となっています。次に重要度が高い項目は、《14 小・中学校施設の整備》（1.02点）、《16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組》（0.77点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が34.1%、評価点が0.27点となっています。次に重要度が低い項目は、《18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組》（0.30点）、《15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》（0.41点）などとなっています。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり	満足度	重要度
13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	0.13	1.06
14 小・中学校施設の整備	0.23	1.02
15 生涯学習など教養を高める機会の提供・サークル活動への参加機会の提供	0.34	0.41
16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	0.02	0.77
17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	-0.19	0.27
18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組	0.09	0.30
19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組	-0.42	0.61



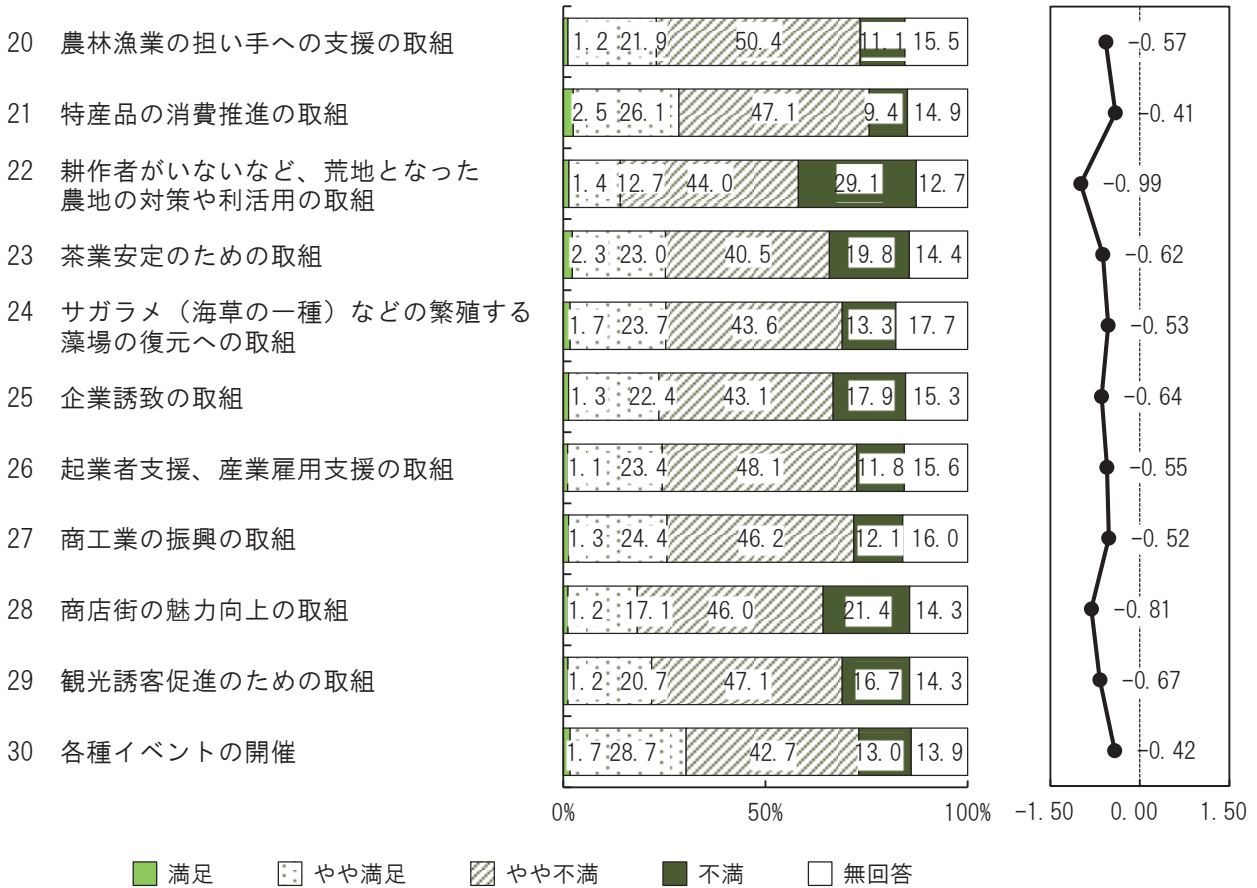
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供」は満足度が最も高くなっています。一方で、「19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組」は重要度が4番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(29) 満足度・重要度【産業経済】

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

《満足度》

令和2年度 (n=832)



満足度が最も高い項目は、《21 特産品の消費推進の取組》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が28.6%、評価点が-0.41点となっています。次に満足度が高い項目は、《30 各種イベントの開催》（-0.42点）、《27 商工業の振興の取組》（-0.52点）などとなっています。

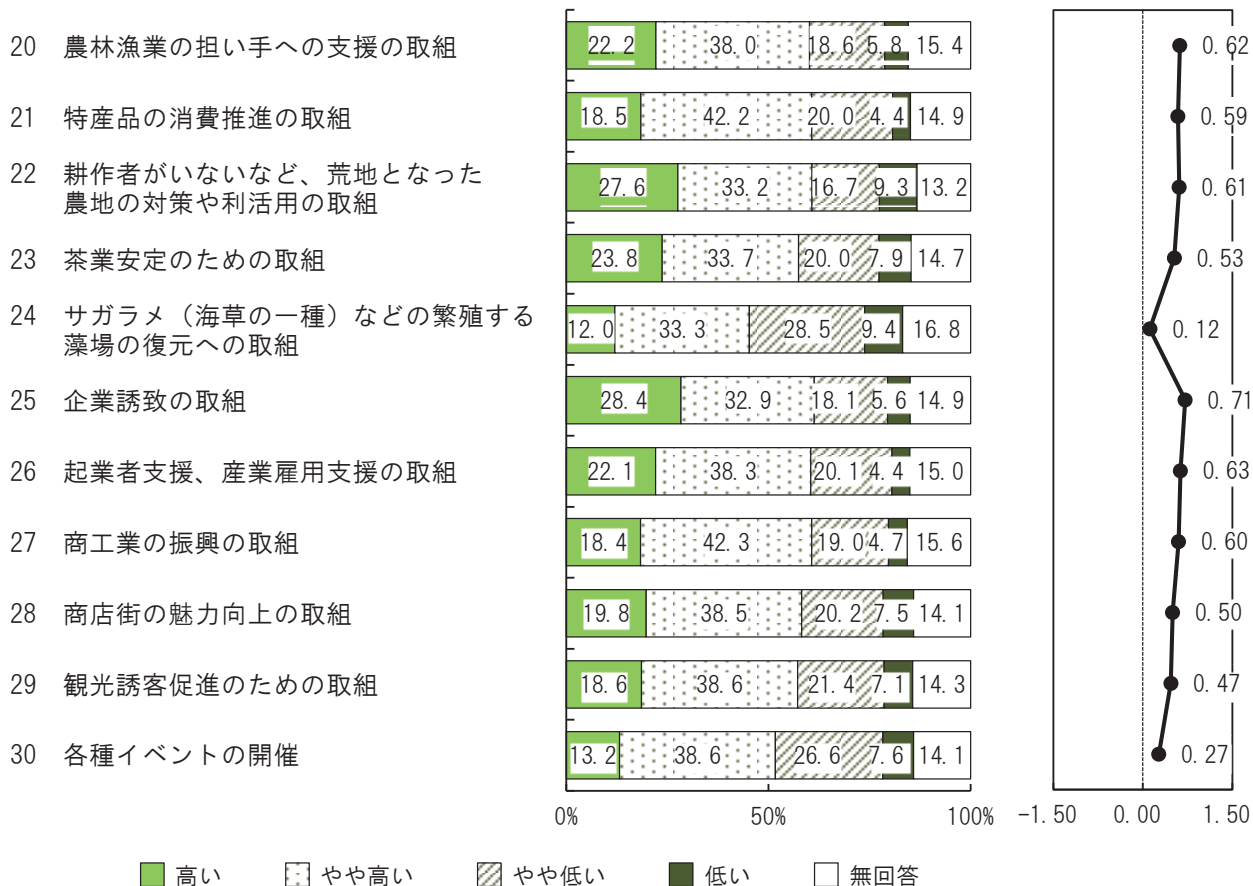
満足度が最も低い項目は、《22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が73.1%、評価点が-0.99点となっています。次に満足度が低い項目は、《28 商店街の魅力向上の取組》（-0.81点）、《29 観光誘客促進のための取組》（-0.67点）などとなっています。



【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

《重要度》

令和2年度 (n=832)

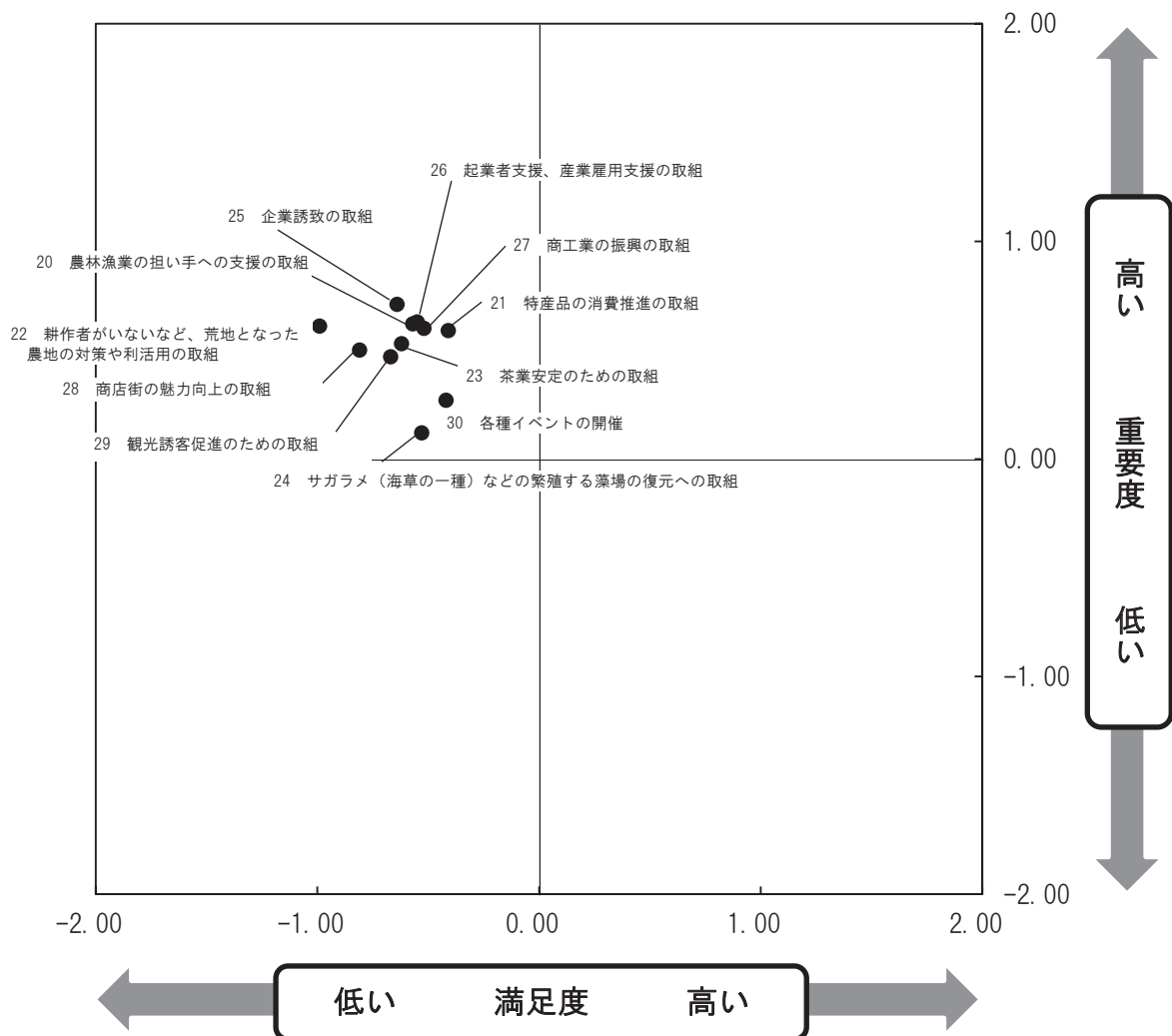


重要度が最も高い項目は、《25 企業誘致の取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が61.3%、評価点が0.71点となっています。次に重要度が高い項目は、《26 起業者支援、産業雇用支援の取組》（0.63点）、《20 農林漁業の担い手への支援の取組》（0.62点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《24 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取組》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が37.9%、評価点が0.12点となっています。次に重要度が低い項目は、《30 各種イベントの開催》（0.27点）、《29 観光誘客促進のための取組》（0.47点）などとなっています。



【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり		満足度	重要度
20	農林漁業の担い手への支援の取組	-0.57	0.62
21	特産品の消費推進の取組	-0.41	0.59
22	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	-0.99	0.61
23	茶業安定のための取組	-0.62	0.53
24	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取組	-0.53	0.12
25	企業誘致の取組	-0.64	0.71
26	起業者支援、産業雇用支援の取組	-0.55	0.63
27	商工業の振興の取組	-0.52	0.60
28	商店街の魅力向上の取組	-0.81	0.50
29	観光誘客促進のための取組	-0.67	0.47
30	各種イベントの開催	-0.42	0.27



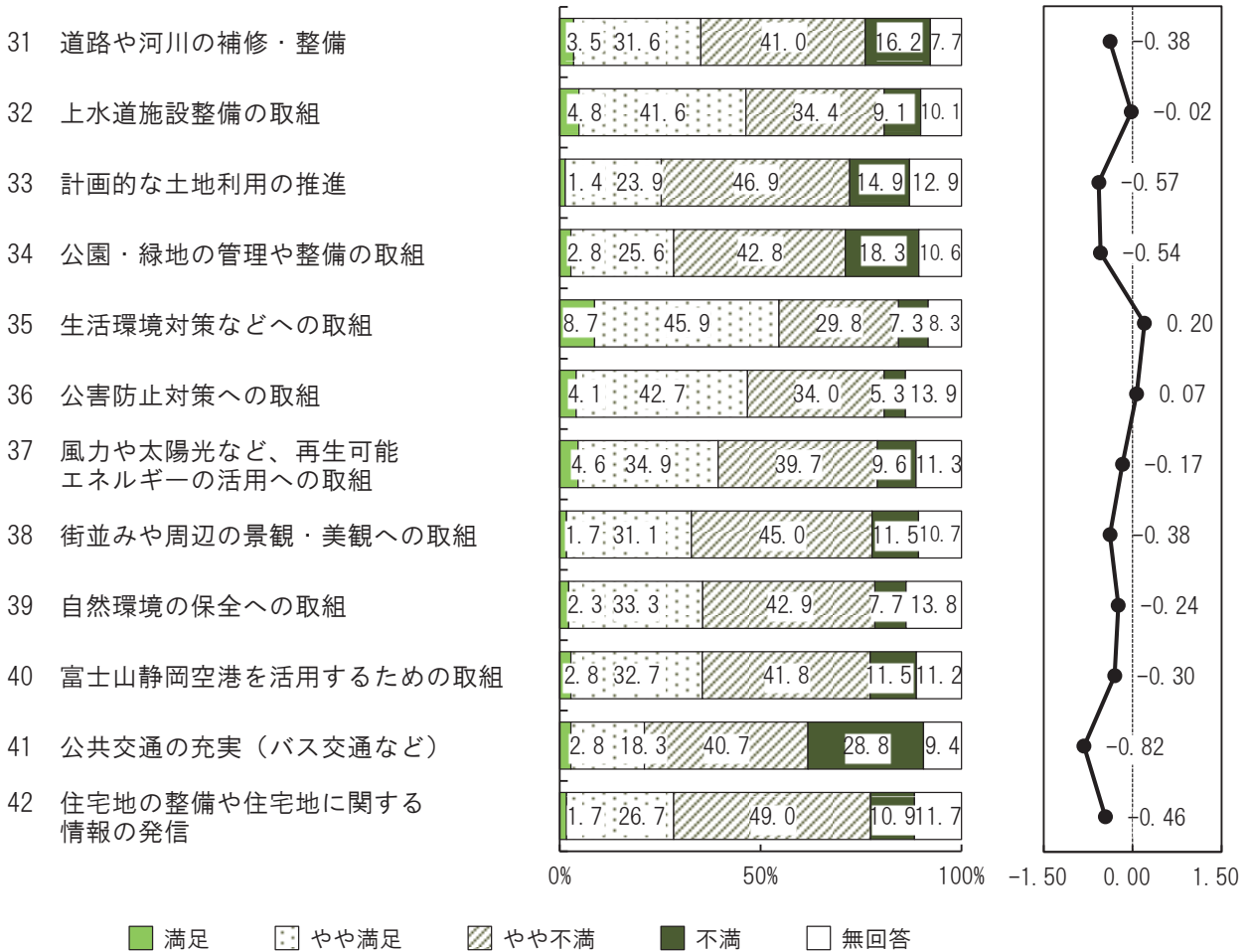
散布図でみると、すべての項目が、満足度が低く、重要度が高い第2象限に位置しています。その中でも、《22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組》は満足度が最も低くなっています。《25 企業誘致の取組》は重要度が最も高いものの、満足度は8番目に低くなっています。

(30) 満足度・重要度【生活基盤】

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

《満足度》

令和2年度 (n=832)



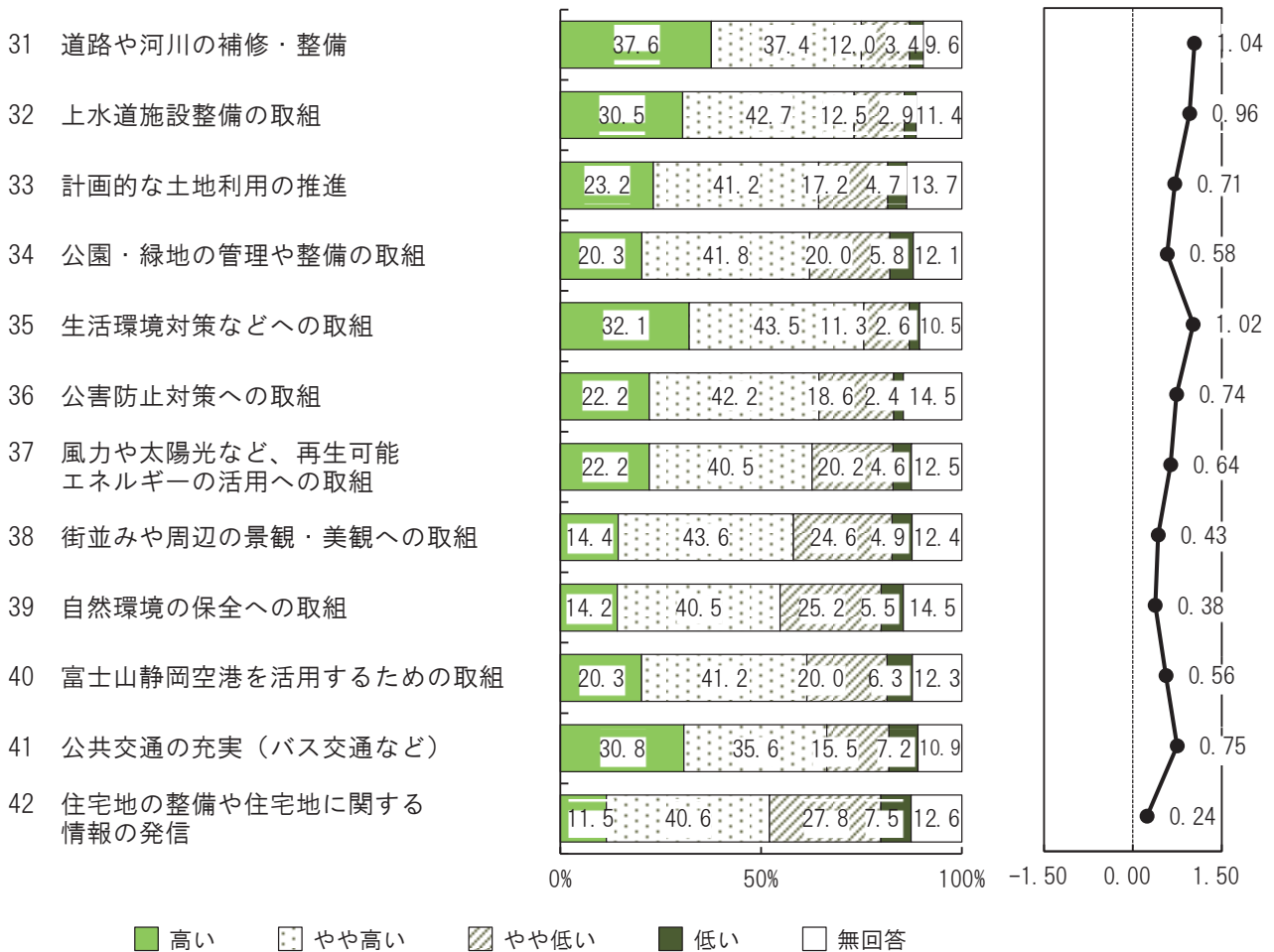
満足度が最も高い項目は、《35 生活環境対策などへの取組》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が54.6%、評価点が0.20点となっています。次に満足度が高い項目は、《36 公害防止対策への取組》（0.07点）、《32 上水道施設整備の取組》（-0.02点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《41 公共交通の充実（バス交通など）》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が69.6%、評価点が-0.82点となっています。次に満足度が低い項目は、《33 計画的な土地利用の推進》（-0.57点）、《34 公園・緑地の管理や整備の取組》（-0.54点）などとなっています。

## 【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

### 《重要度》

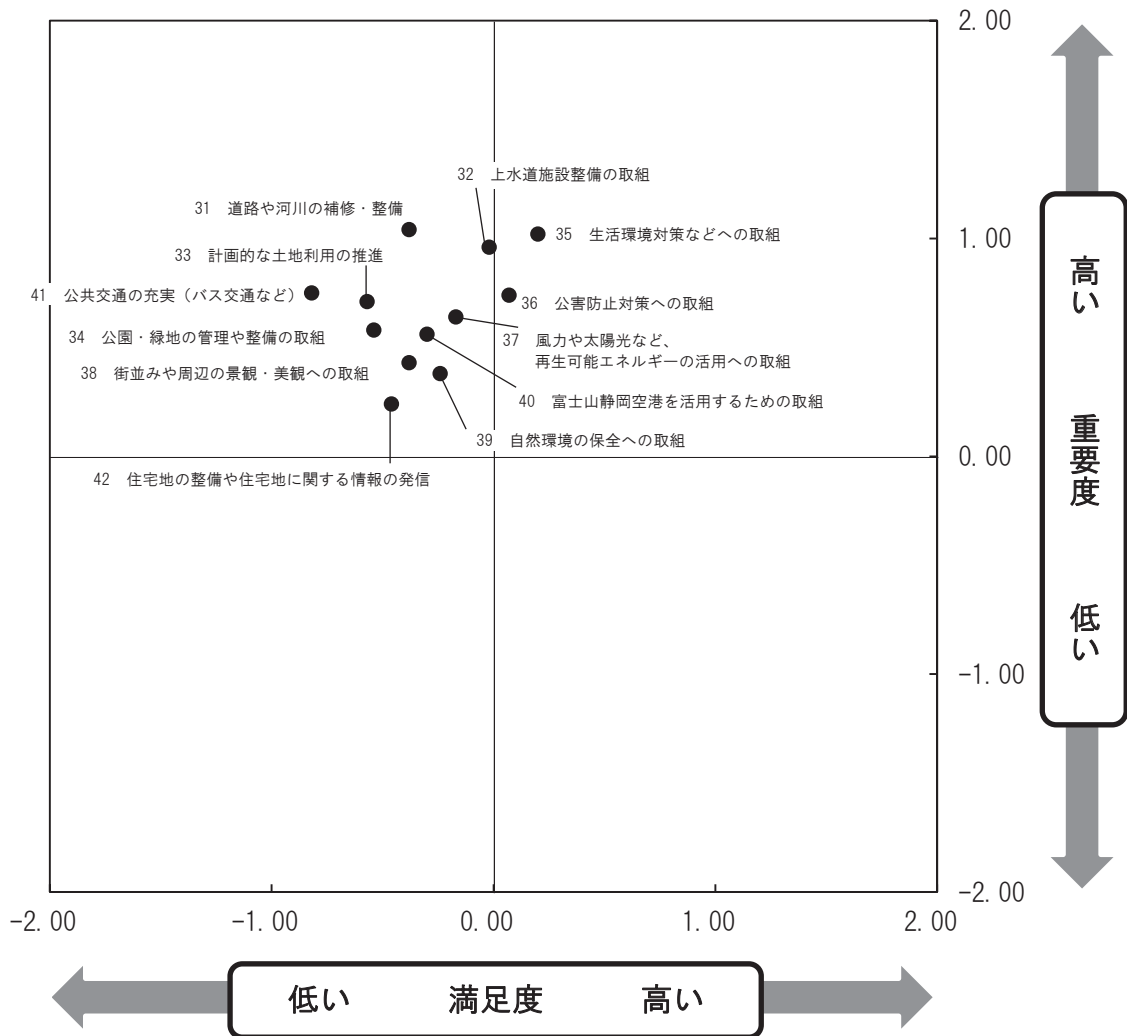
令和2年度 (n=832)



重要度が最も高い項目は、《31 道路や河川の補修・整備》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が75.0%、評価点が1.04点となっています。次に重要度が高い項目は、《35 生活環境対策などへの取組》（1.02点）、《32 上水道施設整備の取組》（0.96点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が35.2%、評価点が0.24点となっています。次に重要度が低い項目は、《39 自然環境の保全への取組》（0.38点）、《38 街並みや周辺の景観・美観への取組》（0.43点）などとなっています。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり	満足度	重要度
31 道路や河川の補修・整備	-0.38	1.04
32 上水道施設整備の取組	-0.02	0.96
33 計画的な土地利用の推進	-0.57	0.71
34 公園・緑地の管理や整備の取組	-0.54	0.58
35 生活環境対策などへの取組	0.20	1.02
36 公害防止対策への取組	0.07	0.74
37 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	-0.17	0.64
38 街並みや周辺の景観・美観への取組	-0.38	0.43
39 自然環境の保全への取組	-0.24	0.38
40 富士山静岡空港を活用するための取組	-0.30	0.56
41 公共交通の充実（バス交通など）	-0.82	0.75
42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.46	0.24



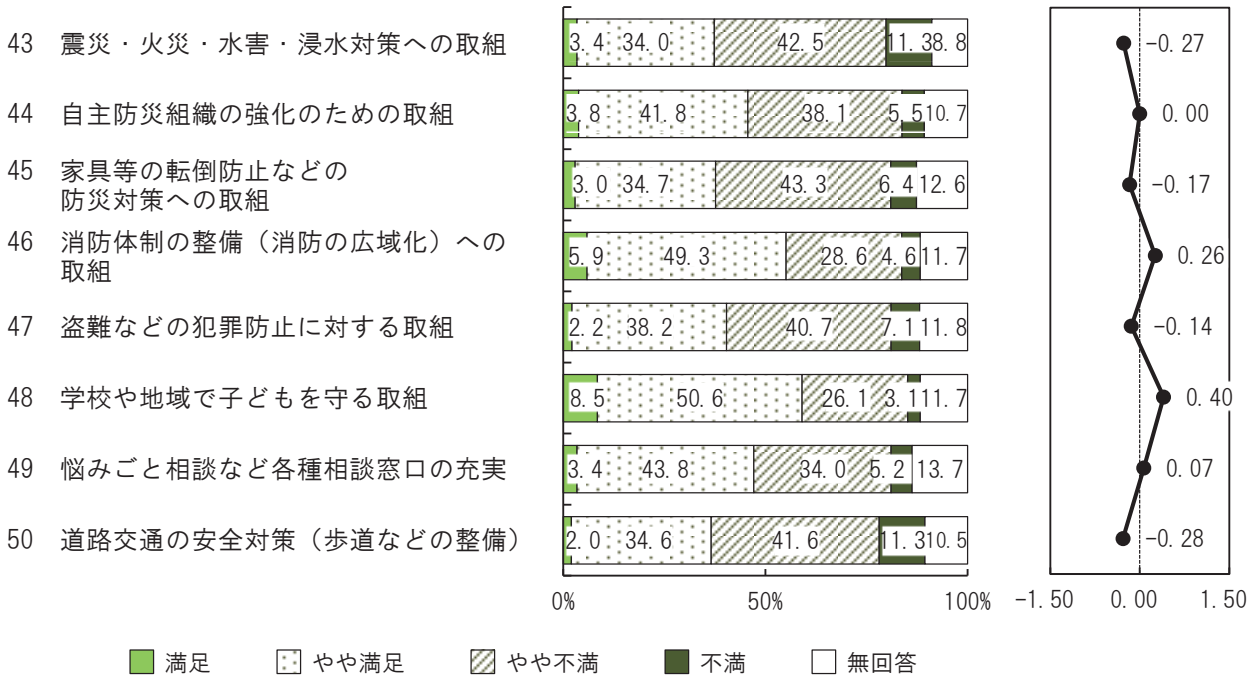
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「35 生活環境対策などへの取組」は満足度が最も高くなっています。一方で、「41 公共交通の充実（バス交通など）」は重要度が4番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

## (31) 満足度・重要度【防災】

## 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

## 《満足度》

令和2年度 (n=832)



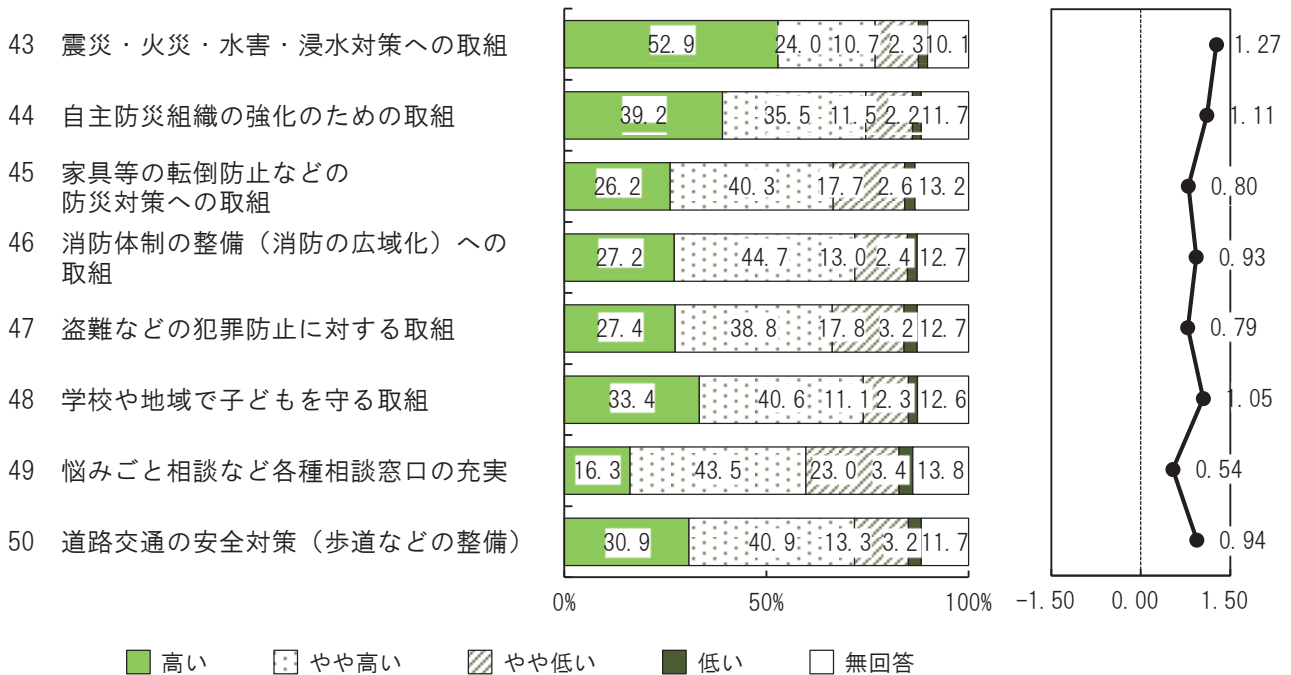
満足度が最も高い項目は、《48 学校や地域で子どもを守る取組》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が59.1%、評価点が0.40点となっています。次に満足度が高い項目は、《46 消防体制の整備（消防の広域化）への取組》（0.26点）、《49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実》（0.07点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が52.9%、評価点が-0.28点となっています。次に満足度が低い項目は、《43 震災・火災・水害・浸水対策への取組》（-0.27点）、《45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組》（-0.17点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

《重要度》

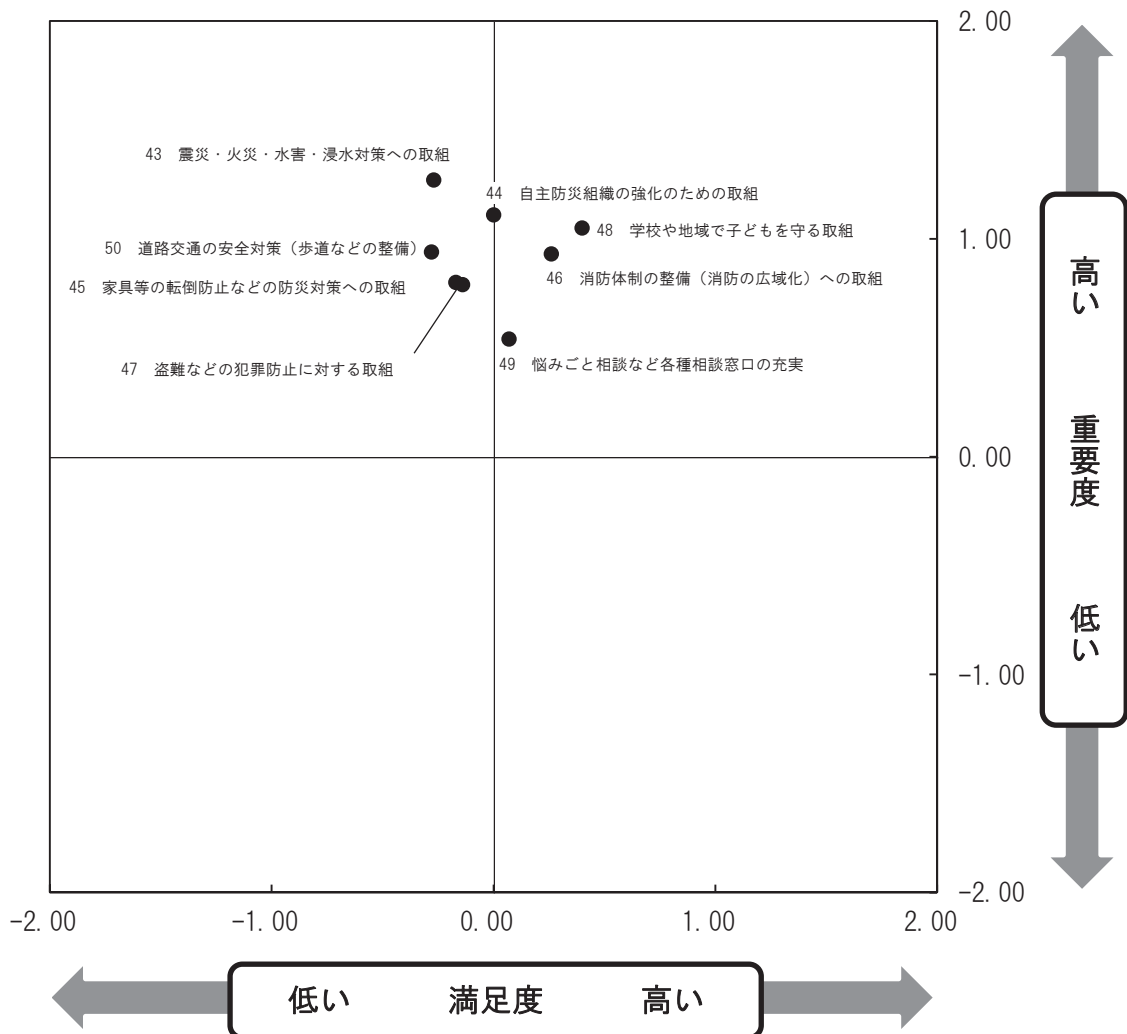
令和2年度 (n=832)



重要度が最も高い項目は、《43 震災・火災・水害・浸水対策への取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が77.0%、評価点が1.27点となっています。次に重要度が高い項目は、《44 自主防災組織の強化のための取組》（1.11点）、《48 学校や地域で子どもを守る取組》（1.05点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が26.3%、評価点が0.54点となっています。次に重要度が低い項目は、《47 盗難などの犯罪防止に対する取組》（0.79点）、《45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組》（0.80点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり	満足度	重要度
43 震災・火災・水害・浸水対策への取組	-0.27	1.27
44 自主防災組織の強化のための取組	0.00	1.11
45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組	-0.17	0.80
46 消防体制の整備（消防の広域化）への取組	0.26	0.93
47 盗難などの犯罪防止に対する取組	-0.14	0.79
48 学校や地域で子どもを守る取組	0.40	1.05
49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.07	0.54
50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	-0.28	0.94



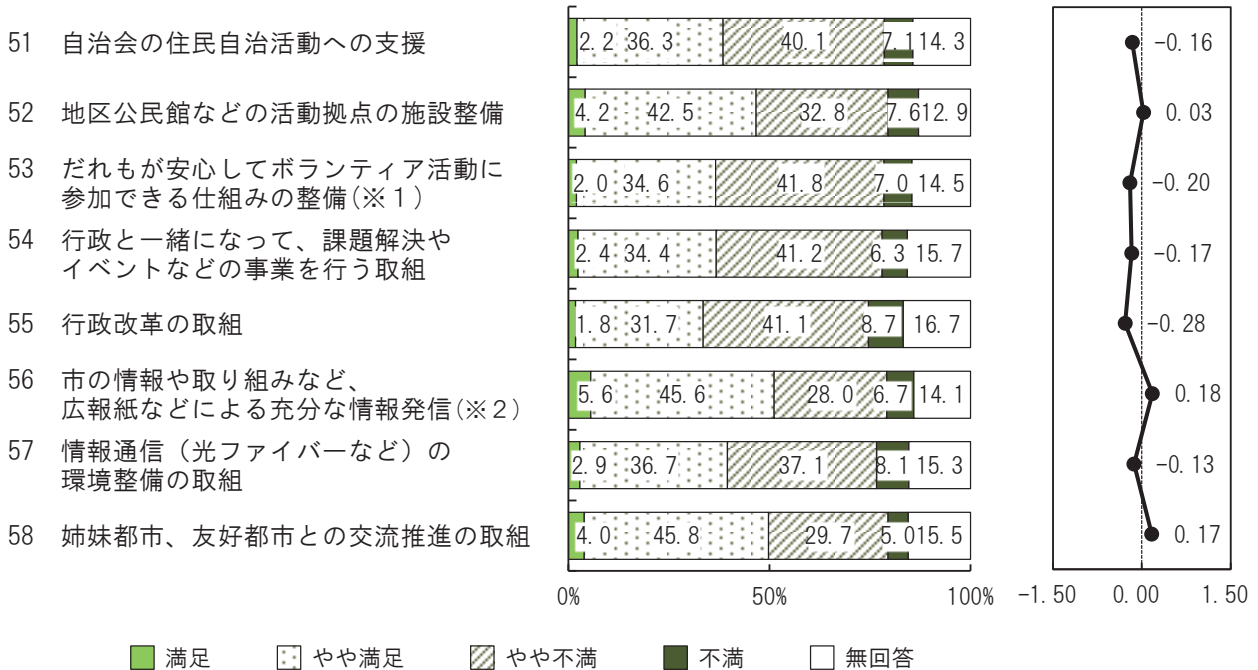
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「48 学校や地域で子どもを守る取組」は満足度が最も高くなっています。一方で、「50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）」は重要度が4番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(32) 満足度・重要度【市政経営】

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

《満足度》

令和2年度 (n=832)



※1 53 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備

※2 56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信

満足度が最も高い項目は、《56 市の情報や取組など、広報紙などによる十分な情報発信》で、『満足』(「満足」+「やや満足」)が51.2%、評価点が0.18点となっています。次に満足度が高い項目は、《58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組》(0.17点)、《52 地区公民館などの活動拠点の施設整備》(0.03点)などとなっています。

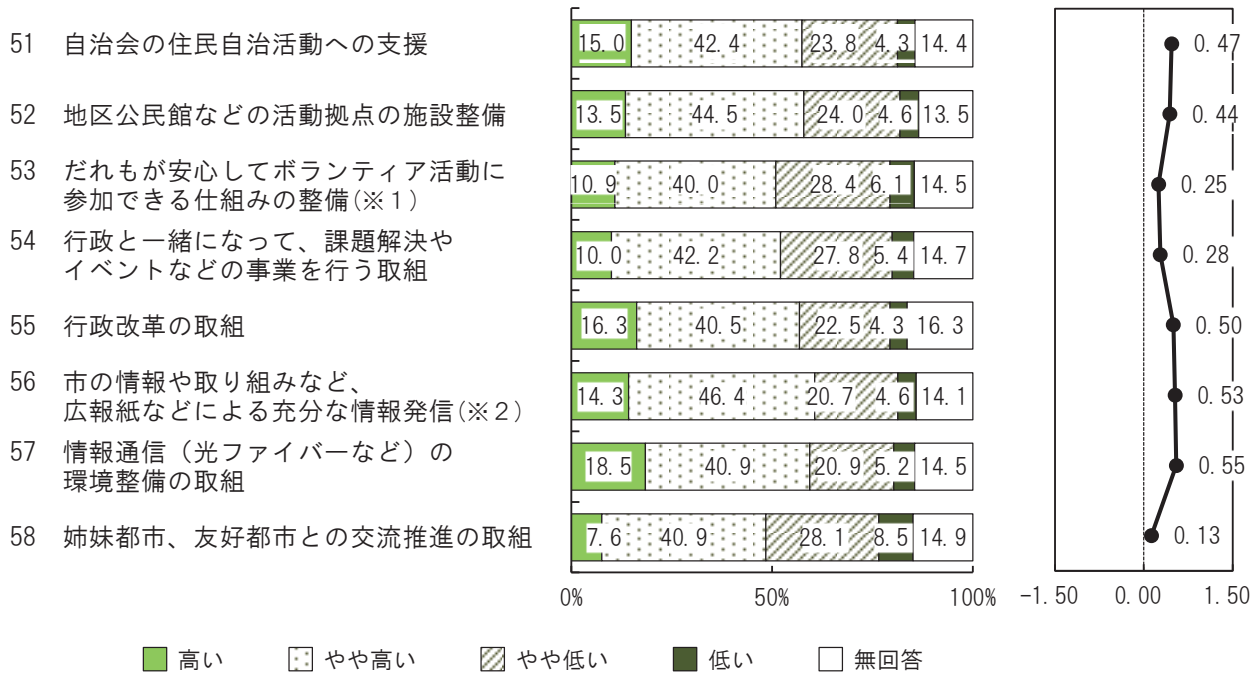
満足度が最も低い項目は、《55 行政改革の取組》で、『不満』(「やや不満」+「不満」)が49.8%、評価点が-0.28点となっています。次に満足度が低い項目は、《53 だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備》(-0.20点)、《54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組》(-0.17点)などとなっています。



## 【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

### 《重要度》

令和2年度 (n=832)



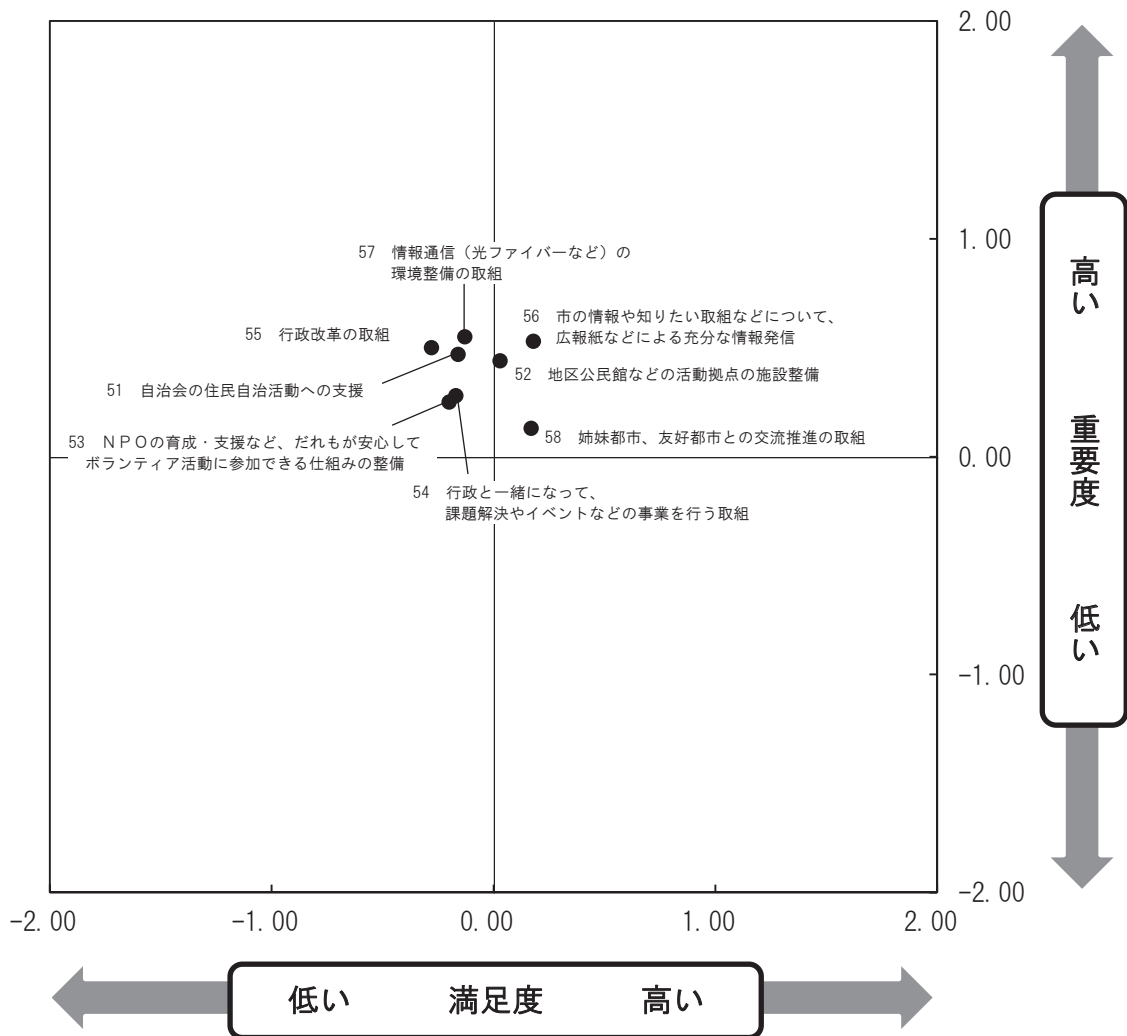
※1 53 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備

※2 56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信

重要度が最も高い項目は、《57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が59.4%、評価点が0.55点となっています。次に重要度が高い項目は、《56 市の情報や取組みなど、広報紙などによる十分な情報発信》（0.53点）、《55 行政改革の取組》（0.50点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が36.7%、評価点が0.13点となっています。次に重要度が低い項目は、《53 だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備》（0.25点）、《54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組》（0.28点）などとなっています。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり	満足度	重要度
51 自治会の住民自治活動への支援	-0.16	0.47
52 地区公民館などの活動拠点の施設整備	0.03	0.44
53 だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	-0.20	0.25
54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	-0.17	0.28
55 行政改革の取組	-0.28	0.50
56 市の情報や取組など、広報紙などによる十分な情報発信	0.18	0.53
57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組	-0.13	0.55
58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	0.17	0.13

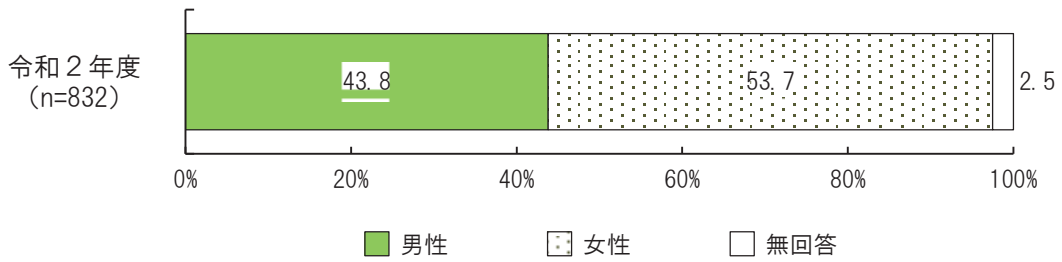


散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「56 市の情報や取組など、広報紙などによる十分な情報発信」は満足度が最も高くなっています。一方で、「55 行政改革の取組」は重要度が3番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

⑨回答者自身のことについて

(33) 回答者の属性 ①性別

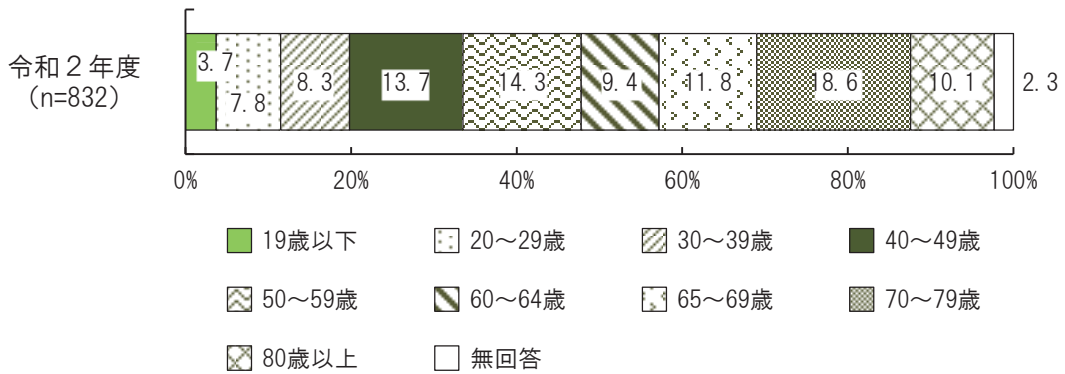
問 27：1 あなたの性別は？（○は1つ）



回答者の性別は、「男性」が43.8%、「女性」が53.7%となっています。

(34) 回答者の属性 ②年齢

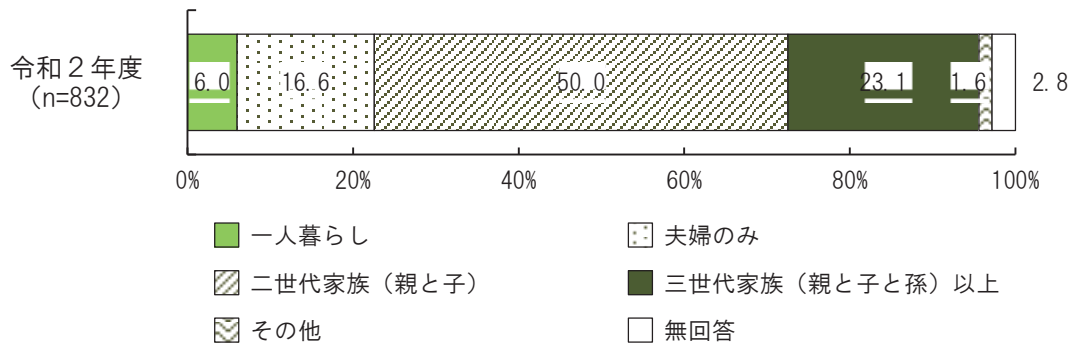
問 27：2 あなたの年齢は？（○は1つ）



回答者の年齢は、「70~79歳」が18.6%と最も多く、次いで「50~59歳」が14.3%、「40~49歳」が13.7%などとなっています。

(35) 回答者の属性 ③同居世帯の構成

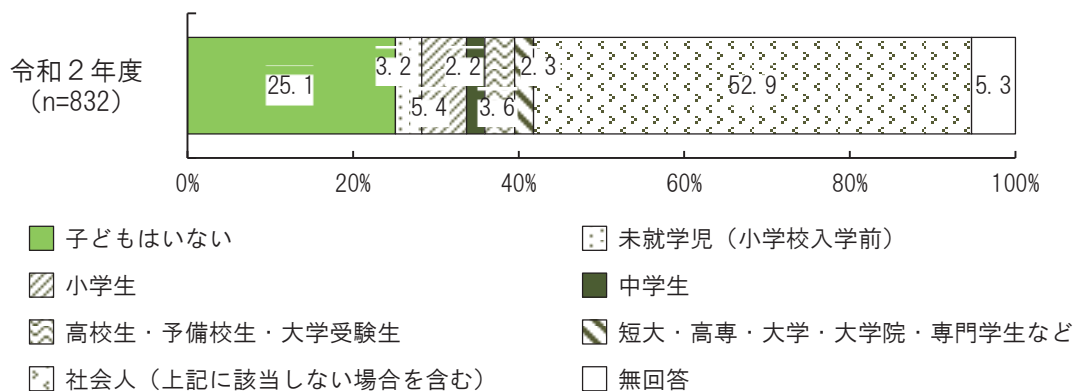
問 27：3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○は1つ）



回答者の同居世帯の構成は、「二世世代家族（親と子）」が50.0%と最も多く、次いで「三世世代家族（親と子と孫）以上」が23.1%、「夫婦のみ」が16.6%などとなっています。

(36) 回答者の属性 ④子どもの有無・一番上の子どもの年ごろ

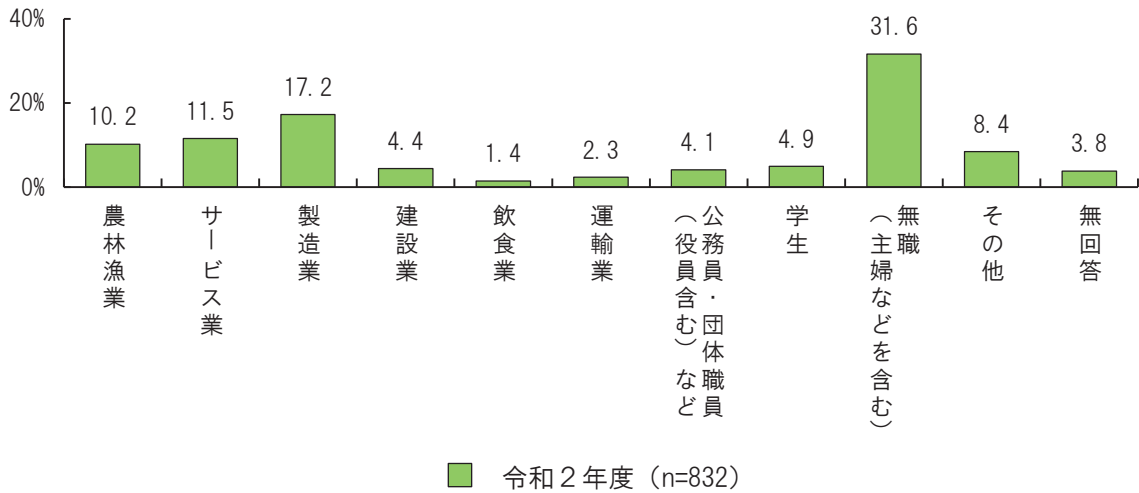
問 27：4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。（○は1つ）



回答者の子どもの有無・一番上の子どもの年ごろは、「社会人（上記に該当しない場合を含む）」が52.9%と最も多く、次いで「子どもはいない」が25.1%、「小学生」が5.4%などとなっています。

## (37) 回答者の属性 ⑤職業

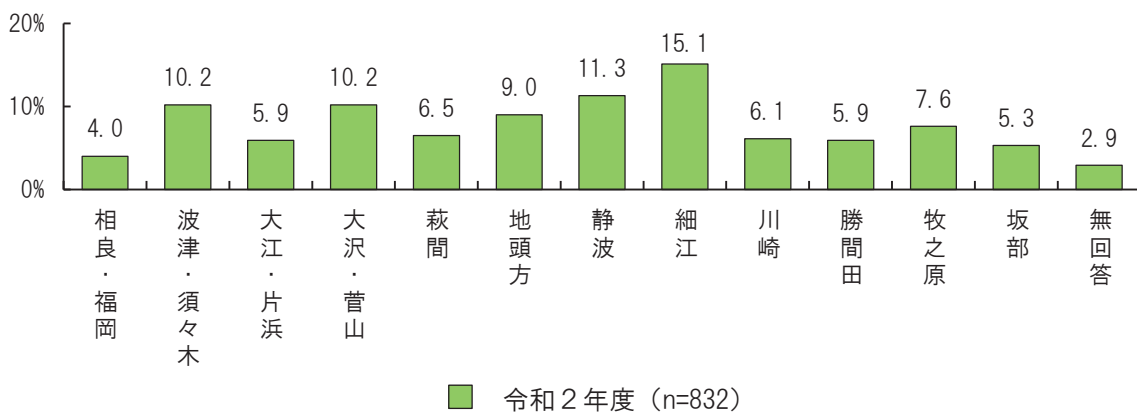
問 27：5 あなたの職業は？（○は1つ）



回答者の職業は、「無職（主婦などを含む）」が 31.6%と最も多く、次いで「製造業」が 17.2%、「サービス業」が 11.5%などとなっています。

## (38) 回答者の属性 ⑥居住地域

問 27：6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？（○は1つ）



回答者の居住地域は、「細江」が 15.1%と最も多く、次いで「静波」が 11.3%、「波津・須々木」「大沢・菅山」がともに 10.2%などとなっています。

### 3. 調査票

牧之原市の取り組みに「あなたの声」を聴かせてください!

# 牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力のお願い ～

日頃から市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、市民の皆様には、日々、新型コロナウイルスの感染症防止対策や新しい生活様式の実践に努めていただき感謝いたします。一日も早い収束と、皆様が平穏な生活を送れるよう、心からお祈り申し上げます。

さて、牧之原市では「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのほら」を将来都市像とした第2次総合計画に基づき、市政経営を進めています。

この市民意識調査は、総合計画に設定している数値目標の進捗をチェックするとともに、市民の皆様の声をお聴きするために実施しています。

調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんので、ご安心ください。設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様声を市政に反映したく思いますので、ご協力をよろしく申し上げます。

なお、調査結果については、本年10月に公表を予定しています。

令和2年8月

牧之原市長 杉本基久雄



#### ■記入にあたってのお願い

1. この調査は**あて名のご本人**がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですがご家族等による聞き取りにてご記入ください。

(ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください。)

2. 回答は、無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに「1つ」「3つ以内」などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けてください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例 (①)

#### ■調査票の返送と調査に関するお問い合わせ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒に入れ、牧之原市 企画政策部 秘書政策課までご返送ください。(切手は不要です。)

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ**8月21日(金)**までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

牧之原市 企画政策部 秘書政策課 (担当: 鈴木・池田) 電話0548-23-0052





**<牧之原市での暮らしについてお聞きします>**

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 住み続けたい

2. 市内の他の場所へ移りたい

3. 市外へ移りたい

4. わからない

（問1で「2.市内の他の場所へ移りたい」または「3.市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。）

問2 他の場所へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| 1. 公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから | 2. 通勤や通学など交通面が不便だから                |
| 3. 道路などの生活基盤が整備されていないから  | 4. 子育てや教育の環境が良くないから                |
| 5. 医療や介護の環境が良くないから       | 6. 自然環境が悪化しているから                   |
| 7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから   | 8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから               |
| 9. 知人や親族がいないから           | 10. 故郷ではないから                       |
| 11. 勤めたい会社が市内にないから       | 12. その他（具体的に：                    ） |

問3 あなたは、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？最も強く思う場合を10、全く思わない場合を0として、あてはまるものに1つ○印をつけてください。

10 ・ 9 ・ 8 ・ 7 ・ 6 ・ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ 0

（問3で「10・9・8」と答えた方にお聞きします。）

問4 牧之原市をおすすめしたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                  |                                    |
|------------------|------------------------------------|
| 1. 海岸線や里山などの景観   | 2. 四季の風景                           |
| 3. 豊かな食          | 4. ものづくり産業                         |
| 5. 特産物           | 6. 魅力ある店舗                          |
| 7. 観光施設、観光イベント   | 8. 地域の祭りや伝統行事                      |
| 9. 歴史文化          | 10. 交通インフラ                         |
| 11. 地域の活動や人のつながり | 12. 牧之原らしい暮らし                      |
| 13. 牧之原市で子育てすること | 14. 賑わい創出の取組                       |
| 15. 活躍できる場があること  | 16. その他（具体的に：                    ） |



問5 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

→ (問5で「1.大いに思う」または「2.ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

問6 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 健康であるから               | 2. 生きがいがあるから       |
| 3. 生活環境が良好であるから          | 4. 家族や友人との関係が良好だから |
| 5. 治安が保たれているから           | 6. 住まいがあるから        |
| 7. 生活に余裕があるから            | 8. 災害がないから         |
| 9. 食生活が良好であるから           | 10. 良い職場に勤めているから   |
| 11. 活躍できる場があるから          | 12. 社会貢献する場があるから   |
| 13. スポーツ活動などの趣味が充実しているから | 14. その他(具体的に: )    |

#### <原子力発電についてお聞きします>

問7 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい       |
| 2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい |
| 3. どちらともいえない                    |
| 4. わからない                        |
| 5. その他(具体的に: )                  |

<子育て環境についてお聞きします>

ちょっと見て！① 子育て世帯を支援するため、次の取組を行っています。

- ・第3子以降の保育料の無償化・・・3歳児から5歳児を対象に実施（平成30年9月から）
- ・子育て家族定住奨励金・・・市内に住宅を新築・購入する夫婦等に定住奨励金を交付（条件あり）
- ・産後ケア事業・・・産後の母子やその家族に対し、助産師等が育児や栄養の指導を実施
- ・こども医療費助成・・・0歳から高校生まで個人負担（保険診療分）なし
- ・まきはぐ・・・スマートフォンやパソコンから予防接種の案内や健診結果、保育園、幼稚園、学校からの連絡など子育て情報を総合的に確認できるシステムを提供
- ・放課後児童クラブ・・・小学1～6年生を対象に、各地区に設置
- ・妊産婦通院等支援・・・通院などの費用として、3万円の商品券を助成
- ・病後児保育・・・保育室で病後の回復期の幼児の預かりを実施
- ・保育施設の民営化・・・保育サービスの充実や、保育施設への計画的な支援を図るため、運営方針や適正配置など、目指すべき姿を定めた保育園等施設マネジメント計画を策定する。



問8 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

問9 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことは何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実 | 2. 親子で遊べる施設や公園の整備  |
| 3. 子育てに関する経済的支援の充実    | 4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実 |
| 5. 教育・文化水準の向上         | 6. 一時的に子どもを預かる施設   |
| 7. 地震・津波などの災害対策       | 8. 地域で子どもを育てる意識の向上 |
| 9. 子育てについての積極的な情報提供   |                    |
| 10. その他（具体的に： _____）  |                    |

<“公共施設の更新問題”についてお聞きします>

日本では、昭和40年代から50年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。現在、これらの公共施設は、一斉に老朽化しつつあり、また、近い将来、一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、全ての公共施設を維持することが難しくなります。

このことは、「公共施設の更新問題(老朽化問題)」とされています。

問10 あなたは、この「公共施設の更新問題(老朽化問題)」を知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 知っている                      2. 聞いたことがある                      3. 知らない

問11 牧之原市では、この「公共施設の更新問題(老朽化問題)」に対応するための取組を行っています。あなたは、この取組を知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 知っている                      2. 聞いたことがある                      3. 知らない

→ (問11で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。)

問12 どのような市の取組を知っていますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 学校再編計画                      2. 保育施設民営化                      3. 片浜小学校の利活用  
4. 老朽化施設の取り壊し                      5. 消防団詰所の統廃合                      6. その他 (                      )

→ (問11で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答え、かつ問12を答えた方にお聞きします。)

問13 その情報を何で見聞きましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 広報まきのほら                      2. ホームページ                      3. 牧之原市公式LINE  
4. 市の会合                      5. 自治会(区・町内会)                      6. 各種団体の活動や会合  
7. 議員の話                      8. 職員の話  
9. その他(具体的に:                      )

問14 「公共施設の更新問題(老朽化問題)」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 容認できる                      2. ある程度までは容認できる                      3. 容認できない

**<産業・雇用についてお聞きします>**

ちょっと見て！② 市の産業を統計で見ると

- 【製造業】 製造品出荷額 県内の市で第7位（平成30年工業統計調査）
- 【産業人口】 第一次産業就業者割合 県内の市で第1位（平成27年国勢調査）  
第二次産業就業者割合 県内の市で第7位（平成27年国勢調査）
- 【雇用】 有効求人倍率（令和元年度）1.49（ハローワーク橋原出張所管内）  
全国及び静岡県の数値を上回る



問15 あなたは、市の産業を全体的に見て、活力(元気)があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

問16 あなたは、市のどの産業に活力があると思いますか。各産業に1つずつ○印をつけてください。

産業		活力があるか					
		大いに ある	ある 程度	どちらとも いえない	あまり ない	ま ったく ない	わ か ら な い
【記入例】観光業		1	2	3	4	5	6
1	茶業	1	2	3	4	5	6
2	農業（茶業除く）	1	2	3	4	5	6
3	製造業（茶加工業除く）	1	2	3	4	5	6
4	商業・サービス業	1	2	3	4	5	6
5	観光業	1	2	3	4	5	6

問17 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 企業誘致の促進              | 2. 既存産業の設備投資などへの支援 |
| 3. 特産品・製品の市外へのPR        | 4. 販路開拓や市場調査への支援   |
| 5. 後継者の育成への支援           | 6. 地域資源の活用         |
| 7. 起業・新規就農に対する支援        | 8. イベントの開催         |
| 9. 異なる業種との交流の促進         | 10. 事業者の意識改革       |
| 11. 新たな特産品、新製品、新技術の開発支援 |                    |
| 12. その他（具体的に： _____）    |                    |





問22 あなたは、地域活動の活発・活性化に何が必要だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1. 住民の自治意識の向上 | 2. 行政と住民との地域情報の共有    |
| 3. 人材育成       | 4. 活動拠点の整備           |
| 5. 行政からの人的支援  | 6. 地域のことは地域に任せる      |
| 7. 各種組織団体の連携  | 8. 活動団体の自己財源の確保      |
| 9. 行政からの財政支援  | 10. その他（具体的に： _____） |

**<市からの情報発信についてお聞きします>**

問23 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                |                      |          |
|----------------|----------------------|----------|
| 1. 子育て         | 2. 健康・医療・福祉          | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備        | 5. 観光・イベント           | 6. 環境    |
| 7. 教育          | 8. 産業                | 9. 生活    |
| 10. スポーツ・文化・歴史 | 11. その他（具体的に： _____） |          |

問24 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                      |              |               |
|----------------------|--------------|---------------|
| 1. 広報まきのはら           | 2. ホームページ    | 3. Facebook   |
| 4. 牧之原市公式LINE        | 5. 教育委員会だより  | 6. 新聞、テレビ、ラジオ |
| 7. 区、町内会の会合          | 8. 市民グループの会合 | 9. 議員の話       |
| 10. 職員の話             | 11. 公共施設の資料等 | 12. 議会だより     |
| 13. その他（具体的に： _____） |              |               |

（問24で「1. 広報まきのはら」と答えた方にお聞きします。）

問25 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |             |                  |                |
|-------------|------------------|----------------|
| 1. 表紙       | 2. 特集・お知らせ       | 3. 市政情報        |
| 4. まちのわだい   | 5. 健康ひろば（各検診日程等） | 6. 困りごと・悩みごと相談 |
| 7. 図書館へ行こうよ | 8. 生まれ！まきのはらKIDS | 9. 生活情報        |
| 10. 巻末特集    | 11. 輝け！未来（裏表紙）   |                |

ちょっと見て！③ 今、このような取組を行っています。

# 動

令和2年度は、安全安心の推進や若者が魅力を感じる住環境の実現による移住定住の促進等に関するビッグプロジェクトを、スピード感を持って進める年にします。

キーワードは「動」です。

- ◆東名相良牧之原インターチェンジ北側の開発
  - ・賑わいと安全安心を備えた住宅、産業用地などの複合用途による開発を進めます。
  - ・令和2年度は、開発区域内の各種施設の調査、設計等を進めるとともに、AI・IoT等の最先端技術を取り入れた未来のまちづくりなどについても検討を進めていきます。
- ◆若者に魅力あるまちづくりの推進
  - ・ミルクキーウェイショッピングタウン周辺を先導モデルエリアとして、地域の若者が日常生活をより豊かに過ごせるような住環境の整備に取り組みます。その拠点となる公民の複合施設（ミルクキーウェイスクエア）に図書交流館を整備します。
- ◆地区防災拠点の整備
  - ・相良地区に有事における避難所の確保と、平時における市民の利用を両立した総合的な防災拠点を相良総合センター「い〜ら」の南側に進めていきます。  
(昨年度末には、地頭方地区放射線防護施設の整備が完了しました。)
- ◆人工造波施設「ウェーブプール」を核にした沿岸部の活性化
  - ・民間によるアジア初の本格的なウェーブプールの整備を支援します。
  - ・この施設を核として、サーフィンを中心とした多様な海岸利用による沿岸部の活性化に取り組みます。
- ◆スズキ株式会社相良工場の拡張支援
  - ・スズキ株式会社が行う次世代自動車の研究開発に関する用地の拡張を支援します。
  - ・令和2年度は、関係者と連携、調整し、基本設計を行うための詳細調査などを行います。

その他にも、新型コロナウイルス感染症対応事業に補正予算を計上し、このようなことにも取り組んでいます。

- ・RIDE ON MAKINOHARA 誘客キャンペーン … 静岡・山梨県民の市内宿泊費を助成
- ・GIGA スクール構想 … 1人1台端末整備、ICTを活用した教育環境の充実
- ・プレミアム商品券 … 市内で利用できる商品券を発行し、市内経済活性化を図る。
- ・子育て応援特別給付金 … 令和2年4月28日以降に生まれた子に10万円給付。

e t c .

市公式スローガン ロゴマーク

一部を海や茶畑、風に見立て、牧之原の自然豊かでゆったり、穏やかな雰囲気表現しました。



**<牧之原市の行政サービスについてお聞きします>**

問26 あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取組	1	2	③	4	1	②	3	4
<b>【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり</b>								
1 子育て支援の取組 (放課後児童クラブや学習支援教室などの取組、 子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
3 こども医療費制度 (医療費の助成により高校生まで個人負担なし)	1	2	3	4	1	2	3	4
4 こども医療費以外の経済的支援制度について	1	2	3	4	1	2	3	4
5 高齢者への福祉サービスの取組 (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
6 障がい者への福祉サービスの取組 (生活支援の取組など)	1	2	3	4	1	2	3	4
7 福祉施設などの整備 (介護が必要な方や障がいのある方が利用する 施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
9 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
10 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (指定管理者制度により運営されています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
12 地域の福祉にかかわるボランティアの活動や 取組	1	2	3	4	1	2	3	4



評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
<b>【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり</b>								
13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
14 小・中学校施設の整備 (校舎の改修やトイレの洋式化、空調の設置など)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力 向上の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
17 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する 取組	1	2	3	4	1	2	3	4
18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく 取組	1	2	3	4	1	2	3	4
19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり</b>								
20 農林漁業の担い手への支援の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
21 特産品の消費推進の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対 策や利活用の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
23 茶業安定のための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
24 サガラメ(海藻の一種)などの繁殖する藻場 の復元への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
25 企業誘致の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
26 起業支援、産業雇用支援の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
27 商工業の振興の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
28 商店街の魅力向上の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
29 観光誘客促進のための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
30 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
<b>【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり</b>								
31 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
32 上水道施設整備の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
33 計画的な土地利用の推進 (住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担)	1	2	3	4	1	2	3	4
34 公園・緑地の管理や整備の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
35 生活環境対策などへの取組 (ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援、環境美化の啓発など)	1	2	3	4	1	2	3	4
36 公害防止対策への取組 (工場や事業所に対する取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
37 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
38 街並みや周辺の景観・美観への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
39 自然環境の保全への取組 (活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
40 富士山静岡空港を活用するための取組 (情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 公共交通の充実(バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
<b>【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり</b>								
43 震災・火災・水害・浸水対策への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
44 自主防災組織の強化のための取組 (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取組など)	1	2	3	4	1	2	3	4
45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
46 消防体制の整備(消防の広域化)への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
47 盗難などの犯罪防止に対する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
48 学校や地域で子どもを守る取組 (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
50 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり</b>								
51 自治会の住民自治活動への支援 (お金と人の支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
52 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
53 NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	1	2	3	4	1	2	3	4
54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組 (市では協働を推進する)	1	2	3	4	1	2	3	4
55 行政改革の取組(効果的、効率的な取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
57 情報通信(光ファイバーなど)の環境整備の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組 (市では三戸町、松川町などとの交流推進に取り組む)	1	2	3	4	1	2	3	4

**<あなたご自身のことについてお聞きします>**

問 27 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

1. 男性  
2. 女性

2 あなたの年齢は？

1. 19歳以下      2. 20～29歳      3. 30～39歳      4. 40～49歳      5. 50～59歳  
6. 60～64歳      7. 65～69歳      8. 70～79歳      9. 80歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

1. 一人暮らし      2. 夫婦のみ      3. 二世帯家族（親と子）  
4. 三世帯家族（親と子と孫）以上      5. その他（具体的に：      ）

4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

1. 子どもはいない      2. 未就学児（小学校入学前）      3. 小学生  
4. 中学生      5. 高校生・予備校生・大学受験生  
6. 短大・高専・大学・大学院・専門学生など      7. 社会人（1～6に該当しない場合を含む）

5 あなたの職業は？

1. 農林漁業      2. サービス業      3. 製造業      4. 建設業  
5. 飲食業      6. 運輸業      7. 公務員・団体職員（役員含む）など  
8. 学生      9. 無職（主婦などを含む）  
10. その他（具体的に：      ）

6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡      2. 波津・須々木      3. 大江・片浜      4. 大沢・菅山  
5. 萩間      6. 地頭方      7. 静波      8. 細江  
9. 川崎      10. 勝間田      11. 牧之原      12. 坂部

次ページの設問へのご回答もお願いします。



令和2年度 牧之原市 市民意識調査  
報告書

発行：令和2年10月  
発行者：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 企画政策部 秘書政策課  
〒421-0495

静岡県牧之原市静波 447 番地 1

TEL 0548-23-0052

FAX 0548-23-0059

E-mail [seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp](mailto:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp)

URL <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>